

令和8年度

水道用資機材倉庫新築工事

図 面 リ ス ト							
A-00	表紙・図面リスト	A-11	求積図	E-01	電気設備工事特記仕様書1	M-01	機械設備工事特記仕様書1
A-01	特記仕様書(1)	A-12	平面詳細図	E-02	電気設備工事特記仕様書2	M-02	機械設備工事特記仕様書2
A-02	特記仕様書(2)	A-13	立面図	E-03	電気設備工事特記仕様書3	M-03	機械設備配置図
A-03	特記仕様書(3)	A-14	断面詳細図No.1	E-04	電気設備配置図		
A-04	特記仕様書(4)	A-15	断面詳細図No.2	E-05	電灯盤図		
A-05	特記仕様書(5)	A-16	新築工事 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-06	電灯コンセント設備平面図		
A-06	特記仕様書(6)	A-17	新築工事 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)				
A-07	特記仕様書(7)	A-18	地質調査図				
A-08	特記仕様書(8)	A-19	基礎伏図・基礎詳細図				
A-09	概略工程表	A-20	外構図				
A-10	工事概要・面積表・付近見取図・配置図	A-21	仮設計画図				
A-10'	法規チェック配置図・敷地断面図						

(A2からA3への70.7%縮小版)

工事特記仕様書	
I. 工事名称	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事
II. 工事概要	
1. 工事場所	三重県志摩市磯部町恵利原227-1、他9筆
2. 敷地面積	20,408.74㎡
3. 工事内容	
棟名称	水道用機材倉庫
構造	鉄骨造(軽量鉄骨造・プレハブ)
建築面積	46.87㎡
延べ面積	46.87㎡
工事項目	新築工事

- III. 建築工事仕様
1. 共通仕様
- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書(令和6年7月制定(令和7年7月一部改定))」及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版」(以下「標準仕様書」という。)による。
2. 特記仕様
- 1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般 共通 事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(令和4年版) 2) 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(令和4年版)
	②発生材の処理等 (1.3.11)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
	3. コプリス・プラスへの登録	建設リサイクル法対象の工事について、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含めて監督職員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用

- 促進実施書」をすみやかに作成し、監督職員へ写しを提出すること。
 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「コプリス・プラス」に登録のうえ、行うこと。
- ④三重県産業廃棄物税
 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。
- ⑤施工条件(1.3.5)
 下記で指定するもの以外は監督職員と協議し決定する。
 施工可能日
 ・ 指定なし 監督職員と協議
 施工可能時間帯
 ・ 指定なし 監督職員と協議
 部位別の施工順序
 ・ 指定なし 監督職員と協議
 工事車両の駐車場
 ・ 指定なし 図示(図面番号: A-21) ・ ()
 資材置場
 ・ 指定なし 図示(図面番号: A-21) ・ ()
- ⑥概成工期
 指定なし
 指定あり
7. 部分引渡し部分使用
 ・ 部分引渡しあり ・ 部分使用あり
 ・ 指定部分()
 時期(年 月 日～)
- ⑧猛暑への対策
 ・ 本工事は工期に猛暑による作業不能日数を見込んでいる。
 1) 作業不能日数は、環境省が公表する観測地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。
 2) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する観測地点等における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
 ・ 本工事は、夏休み等の夏季の一定期間に現場施工の一部が必要となるため、猛暑対策を充分講じるにより、現場作業の安全に配慮し、工事を行うこと。
9. 埋蔵文化財調査
 埋蔵文化財調査に協力すること。
 ・ 試掘調査の実施あり(発見された場合、発掘調査等の実施あり)
 ・ 発掘調査等の実施あり
10. 電気保安技術者(1.3.3)
 配置する
- ⑪技能士(1.5.2)
 職種別に可能なものについては積極的に活用すること
- ⑫建築材料等
 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)と同等とする。
 2) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。

- 2) 本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。
 3) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督職員と別途協議を行うこと。
 認定製品の品名: ・ ()
13. 化学物質の濃度測定(1.5.10)
 測定対象化学物質(●で示したものとする。)
- | 適用 | 施設用途 | ホルムアルデヒド | トルエン | キシレン | エチルベンゼン | スチレン | パラジクロロベンゼン |
|----|---------|----------|------|------|---------|------|------------|
| | 学校 教育施設 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 住宅 | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | その他 | ● | ● | ● | ● | ● | |
- 対象箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
 測定方法 ・ パッシブ法 ・ アクティブ法
 測定時期 ・ ()
 報告書提出部数 2部
14. 特別な材料の工法
 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
- ⑮騒音・振動の防止
 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
- ⑯工事写真(1.2.4)
 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和5年版)に従い撮影する。
 なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について(令和5年3月1日付国営建投第14号)」による。
- ⑰完成図等(1.7.1)(1.7.2)(1.7.3)
 提出図書
 完成図(設計図面同程度とする)
 安全に関する資料(1)部
 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。
 完成図は A3版二つ折り製本1部 ・ () を監督職員に提出すること。
- ⑱完成写真
 撮影箇所数は、外観4面、内観主要室各2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督職員と協議することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。
 電子媒体で提出する。
 写真は全てL版相当サイズで印刷し、提出する。
 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
 アルバム(大きさ 335mm×290mm程度 カラー) 1部
- ⑲電子納品
 ・ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体で提出すること。
 (提出部数 1部 ・ 部)
 ・ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体で提出すること。
 (提出部数 1部 ・ 部)
- ⑳設備工事との取合い
 施工範囲
 ・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 ・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 ・ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ
 施工図
 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。

- ㉑設計GL
 図示(図面番号: A-15)
- ㉒養生その他
 工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。
- ㉓事故の発生時
 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督職員が指示する期日までに監督職員に提出すること。
 また、事故発生後の措置について監督職員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
- ㉔不当介入を受けた場合の措置
 暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について
 (1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報し、捜査上必要な協力を行うこと。
 (2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
 (3)受注者は、暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
25. 消防法関係の手続き
 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
 ・ 本工事(・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事
 2) 防火対象物使用開始届出書
 書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。
- ㉖主任技術者又は監理技術者
 1) 技術者要件
 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
 2) 専任を要しない期間
 (1) 現場施工に着手するまでの期間
 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
 なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
 (2) 検査終了後の期間
 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
- ㉗工事の一時中止
 工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン(令和7年7月一部改定 三重県県土整備部)」による。
 志摩市建設工事請負契約書(以下「契約書」という。)第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の維持・管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、協議する。
 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
- ㉘労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
 労働安全衛生法第30条第2項の規定が適用される場合、同項の規定に基づき本工事の受注者を指名する。
 この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
- ㉙建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重
 建築基準法に基づき定められた区分等
 基準風速 Vo = 34 m/s
 地表面粗度区分 ・ II ・ III
 積雪区分 (25) cm

整理番号		工事名 令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文	図面No.
			特記仕様書(1)				A-01
				A3:A2×70.7%			

① 一般 共通 事項	⑩火災保険等 契約書第58条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に参加し、その加入証券等を提示しなければならない。 (1) 保険の目的物 工事事務物及び工事材料(支給材料を含む) (2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 (3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額 (4) 被保険者 発注者、請負者及びその全下請負人	⑤工事用電力 構内既存の施設 ○利用できる(○有償・無償)・利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。	10. 既製コンクリート杭地業 (4.3.1) (表4.3.1) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.8) ・PHC杭・A種・B種・C種 ・SC杭 ・PRC杭 ・上記以外の建築基準法に基づく杭 種類 杭径(mm) 杭長 継手数 セット数 長期設計支持力(N/本) 備考 先端形状 ・開放型 ・閉そく型 施工方法 ・セメントミルク工法 ・オーガの支持層への掘削深さ ・()m ・図示(図面番号:) ・杭の支持層への根入れ深さ ・()m ・図示(図面番号:) ・根固め液及び杭周固定液の管理試験 ・標準仕様書[4.3.4(6)コ(a)~(g)] ・() ・特定埋込杭工法 ・杭の根入れ深さ ・()m ・図示(図面番号:) 継手 ・アーク溶接 ・機械式継手 杭頭処理の方法 ・外圧方式 ・ダイヤモンドカッター方式 ・()	⑬砂及び砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 砂利 ○再生クラッシュ ・切込砂利 ・切込碎石 ・() 砂 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・() 施工範囲 ○図示(図面番号:A-14.15) 厚さ ・60mm ○(100)mm ・仕上がりレベルを計測し、記録すること。	完了後の室内配合試験 ・一軸圧縮試験(JIS1216による) 検査対象() コア採取方法() 供試体数() 検査方法() ・六価クロム溶出試験 (「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」の一部変更について)(平成13年4月20日 国官技第16号、国営建第1号)による)
	31. 技術検査 (1.6.2) 32. 施工の検査等 (1.5.5) 33. 屋外広告物 ⑭社会保険等未加入対策 適用除外でないに関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿により、下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。 また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。 ⑮現場での安全確保(自主施工の原則) 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督職員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じうえて、工事を実施すること。	⑥足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり掘置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。	①埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1) ②建設発生土の処理 (3.2.5) 種類 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 (他現場の建設発生土) (再生コンクリート砂) 建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。 ○現場内利用できる ・仮置き場所() ・運搬距離()km ・現場内利用できない ・受入地指定 受入地の条件 ・受入先、利用種別、施工条件、特定条件等(図面番号:) ・運搬距離()km ・受入料金あり ・受入料金なし ・受入地未定につき別途協議する。 暫定運搬距離()km	11. 鋼杭地業 (4.4.3) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.4.7) (4.4.8) (7.2.5) ・鋼管杭 ・SKK400 ・SKK490 ・H形鋼杭 ・SHK400 ・SHK490M 径 ・φ300 ・φ350 ・φ400 ・φ450 ・φ() 長さ()m 継手の工法 ・現場溶接 ・機械式継手 溶接材料 ・標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外() ・特定埋込杭工法 ・杭の根入れ深さ ・()m ・図示(図面番号:) 杭頭処理の方法 ・ガス切断 ・()	⑮捨コンクリート地業 (4.6.4) ⑯床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5) 施工範囲 ○図示(図面番号:A-14.15) ポリエチレンフィルム厚さ ○0.15mm以上 ・()
② 仮設 工事	1. 監督職員事務所(2.3.1) ・設置する。 監督職員事務所の規模(単位:m) 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度	③土工事 3. 山留めの撤去 山留め壁等 ・撤去 ・存置	12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) (4.5.6) (表4.5.1) 施工方法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・鋼管コンクリート杭工法 拡底 ・行わない ・行う() 杭の根入れ深さ ・()m ・図示(図面番号:) 孔壁の超音波測定 ・行う ・行わない 帯筋の加工及び組立 ・図示(図面番号:) 鉄筋の最小かぶり厚さ()mm 鉄筋かごの補強 ・図示(図面番号:) 継手 ・重ね継手 ・() コンクリートの種別 ・A種 ・B種 設計基準強度()N/mm ² セメントの種類 ・高炉セメントB種 ・() スランプ(cm) ・21 ・() 構造体強度補正值(S) ・3N/mm ² ・() 鋼管部分の材料()	②鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) 種類 記号 径 備考 ○SD295 ○D10、D13 SD345 D19以上 ・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの	
	2. 監督職員事務所の設備・備品等(2.3.1) 種類 ○机、いす ○書棚 ○ホワイトボード ○長靴 ○雨合羽 ○保護帽 ○衣類ロッカー ○冷暖房機器 ○インターネット ・() ・() ・() 数量については、監督職員との協議による。 監督職員事務所の仕上げ 部位等 仕上げ 床 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り 屋根 塗装溶融垂れどめつき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	④地業工事 1. 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日) 2. 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督職員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督職員の確認を受けること。 3. 施工記録の代替 取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 4. 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第32条第4項又は第5項(第39条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 5. 試験杭及び試験掘(4.2.2) ・試験杭 位置、本数及び寸法 図示(図面番号:) ・試験掘 位置、本数及び寸法 図示(図面番号:)	⑤鉄筋工事 2. 溶接金網 (5.2.2) (表5.3.2) (表5.3.3) (表5.3.4) (図5.3.3) 鉄線の形状 ・丸鉄線 ・異形鉄線(・リブ・インデント) 鉄線の径 ・4mm ・5mm ・6mm ・()mm 網目寸法 ・100×100mm ・150×150mm ・()mm 90°未満の折曲げの内法直径 ・図示(図面番号:) 3. 内法直径 (5.3.2) 4. 継手・定着 (5.3.4) (表5.3.3) (表5.3.4) (図5.3.3) 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・標準仕様書[5.3.4](3)(7)後段 ○図示(図面番号:A-16) 継手位置 ・各部配筋参考図による ○図示(図面番号:A-16、A-17) ・隣り合う接手を同一か所に設ける場合(先組み工法等) ・図示(図面番号:) 鉄筋定着 ・標準仕様書[表5.3.4] ○図示(図面番号:A-16) ・標準仕様書[図5.3.3] ・図示(図面番号:) 機械式定着工法の適用 ・あり ・なし ・適用箇所(図面番号:) ・種類(図面番号:) 5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)(表5.3.6) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ・標準仕様書[表5.3.6] ○図示(図面番号:A-16) 6. 各部配筋 (5.3.7) ○図示(図面番号:A-19、A-20) 7. 圧接完了後の試験(5.4.10) 引張試験方法 ・超音波探傷試験 ・引張試験 引張試験方法 ・標準仕様書[5.4.10](4)(b) ・() 8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.3) (5.5.5) (5.6.3) (5.6.5) ・機械式継手 適用箇所() 種類() 性能() 施工完了後の継手部の試験() 試験項目()、試験方法() 不合格となった継手部への措置() 鉄筋相互のあき()mm ・溶接継手 適用箇所() 工法() 性能() 施工完了後の溶接部の試験() 試験項目()、試験方法() 不合格となった溶接部への措置() 鉄筋相互のあき()mm	③仮設場所 構内既存の施設 ・利用できる ○利用できない	⑨地盤の載荷試験(4.2.4) 試験方法 ○平板載荷 ・() 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・図示(図面番号:) 載荷荷重()kN 報告書 ・提出部数 2部 ・記載事項()

<p>⑥ コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.10.1) (6.10.2) (6.10.3) (6.11.1) (6.11.3) (表6.2.2) (表6.10.1)</p> <p>② コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)</p> <p>③ コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)</p> <p>④ セメント (6.3.1) (表6.3.1)</p> <p>⑤ 骨材 (6.3.1)</p> <p>⑥ コンクリートの材料 (6.3.1) (6.3.2) (表6.3.2)</p> <p>⑦ 打継ぎ (6.6.4)</p> <p>⑧ 型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)</p> <p>⑨ 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>⑩ 暑中コンクリート (6.12.2)</p>	<p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c</th> <th>適用箇所</th> <th>施工時期</th> <th>スラブ</th> </tr> <tr> <td>21 N/mm²</td> <td>基礎、土間、CB塀基礎</td> <td></td> <td>5cm</td> </tr> <tr> <td>18 N/mm²</td> <td>捨てコン</td> <td></td> <td>5cm</td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c</th> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スラブ</th> </tr> <tr> <td>N/mm²</td> <td></td> <td></td> <td>t/m³</td> <td>cm</td> </tr> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)</p> <p>① Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)</p> <p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>仕上りの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種</p> <p>種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントA種 ・ シリカセメントA種 ・ フライアッシュセメントA種 ・ () 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ・ A ・ B ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)</p> <p>① 混和材料 図示 (図面番号:) ② 混和剤の種類、使用方法、使用量 ・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f) ①~③ ・ () ③ 混和剤の種類、使用方法、使用量 ・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f) ①~③ ・ () ④ 構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書 [表6.3.2] ・ ()</p> <p>位置 ・ 標準仕様書 [6.6.4] (1) 後段 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>材料 ・ 複合合板 (厚さ 12mm ・ ()mm) 打増し厚さ 図示 (図面番号: A-14, 15, 19) 誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号: A-12, 19) ・ 断熱材の兼用 ・ MCR工法用シート</p> <p>スリーブの材種 ・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ つば付き鋼管</p> <p>スリーブの規格等 ・ 標準仕様書 [表6.8.1] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>型枠存置期間及び取外し ・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日</p> <p>適用期間 () ・ 調整管理強度、調整強度を積算温度を基に定める</p> <p>① 構造体強度補正值 (S) ・ 0 N/mm² ・ 3 N/mm² ・ 6 N/mm² ・ () N/mm² スラブ ・ 21cm ・ ()</p>	設計基準強度 F_c	適用箇所	施工時期	スラブ	21 N/mm ²	基礎、土間、CB塀基礎		5cm	18 N/mm ²	捨てコン		5cm	設計基準強度 F_c	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スラブ	N/mm ²			t/m ³	cm	<p>11. マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示 (図面番号:) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ シリカセメント</p> <p>スラブ ・ 15cm ・ () 混和剤の種類 ・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ・ () 混和剤の種類 ・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ () 構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書 [表6.13.1] ・ ()</p> <p>12. 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ () 適用箇所 標準仕様書 [6.14.1] (4) ・ (7) 街きよ、緑石、側溝類コンクリート及びこれらの基礎コンクリート ・ (4) 間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート ・ (4) 捨てコンクリート ・ (2) 機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・ (4) 防水層の保護コンクリート ・ (3) コンクリート舗装のコンクリート ・ 左記以外の適用箇所 () 設計基準強度 ・ 18N/mm² ・ () N/mm² スラブ ・ 15cm ・ 18cm</p> <p>13. 流動化コンクリート (6.15.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>14. 高流動化コンクリート (6.16.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>① 製作工場における施工管理技術者 (7.1.4) ② 製作工場 (7.1.3) (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S</p> <p>③ 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <p>④ 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7) (7.12.5)</p> <p>種類 ・ トルシア形高力ボルト (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) ・ ()</p> <p>高力ボルトのねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号:) すべり試験の試験方法 ・ () JIS形高力ボルト、溶融亜鉛めっき高力ボルト ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 ・ 回転量 ()</p> <p>⑤ 普通ボルト (7.2.3) (表7.2.3) (7.3.2)</p> <p>ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) ・ メーカー仕様書による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>⑥ アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (7.10.1) (表7.10.1) (表7.2.3)</p> <p>種類 構造用 ・ ABR400 ・ () 建方用 ・ SS400 (M12×300)</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・ A種 ・ B種</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 [表7.2.3] ・ 図示 (図面番号:) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 (図面番号: A-19)</p> <p>7. 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>材料 ・ 標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()</p>	<p>8. タンバクル (7.2.6)</p> <p>種類及びねじの呼び等 ・ 図示 (図面番号:) 建築用タンバクル胴 ・ 割枠式 ・ () 建築用タンバクルボルト ・ 羽子板ボルト ・ ()</p> <p>9. ディックプレート (7.2.7) (7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 溶接方法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>10. スタッド (7.2.8)</p> <p>種類等 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>11. 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>柱底均しモルタルの工法、厚み ・ A種 ()mm ・ B種 ()mm 無収縮モルタルの材料及び調合 ・ 標準仕様書 [7.2.9] (2) (7) ~ (E) ・ ()</p> <p>12. 材料試験等 (7.2.10)</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・ JIS G 0901により行う</p> <p>13. ねじの孔径 (7.3.8)</p> <p>普通ボルトの孔径 (母屋又は網縁の取付け) ・ ねじの呼び径±1.0mm ・ ()</p> <p>14. 仮組 (7.3.10)</p> <p>・ 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>15. 溶接作業を行う技能者 (7.6.3)</p> <p>溶接作業の技量付加試験 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>16. 溶接部の開先 (7.6.4)</p> <p>開先の形状 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>17. 溶接施工 (7.6.7)</p> <p>鋼製エンドタブの切除 ・ 適用及び切断範囲 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ ・ 標準仕様書 [7.6.7] (1) (b) ② 後段 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による面形状に係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>18. 溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>試験の種類 溶接部の外観試験方法 ・ () ・ 超音波探傷試験</p> <table border="1"> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AQQL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td></td> <td></td> <td>・ 全数試験</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td>・ 6</td> <td></td> </tr> </table> <p>① メーカー仕様書による (7.8.2) 耐火被覆材の接着する面への塗装 (7.8.4) 塗装範囲 図示 (図面番号:) 種別 ・ 標準仕様書 [表18.3.1] () 種 ・ 標準仕様書 [表18.3.2] () 種 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 塗装範囲、種別 図示 (図面番号:) 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標準仕様書 [表18.3.1] () 種</p>	溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考	現場溶接			・ 全数試験	工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6		<p>20. 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.3)</p> <p>① 軽量形鋼 (7.11.2)</p> <p>22. 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.5)</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8) (表8.2.1)</p> <p>② コンクリートブロック縦壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)</p> <p>3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3) (表8.4.4)</p> <p>4. 押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)</p>	<table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部 (ボルト接合の場合) ① 普通ボルト接合 ・ ()</p> <p>摩擦面の処理 ・ プラスト処理 (表面粗度50 μmRz以上) ・ リン酸塩処理 ・ ()</p> <p>種類 ・ 図示 (図面番号:) 正味厚さ、モジュール呼び寸法 ・ 図示 (図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示 (図面番号:) モルタルの調合 ・ 標準仕様書 [8.2.3] 後段 ・ () 目地仕上げ ・ 押し目地 ・ 化粧目地 モルタル又はコンクリートの充填範囲 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>ブロックの種類 ・ 標準仕様書 [表8.3.1] ・ 図示 (図面番号: A-20) 正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ ・ 図示 (図面番号: A-20) モルタルの調合 ・ 標準仕様書 [8.2.3] 後段 ・ () 化粧 ・ 有り ・ 無し 各部の配筋 ・ 図示 (図面番号: A-20) モルタル又はコンクリートの充填範囲 ・ 図示 (図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位荷重 (N/mm²)</th> <th colspan="3">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構法</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 100</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 100</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ C種 ・ D種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 100 ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ () 時間 ・ 無し</td> </tr> </table> <p>パネル幅を300mm未満とする部分 ・ 適用あり 外壁耐風性能 設計風圧力 (N/m²) 間仕切壁パネル耐震性能 層間変形角 () パネル短辺小口相互の伸縮目地幅 ・ ()mm 出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 ・ ()mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する (材料:)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び原料区分</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>パネル幅を300mm未満とする部分 ・ 適用あり パネル相互の目地幅 (パネル幅900mm以下は、長辺10mm以上、短辺16mm以上とし、900mmを超えるものは、長辺短辺ともに15mm以上とする) ・ ()mm 出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 ・ 15mm ・ ()mm 目地及び隙間の処理 ・ () 外壁耐風性能 設計風圧力 (N/m²) 間仕切壁パネル耐震性能 層間変形角 () パネルに欠き込みを行う場合 ・ パネル開口の限度 ・ 図示 (図面番号:)</p>	部位	種類	材料	工法	耐火性能						区分	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法			構法	耐火性能	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	・ 外壁パネル	・ () ・ ()	・ 100	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し	・ 間仕切壁パネル	・ () ・ ()	・ 100	・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種	・ () 時間 ・ 無し	・ 屋根パネル	・ () ・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し	・ 床パネル	・ () ・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し	種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種
	設計基準強度 F_c	適用箇所	施工時期	スラブ																																																																																																		
	21 N/mm ²	基礎、土間、CB塀基礎		5cm																																																																																																		
	18 N/mm ²	捨てコン		5cm																																																																																																		
	設計基準強度 F_c	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スラブ																																																																																																	
	N/mm ²			t/m ³	cm																																																																																																	
	溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考																																																																																																		
	現場溶接			・ 全数試験																																																																																																		
	工場溶接	・ 2.5 ・ 4.0	・ 6																																																																																																			
	部位	種類	材料	工法	耐火性能																																																																																																	
区分	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法			構法	耐火性能																																																																																																
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																		
・ 外壁パネル	・ () ・ ()	・ 100	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																																
・ 間仕切壁パネル	・ () ・ ()	・ 100	・ ()	・ ()	・ C種 ・ D種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																																
・ 屋根パネル	・ () ・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																																
・ 床パネル	・ () ・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し																																																																																																
種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法																																																																																																		
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																																																																																		
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種																																																																																																		

9 防 水 工 事	1. アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)	種別 施工箇所	3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)	種別 軽歩行(S-F2,-M2) 施工箇所 軽歩行・非歩行	3. テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	8. 床及び階段の張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3)	石材の厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 目地 目地幅 伸縮調整目地 位置 シーリング材の目地寸法 取付け金物 アンカーの材質及び寸法 あと施工アンカーの材質及び寸法 取付工法 石材の厚さ 石裏面処理 取付け代(乾式工法の場合) 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) 目地 目地幅 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 シーリング材の目地寸法 石材の厚さ
	(表9.2.3) ~ (表9.2.6) (表9.2.8) (表9.2.7) (表9.2.8) (表9.2.9) (9.2.4) (9.2.5)	改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] 厚さ・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] 厚さ・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] 絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上) ・フラットヤークロス(70g/㎡) 押え金物 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) 断熱材 ・屋根保護防水断熱工法 厚さ () mm ・屋根露出防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm 屋根保護防水 立上り部の保護工法 乾式保護材 立上り部保護れんが 断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 () 屋根露出防水における仕上げ塗料 ・図示(図面番号:) 種類 () 使用量 () 屋内防水密着工法における保護層 ・図示(図面番号:) E-1の工程3 防水層の下地モルタル塗り ・図示(図面番号:) 立上りのコンクリート打放し仕上げの種別 種別・B種 屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・図示(図面番号:) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ 水下 80mm以上 床タイル張り 水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 ・モルタル押え(屋内等) 屋上排水溝 ・図示(図面番号:)	種別 施工箇所	4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	種別 X-1 X-2 Y-1 Y-2	4. その他の材料 (10.2.3)	テラゾブロック (10.2.3)	9. 笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.2)	取付け金物 アンカーの材質及び寸法 あと施工アンカーの材質及び寸法 取付工法 石材の厚さ 石裏面処理 取付け代(乾式工法の場合) 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) 目地 目地幅 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 シーリング材の目地寸法 石材の厚さ
2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~ (表9.3.3)	種別 施工箇所	5. ケイ酸系系塗布防水 (9.6.4)	6. シーリング (9.7.2) (表9.7.1) (9.7.5)	種別 材種 目地寸法 施工箇所 SR-1 シリコン系 MS-2 変成シリコン系 PS-2 ポリサルファイド系 PU-2 ポリウレタン系 ※仕上げを行う場合はノンブリードタイプ、水回りに使用するSR-1は防かびタイプとする。	5. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)	テラゾ (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)	10. 隅切板 (10.7.3)	11. タイル工事 (11.1.3) (表11.1.1) (表11.1.1) (表11.1.1) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.3) (11.3.4) (表11.3.2) (11.1.4) (11.2.6) (11.3.5)	位置 標準仕様書[表11.1.1] 図示(図面番号:) タイルの種類・工法 施工箇所 工法 種類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役物 埋込・特注色 耐凍害性 試験張りを行う 見本焼きを行う 既調合モルタル材料 セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事 コンクリート素地面の処理 目荒し工法 有機系接着剤あと張り工事 シーリング材の種類 打継ぎ、ひび割れ誘発目地 伸縮、その他目地 外装タイル接着剤張りの目地詰め 行う 行わない
(表9.3.3)	種別 施工箇所	7. 保証書 (10.1.3) (10.2.1) (10.2.2) (表10.2.1) (表10.2.2)	10. 石工事 (10.1.3) (10.2.1) (10.2.2) (表10.2.1) (表10.2.2)	使用部位 種類(名称) 寸法(mm) 表面仕上げ 工法 形状 床 壁 ジェットバーナー仕上げ面 バフ仕上げ	7. 外壁乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3) (表10.2.4)	テラゾ (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)	11. タイル工事 (11.1.3) (表11.1.1) (表11.1.1) (表11.1.1) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.3) (11.3.4) (表11.3.2) (11.1.4) (11.2.6) (11.3.5)	位置 標準仕様書[表11.1.1] 図示(図面番号:) タイルの種類・工法 施工箇所 工法 種類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役物 埋込・特注色 耐凍害性 試験張りを行う 見本焼きを行う 既調合モルタル材料 セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事 コンクリート素地面の処理 目荒し工法 有機系接着剤あと張り工事 シーリング材の種類 打継ぎ、ひび割れ誘発目地 伸縮、その他目地 外装タイル接着剤張りの目地詰め 行う 行わない	

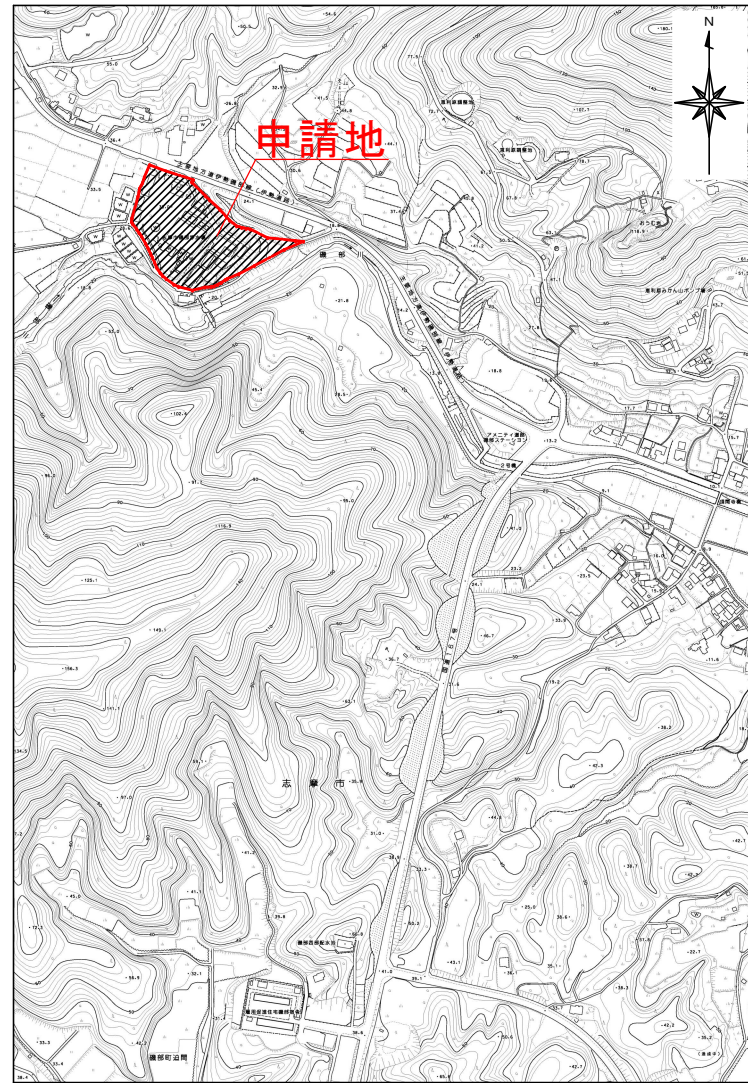
木 工 事	①木材 (12.2.1) (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)	木材の含水率 <table border="1"> <tr><th>部材名称</th><th>種別</th></tr> <tr><td>下地材</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>造作材</td><td>⊙ A種 ・ B種</td></tr> </table>	部材名称	種別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	⊙ A種 ・ B種	7. 接合具等 (12.2.2) (表12.2.3) (表12.2.5)	ミディアムデンシティーファーバーボード (MDF) 表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示 (図面番号:)	④とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	材種 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 配管用鋼管 (白管) ・ () 表面処理鋼板の種類 ・ () 耐酸被覆鋼板 材質等 ・ () 受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔 ・ 図示 (図面番号) 軒どいの取付け間隔 (多雪地域) ・ 0.5m以下 ・ () 鋼管製といの防露巻工法 ・ 標準仕様書 [表13.5.4] ・ ()	左 官 工 事	1. ラス系下地 (15.2.4)	通気構法 ・ 二層下地 ・ 単層下地 直張り工法 ・ ラスマルタル下地 ・ ラスシートマルタル下地 ラス及び補強用プラス <table border="1"> <tr><th>材料記号</th><th>種類</th><th>質量 (kg/m²)</th></tr> <tr><td>・ K</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> <tr><td>・ ()</td><td></td><td></td></tr> </table>	材料記号	種類	質量 (kg/m ²)	・ K	・ ()	・ ()	・ ()																																			
	部材名称	種別																																																							
	下地材	・ A種 ・ B種																																																							
	造作材	⊙ A種 ・ B種																																																							
	材料記号	種類	質量 (kg/m ²)																																																						
	・ K	・ ()	・ ()																																																						
	・ ()																																																								
	②製材 (12.2.1) (2) (7)	「JAS 1083」による製材 <table border="1"> <tr><th></th><th>寸法</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>県産材</th></tr> <tr><td>下地用製材</td><td>⊙ 図示 (: A-15)</td><td>⊙ 2級 ・ ()</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>造作用製材</td><td>・ 図示 (:)</td><td>・ 上小節以上 ・ 小節以上 ・ ()</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>広葉樹製材</td><td>・ 図示 (:)</td><td>・ 1級 ・ ()</td><td>・ 10% 以下</td><td></td><td></td></tr> </table>		寸法	等級	含水率	保存処理	県産材	下地用製材	⊙ 図示 (: A-15)	⊙ 2級 ・ ()					造作用製材	・ 図示 (:)	・ 上小節以上 ・ 小節以上 ・ ()				広葉樹製材	・ 図示 (:)	・ 1級 ・ ()	・ 10% 以下			8. 防蟻・防蟻 ・ 防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	防腐・防蟻処理 薬剤加圧注入 適用部材、保存処理性能区分 ・ 図示 (図面番号:) 薬剤の塗布等 処理方法 ・ 薬剤の製造所の仕様 ・ () 附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理 薬剤の種類、適用部材 ・ 図示 (図面番号:) 薬剤の接着剤への混入 ・ () 合板等の加圧注入 ・ () 防虫処理 ・ ()	14 金 属 工 事	1. アルミニウム (14.2.1) (表14.2.1)	表面処理の種類 ・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1 ・ BA-2 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ C (常温乾燥形の塗装 ()) 陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ・ () 陽極酸化被膜の色合い等 ・ ()	2. せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)	せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ () 木質系セメント板の種類、厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																							
		寸法	等級	含水率	保存処理	県産材																																																			
	下地用製材	⊙ 図示 (: A-15)	⊙ 2級 ・ ()																																																						
造作用製材	・ 図示 (:)	・ 上小節以上 ・ 小節以上 ・ ()																																																							
広葉樹製材	・ 図示 (:)	・ 1級 ・ ()	・ 10% 以下																																																						
(12.2.1) (2) (4) (表12.2.2)	「JAS 1083」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率 ⊙ 図示 (図面番号: A-15) 造作材の材面の品質 ⊙ A種 ・ () 樹種 <table border="1"> <tr><th>部位</th><th>樹種</th><th>県産材</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	部位	樹種	県産材																9. RC造等の間 仕切軸組及び 床組 (12.4.1)	間仕切軸組に用いる木材 ・ 杉 ・ 松 ・ () 床組に用いる木材 (土間スリ) 類の土台、転ばし大引、転ばし根太 ・ ひのき ・ 保存処理材 ・ () 床組に用いる木材 (上記以外) ・ 杉 ・ 松 ・ ()	2. 鉄鋼の垂鉛 めつき (14.2.2) (表14.2.2)	垂鉛めつきの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種	3. こまい下地 及び木ずり下地 (15.2.6) (15.2.7)	耐力壁の指定 ・ 図面 (図面番号:) 木ずり用小幅板の樹種 ・ 杉 (芯くり材) ・ 図示 (図面番号:)																																
部位	樹種	県産材																																																							
3. 集成材等 (12.2.1) (3)	造作用集成材 「JAS 1152」による造作用集成材等 <table border="1"> <tr><th></th><th>品名・樹種・寸法 見付け材面数</th><th>見付け材面の品質</th><th>化粧薄板厚さ</th></tr> <tr><td>造作用集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 1等 ()</td><td></td></tr> <tr><td>化粧ばり造作用 集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 1等 ()</td><td></td></tr> </table>		品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 1等 ()		化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 1等 ()		10. 窓、出入口等 (12.5.1)	吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ・ ひのき ・ () 上記以外 ・ 松 ・ 杉 ・ ()	3. 軽量鉄骨 天井下地 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.2) (14.4.4)	野縁等の種別 屋内 ・ 19形 ・ () 屋外 ・ 25形 ・ () 屋外の野縁受等の間隔 ・ 図示 (図面番号:) 吊りボルトの補強方法 (@900mm超) ・ 図示 (図面番号:) 吊りボルトの水平補強、斜め補強 ・ 天井ふところ > 3.0m 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 図示 (図面番号:) ・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号:)	4. モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	材料 ⊙ 現場調査材料 ・ 既調査材料 既製目地材 ・ 使用する 図示 (図面番号:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 下地モルタル、下地調整塗材の接着剤試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する																																						
	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ																																																						
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 1等 ()																																																							
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 1等 ()																																																							
4. 造作用単板 積層材 (12.2.1) (4)	「JAS 1152」以外の造作用集成材等 樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等 ・ 図示 (図面番号:)	11. 床板張り (12.6.1)	縁甲板、上がりがまち ・ ひのき ・ ()	4. 軽量鉄骨壁 下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	スタッド、ランナーの種類 ・ 50型 ・ 65型 ・ 90型 ・ 100型 ・ スタッドの高さによる区分 ・ 図示 (図面番号:) スタッドの高さ5m超 ・ 図示 (図面番号:) 出入口、開口部の補強 ・ 標準仕様書 [14.5.4] (5) 後段 ・ ()	5. 仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上形状</th><th>工法</th></tr> <tr><td rowspan="2">薄付仕上塗材</td><td>・ 外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状</td><td rowspan="2">・ 吹付け</td></tr> <tr><td>・ 内装薄塗材E</td><td>・ 着色骨材砂壁状</td></tr> <tr><td rowspan="4">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="2">・ 外装厚塗材C</td><td>・ 平たん状</td><td rowspan="2">・ 吹付け</td></tr> <tr><td>・ 凹凸状</td></tr> <tr><td>・ 外装厚塗材Si</td><td>・ 平たん状</td><td rowspan="2">・ こて</td></tr> <tr><td>・ 外装厚塗材E</td><td>・ 凹凸状</td></tr> <tr><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	呼び名	仕上形状	工法	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ 内装薄塗材E	・ 着色骨材砂壁状	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 平たん状	・ 吹付け	・ 凹凸状	・ 外装厚塗材Si	・ 平たん状	・ こて	・ 外装厚塗材E	・ 凹凸状	・ ()	・ ()	・ ()																											
種類	呼び名	仕上形状	工法																																																						
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																						
	・ 内装薄塗材E	・ 着色骨材砂壁状																																																							
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 平たん状	・ 吹付け																																																						
		・ 凹凸状																																																							
	・ 外装厚塗材Si	・ 平たん状	・ こて																																																						
	・ 外装厚塗材E	・ 凹凸状																																																							
・ ()	・ ()	・ ()																																																							
5. 直交集成材 (12.2.1) (5)	「JAS 3079」による直交集成材 品名、曲げ強度 (強度等級)、種別、接着性能 (使用環境)、樹種、寸法 ・ 図示 (図面番号:)	12. 壁及び天井下地 (12.7.1)	木材 ・ 杉 ・ 松 ・ ()	5. 金属成形板 張り (14.6.2) (14.6.3)	<table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>種別</th><th>形状</th><th>表面処理</th></tr> <tr><td></td><td>・ アルミニウム</td><td rowspan="2">・ スパンドレル形</td><td rowspan="2">・ パネル形</td></tr> <tr><td></td><td>・ ステンレス</td></tr> <tr><td></td><td>・ 鋼</td><td></td><td></td></tr> </table>	施工箇所	種別	形状	表面処理		・ アルミニウム	・ スパンドレル形	・ パネル形		・ ステンレス		・ 鋼			6. 複層仕上塗材 () () ()	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE ・ () ・ () ・ ()																																				
施工箇所	種別	形状	表面処理																																																						
	・ アルミニウム	・ スパンドレル形	・ パネル形																																																						
	・ ステンレス																																																								
	・ 鋼																																																								
6. 合板等 (12.2.1) (6)	<table border="1"> <tr><th>品名・品目</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫・保存処理等</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td>ラフ合</td><td></td><td></td><td>1類</td><td></td><td></td><td>t=12</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ	ラフ合			1類			t=12															③ 屋 根 及 び と い 工 事	②折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	<table border="1"> <tr><th>緊結方法</th><th>板厚 (mm)</th><th>山高 (mm)</th><th>山ピッチ (mm)</th><th>耐力区分</th></tr> <tr><td rowspan="2">⊙ 重ね形</td><td>・ 0.8</td><td>・ 90</td><td rowspan="2">⊙ (300)</td><td rowspan="2">・ ()</td></tr> <tr><td>・ 0.6</td><td>⊙ (88)</td></tr> <tr><td>・ はげ締め形</td><td></td><td></td><td>材種</td><td>軒先面戸板</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>⊙ 塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めつき鋼板 ・ ()</td><td>⊙ あり ・ なし</td></tr> </table>	緊結方法	板厚 (mm)	山高 (mm)	山ピッチ (mm)	耐力区分	⊙ 重ね形	・ 0.8	・ 90	⊙ (300)	・ ()	・ 0.6	⊙ (88)	・ はげ締め形			材種	軒先面戸板				⊙ 塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めつき鋼板 ・ ()	⊙ あり ・ なし	7. アルミニウム 製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 ・ () 固定方法 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)	7. 軽量骨材 仕上塗材 ・ 吹付け用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 平たん状 ・ こて
品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ																																																			
ラフ合			1類			t=12																																																			
緊結方法	板厚 (mm)	山高 (mm)	山ピッチ (mm)	耐力区分																																																					
⊙ 重ね形	・ 0.8	・ 90	⊙ (300)	・ ()																																																					
	・ 0.6	⊙ (88)																																																							
・ はげ締め形			材種	軒先面戸板																																																					
			⊙ 塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めつき鋼板 ・ ()	⊙ あり ・ なし																																																					
	構造用合板の強度等級 ・ 図示 (図面番号:) 特殊加工化粧合板の化粧加工方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ () パーティクルボード 表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示 (図面番号:)	3. 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	<table border="1"> <tr><th>製法</th><th>形状</th><th>寸法</th><th>産地</th><th>役物の種類</th><th>棟の工法</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	製法	形状	寸法	産地	役物の種類	棟の工法							8. アルミニウム 製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	取付箇所 ・ 天井 ・ 床	材種 ・ アルミニウム製 ・ 塩化ビニル製	8. 点検口 <table border="1"> <tr><th>取付箇所</th><th>材種</th><th>寸法</th><th>形式</th></tr> <tr><td>・ 天井</td><td>・ アルミニウム製</td><td>・ 450角 ・ 600角</td><td>・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ</td></tr> <tr><td>・ 床</td><td>・ アルミニウム製</td><td>・ 450角 ・ 600角</td><td></td></tr> </table>	取付箇所	材種	寸法	形式	・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角		内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの) ・ JIS A 6909 調湿形 複層仕上塗材の耐候性 ・ 耐候形 3種 ・ () 外装厚塗材Cの上塗材 ・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 () kg/m ² 外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用 ・ あり ・ なし																									
製法	形状	寸法	産地	役物の種類	棟の工法																																																				
取付箇所	材種	寸法	形式																																																						
・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ																																																						
・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角																																																							

15 左 官 工 事	(表15.6.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類	<table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table>	樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ アクリルシリコン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ふっ素系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	<p>防音ドア、防音サッシの遮音性 ・ () 等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ・ () 等級 建具枠見込み寸法 () 図示 (図面番号: A-12、13) 結露水の処理方法 ・ () 水切り板、ぜん板等 ・ 図示 (図面番号:) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) () 製造所の仕様による ・ ()</p> <p>5. 網戸等 (16.2.3) 形式 ・ 可動式 ・ 固定式 防虫網 網の材質 ・ 合成樹脂 ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス (SUS316) ・ () 線 径 ・ 0.25mm以上 ・ () 網 目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ ・ ()</p> <p>6. 樹脂製建具 (16.3.2) 外部建具の性能等級等 (16.3.3) コンクリート系下地、鉄骨下地 (16.3.4) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ () 木下地 ・ D種 ・ E種 ・ ()</p> <p>(表16.3.1) 建具の遮音性能等級 (表16.3.3) ・ T-1 ・ T-2 ・ () 外部建具の断熱性能等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ・ () 外部建具の日射熱取得性能等級 ・ () ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込み寸法 ・ 図示 (図面番号:) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板 ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・ 製造所の仕様による ・ ()</p> <p>7. 鋼製建具 (16.4.2) 簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 耐震ドアの面内変形追随性 ・ () 等級 (表16.4.1) 防音ドア、防音サッシの遮音性 ・ () 等級 (表16.2.1) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ・ () 等級 (16.4.4) 鋼板類の厚さ ・ [表16.4.2] ・ 図示 (図面番号:) くつずりの仕上げ ・ HL ・ () (表16.4.2) H>2400mm 又は W>950mm ・ 図示 (図面番号:) (16.4.6) 標準型鋼製建具</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>幅(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>片開き</td> <td>・ 900 ・ 950</td> <td>・ 2000</td> </tr> <tr> <td>親子開き</td> <td>・ 1200 ・ 1250</td> <td>・ 2100</td> </tr> <tr> <td>両開き</td> <td>・ 1800 ・ 1900</td> <td></td> </tr> </table> <p>8. 鋼製軽量建具 (16.5.2) 簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) (16.5.3) 耐震ドアの面内変形追随性 ・ () 等級 (16.5.4) 防音ドア、防音サッシの遮音性 ・ () 等級 (16.5.5) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ・ () 等級 (表16.5.1) 鋼板類の種類 ・ 図示 (図面番号:) 召合せ、縦小口包み板等の材質 ・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金押出形材 鋼板類の厚さ ・ [表16.5.1] ・ 図示 (図面番号:) H>2400mm 又は W>950mm ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>9. ステンレス製建具 (16.6.2) 簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) (16.6.3) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (16.6.4) 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ () 等級 (16.6.5) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ () 等級 (表16.6.4) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ () 等級 (16.6.5) ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ () (表16.6.4.1) 表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>10. 木製建具 (16.7.2) 建具材の含水率 ・ A種 ・ B種 (16.7.3) フラッシュ戸、戸ふすまの表面材 (表16.7.1) ・ 合板 (普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板) ・ MDF 区分 (表表面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) (表16.7.2) ・ 図面 (図面番号:) (表16.7.6) ・ 図面 (図面番号:) (表16.7.7)</p>	形式	幅(mm)	高さ(mm)	片開き	・ 900 ・ 950	・ 2000	親子開き	・ 1200 ・ 1250	・ 2100	両開き	・ 1800 ・ 1900		<p>(表16.7.3) フラッシュ戸の形状 (16.7.4) 表面板の厚さ ・ 標準仕様書[表16.7.6] ・ () (表16.7.8) 引戸の召合せ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:) かまち戸 かまち、鏡板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ふすま 種類 ・ I型 ・ II型 上張の種類 ・ 図示 (図面番号:) 縁の仕上げ ・ 図示 (図面番号:) 枠及びくつずりの材料 ・ 図示 (図面番号:) 各木製建具の見込み寸法 ・ 標準仕様書[表16.7.7] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(表16.8.1) ⑪ 建具用金物 (16.8.2) マスターキー ・ 製作する () 製作しない () (表16.8.1) ・ 監督員と協議の上システムを決定する () キーボックス ・ 要 () 不要 () 鍵の製作本数等 () 3本一組とし、室名札を付ける ・ () 金物の種類、見え掛かり部等の材質等 () 標準仕様書[表16.8.1] ・ 図示 (図面番号:) (表16.8.3) 表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について (16.8.4) ・ 図示 (図面番号:) (表16.8.2) 丁番の枚数、大きさ (表16.8.3) 金属製建具 () 標準仕様書[表16.8.2] ・ () (表16.8.4) 樹脂製建具 ・ 標準仕様書[表16.8.3] ・ () (表16.8.5) 木製建具 ・ 標準仕様書[表16.8.4] ・ () 戸車、レールの外径等 ・ 標準仕様書[表16.8.5] ・ () レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>12. 自動ドア開閉装置 (16.9.2) 駆動装置の性能値 (表16.9.1) 多機能トイレ出入口以外 ・ 標準仕様書[表16.9.1] ・ () (表16.9.2) 多機能トイレ出入口 ・ 標準仕様書[表16.9.2] ・ () (表16.9.3) 検出装置の性能 (表16.9.3) ・ 標準仕様書[表16.9.3] ・ () (表16.9.4) 戸の開閉方式 ・ 図示 (図面番号:) (表16.9.4) 引き戸用検出装置の種類 ・ () 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない ・ 防錆の適用</p> <p>13. 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1) 性能値 (表16.10.1) ・ 標準仕様書 [表16.10.1] ・ ()</p> <p>14. 重量シャッター (16.11.2) シャッターの種類 ・ 図示 (図面番号:) (表16.11.1) 開閉方式 ・ 図示 (図面番号:) (16.11.3) 外壁開口部のシャッター ・ 耐風圧強度 () Pa 以上 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:) シャッターケース ・ 図示 (図面番号:) 鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p> <p>(表16.12.2) ⑫ 軽量シャッター (16.12.2) 開閉方式 () 手動式 ・ 図示 (図面番号:) (表16.12.1) ・ 耐風圧強度 () Pa 以上 (16.12.3) 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:) (16.12.4) スラットの材質、めっき付着量 ・ JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ () スラットの形状 ・ インターロッキング形 () オーバーラッピング形</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>・ スチールタイプ</td> <td>・ バランス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>・ 溶融亜鉛</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバー</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハイリフト形</td> <td>ステンレス</td> </tr> <tr> <td>・ グラスタイプ</td> <td></td> <td>・ パーチカル形</td> <td>鋼板</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能の区分 JIS A 4715 ・ () 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛	・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板	・ ファイバー	・ 電動式	・ ハイリフト形	ステンレス	・ グラスタイプ		・ パーチカル形	鋼板	<p>17. ガラス (16.14.2) 板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 ・ 図示 (図面番号:) (16.14.3) 留め材 ・ シーリング ・ ガスケット () ガラス溝の寸法、形状等 ・ 製造所の仕様による ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>18. ガラスブロック積み (16.14.5) 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 壁用金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) カ骨の材質等 ・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋 ・ () 化粧目地モルタルの色等 ・ 製造所の仕様による ・ () シーリング材の種類 ・ () 化粧カバーの材質、形状等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:) アンカー等の留付け間隔(木下地の場合) ・ 図示 (図面番号:) 目地幅、伸縮調整目地 ・ 標準仕様書[16.14.5] (2) (ウ) (a) (b) (i) の各後段 ・ ()</p> <p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1. 種類 (17.1.1) ・ 1種類 (17.1.3) ・ メタルカーテンウォール ・ PCカーテンウォール</p> <p>2. 性能等 (17.1.3) 耐風圧性 () 耐震性 () (17.2.2) 水密性 () 気密性 () (17.3.2) 耐火性 () 耐温度差性 () 遮音性 () 断熱性 () 性能の確認・判定方法 () シーリング材の種類 () 断熱材 ()</p> <p>3. メタルカーテンウォール (17.2.2) カーテンウォールの材料 (17.2.3) 材料 規格等 見え掛り部の仕上げ 映像調整 ・ アルミニウム製 ・ 標準仕様書[16.2.3] ・ 行う ・ () ・ ()</p> <p>(表17.2.1) 製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.1] (17.2.5) ガラス溝の寸法、形状等 ・ 製造所の仕様による (17.2.6) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(表17.2.2) 取付け (表17.2.3) 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.2] ・ () カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.3] ・ () ガラスの取付け ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>4. PCカーテンウォール (17.3.2) カーテンウォールの材料 (17.3.3) コンクリートの種類及び品質 ・ 図示 (図面番号:) (17.3.4) 鉄筋 ・ SD295 ・ () (17.3.5) 補強鉄線の径、網目寸法 ・ 図示 (図面番号:) (17.3.6) 耐力目地材 ・ () 配筋 ・ 図示 (図面番号:) 先付け材料 ・ 仕上げ材 () ・ 建具枠 () ・ ゴンドラ用ガイドレール () ・ ()</p> <p>(表17.3.1) 製品の寸法許容差等 ・ 標準仕様書[表17.3.1]による ・ () (表17.3.2) 表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル 石材 (花こう岩 ・ 大理石 ・ ()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.3.2] ・ () ガラスの取付け ・ 図示 (図面番号:)</p>
	樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																				
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																					
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																					
・ アクリルシリコン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																					
・ ふっ素系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																					
形式	幅(mm)	高さ(mm)																																																																					
片開き	・ 900 ・ 950	・ 2000																																																																					
親子開き	・ 1200 ・ 1250	・ 2100																																																																					
両開き	・ 1800 ・ 1900																																																																						
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																				
・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛																																																																				
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板																																																																				
・ ファイバー	・ 電動式	・ ハイリフト形	ステンレス																																																																				
・ グラスタイプ		・ パーチカル形	鋼板																																																																				
16 建 具 工 事	<p>1. 防火戸 (16.1.3) 防火戸の指定 ・ 図示 (図面番号:) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>2. 見本の製作等 (16.1.4) 建具見本の製作 ・ 実施する 特殊な建具の仮組 ・ 実施する</p> <p>3. 防犯建物部品 (16.1.6) 防犯建物部品 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>4. 防犯用製建具 (16.2.2) 外部建具の性能等級等 (16.2.4) コンクリート系下地、鉄骨下地 ・ A種 () B種 () C種 () (表16.2.1) 木下地 (表16.2.2) ・ D種 ・ E種 ・ () (表14.2.2) 表面処理 種別 ・ () ・ 標準色 ・ 特注色 (16.2.5) 内部建具 表面処理 種別 ・ () ・ 標準色 ・ 特注色</p>	<p>9. ステンレス製建具 (16.6.2) 簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:) (16.6.3) 外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (16.6.4) 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ () 等級 (16.6.5) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ () 等級 (表16.6.4) 耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ () 等級 (16.6.5) ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ () (表16.6.4.1) 表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>10. 木製建具 (16.7.2) 建具材の含水率 ・ A種 ・ B種 (16.7.3) フラッシュ戸、戸ふすまの表面材 (表16.7.1) ・ 合板 (普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板) ・ MDF 区分 (表表面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) (表16.7.2) ・ 図面 (図面番号:) (表16.7.6) ・ 図面 (図面番号:) (表16.7.7)</p>	<p>(表16.7.3) フラッシュ戸の形状 (16.7.4) 表面板の厚さ ・ 標準仕様書[表16.7.6] ・ () (表16.7.8) 引戸の召合せ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:) かまち戸 かまち、鏡板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ふすま 種類 ・ I型 ・ II型 上張の種類 ・ 図示 (図面番号:) 縁の仕上げ ・ 図示 (図面番号:) 枠及びくつずりの材料 ・ 図示 (図面番号:) 各木製建具の見込み寸法 ・ 標準仕様書[表16.7.7] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(表16.8.1) ⑪ 建具用金物 (16.8.2) マスターキー ・ 製作する () 製作しない () (表16.8.1) ・ 監督員と協議の上システムを決定する () キーボックス ・ 要 () 不要 () 鍵の製作本数等 () 3本一組とし、室名札を付ける ・ () 金物の種類、見え掛かり部等の材質等 () 標準仕様書[表16.8.1] ・ 図示 (図面番号:) (表16.8.3) 表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について (16.8.4) ・ 図示 (図面番号:) (表16.8.2) 丁番の枚数、大きさ (表16.8.3) 金属製建具 () 標準仕様書[表16.8.2] ・ () (表16.8.4) 樹脂製建具 ・ 標準仕様書[表16.8.3] ・ () (表16.8.5) 木製建具 ・ 標準仕様書[表16.8.4] ・ () 戸車、レールの外径等 ・ 標準仕様書[表16.8.5] ・ () レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>12. 自動ドア開閉装置 (16.9.2) 駆動装置の性能値 (表16.9.1) 多機能トイレ出入口以外 ・ 標準仕様書[表16.9.1] ・ () (表16.9.2) 多機能トイレ出入口 ・ 標準仕様書[表16.9.2] ・ () (表16.9.3) 検出装置の性能 (表16.9.3) ・ 標準仕様書[表16.9.3] ・ () (表16.9.4) 戸の開閉方式 ・ 図示 (図面番号:) (表16.9.4) 引き戸用検出装置の種類 ・ () 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない ・ 防錆の適用</p> <p>13. 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1) 性能値 (表16.10.1) ・ 標準仕様書 [表16.10.1] ・ ()</p> <p>14. 重量シャッター (16.11.2) シャッターの種類 ・ 図示 (図面番号:) (表16.11.1) 開閉方式 ・ 図示 (図面番号:) (16.11.3) 外壁開口部のシャッター ・ 耐風圧強度 () Pa 以上 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:) シャッターケース ・ 図示 (図面番号:) 鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p> <p>(表16.12.2) ⑫ 軽量シャッター (16.12.2) 開閉方式 () 手動式 ・ 図示 (図面番号:) (表16.12.1) ・ 耐風圧強度 () Pa 以上 (16.12.3) 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:) (16.12.4) スラットの材質、めっき付着量 ・ JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ () スラットの形状 ・ インターロッキング形 () オーバーラッピング形</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>・ スチールタイプ</td> <td>・ バランス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>・ 溶融亜鉛</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバー</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハイリフト形</td> <td>ステンレス</td> </tr> <tr> <td>・ グラスタイプ</td> <td></td> <td>・ パーチカル形</td> <td>鋼板</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能の区分 JIS A 4715 ・ () 安全装置の設置箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛	・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板	・ ファイバー	・ 電動式	・ ハイリフト形	ステンレス	・ グラスタイプ		・ パーチカル形	鋼板	<p>17. ガラス (16.14.2) 板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 ・ 図示 (図面番号:) (16.14.3) 留め材 ・ シーリング ・ ガスケット () ガラス溝の寸法、形状等 ・ 製造所の仕様による ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>18. ガラスブロック積み (16.14.5) 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 壁用金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) カ骨の材質等 ・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋 ・ () 化粧目地モルタルの色等 ・ 製造所の仕様による ・ () シーリング材の種類 ・ () 化粧カバーの材質、形状等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:) アンカー等の留付け間隔(木下地の場合) ・ 図示 (図面番号:) 目地幅、伸縮調整目地 ・ 標準仕様書[16.14.5] (2) (ウ) (a) (b) (i) の各後段 ・ ()</p> <p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1. 種類 (17.1.1) ・ 1種類 (17.1.3) ・ メタルカーテンウォール ・ PCカーテンウォール</p> <p>2. 性能等 (17.1.3) 耐風圧性 () 耐震性 () (17.2.2) 水密性 () 気密性 () (17.3.2) 耐火性 () 耐温度差性 () 遮音性 () 断熱性 () 性能の確認・判定方法 () シーリング材の種類 () 断熱材 ()</p> <p>3. メタルカーテンウォール (17.2.2) カーテンウォールの材料 (17.2.3) 材料 規格等 見え掛り部の仕上げ 映像調整 ・ アルミニウム製 ・ 標準仕様書[16.2.3] ・ 行う ・ () ・ ()</p> <p>(表17.2.1) 製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.1] (17.2.5) ガラス溝の寸法、形状等 ・ 製造所の仕様による (17.2.6) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(表17.2.2) 取付け (表17.2.3) 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.2] ・ () カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.3] ・ () ガラスの取付け ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>4. PCカーテンウォール (17.3.2) カーテンウォールの材料 (17.3.3) コンクリートの種類及び品質 ・ 図示 (図面番号:) (17.3.4) 鉄筋 ・ SD295 ・ () (17.3.5) 補強鉄線の径、網目寸法 ・ 図示 (図面番号:) (17.3.6) 耐力目地材 ・ () 配筋 ・ 図示 (図面番号:) 先付け材料 ・ 仕上げ材 () ・ 建具枠 () ・ ゴンドラ用ガイドレール () ・ ()</p> <p>(表17.3.1) 製品の寸法許容差等 ・ 標準仕様書[表17.3.1]による ・ () (表17.3.2) 表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル 石材 (花こう岩 ・ 大理石 ・ ()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.3.2] ・ () ガラスの取付け ・ 図示 (図面番号:)</p>																																															
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																				
・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛																																																																				
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板																																																																				
・ ファイバー	・ 電動式	・ ハイリフト形	ステンレス																																																																				
・ グラスタイプ		・ パーチカル形	鋼板																																																																				

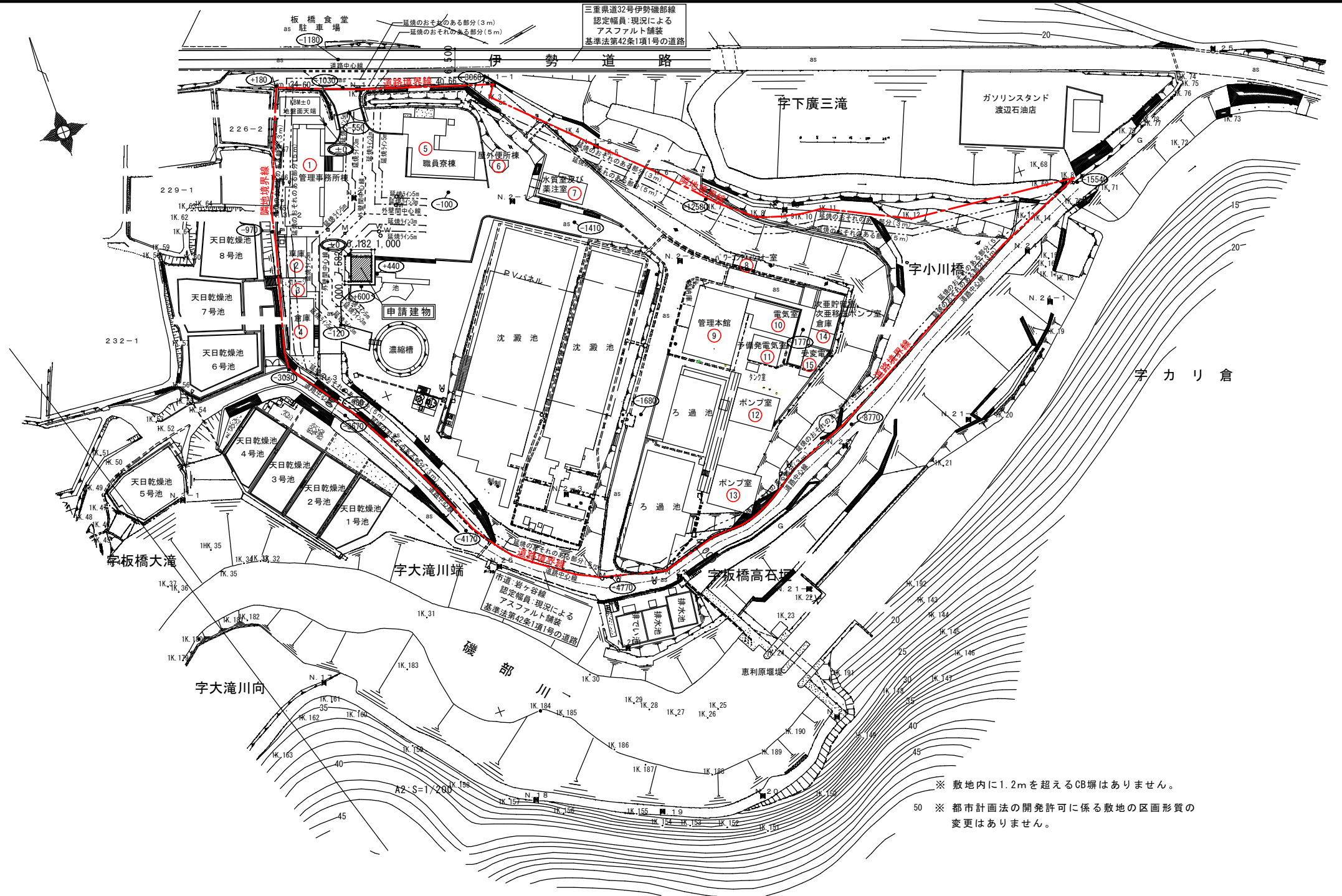
<p>5. 手すり (20.2.6)</p> <p>6. 階段滑り止め (20.2.7)</p> <p>7. 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <p>8. 鏡 (20.2.10)</p> <p>9. 表示 (20.2.11)</p> <p>10. タラップ (20.2.12)</p> <p>11. 煙突ライニング (20.2.13)</p> <p>12. ブラインド (20.2.14)</p> <p>13. ロールスクリーン (20.2.15)</p> <p>14. カーテン及びカーテンレール (20.2.16)</p> <p>15. プレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)</p> <p>16. 間知石及び間知ブロック積 (20.4.2) (20.4.3)</p>	<p>材料の種類 ・アルミ ・ステンレス (仕上げ:)</p> <p>材質 ・ ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・ 約35mm ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法</p> <p>黒板の区分 ・ 焼付け ・ () 黒板の種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ・ () ホワイトボード ・ () ・ 図示(図面番号:)</p> <p>厚さ ・ 5mm ・ ()mm</p> <p>室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式等 ・ 図示(図面番号:) ・ 衝突防止表示 図示(図面番号:) ・ 非常用進入口表示 図示(図面番号:)</p> <p>材料の種類 ・ ステンレス ・ () 仕上げ ・ 研磨等なし ・ ()</p> <p>適用安全使用温度 ・ ()℃ 工法 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>スラット</th> <th>開閉方式</th> <th>スラットの成形幅(mm)</th> <th>ヘッドボックス・ボトムレールの材質</th> </tr> <tr> <td>・ 横形ブラインド</td> <td>・ アルミニウム合金 ・ ()</td> <td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td> <td>・ 25 ・ ()</td> <td>・ 鋼製 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形ブラインド</td> <td>・ アルミニウム合金 ・ ()</td> <td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>※幅、高さの寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 寸法及び材質 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>生地</th> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> </tr> <tr> <td>・ ドレープ ・ レース ・ 図示()</td> <td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ</td> <td>・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td> </tr> <tr> <td>・ 暗幕(遮光)級</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり ・ 300mm以上 ・ () ・ 図示(図面番号:)</p> <p>カーテンレール ・ アルミ製 ・ ステンレス製 強さによる区分 ・ 10-90 ・ () 形状 ・ シングル ・ ダブル 断面形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形 仕上げ ・ アルマイト ・ () 付属金物(フック) ・ 鋼製 ・ 樹脂製</p> <p>補強鉄線の径 ・ 3.2mm ・ () 補強鉄線の網目寸法 ・ () 設計基準強度F_c ・ 図示(図面番号:) 配筋 ・ 図示(図面番号:) 取付方法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>材質 ・ () 種類及び質量区分 ・ 図示(図面番号:) 積み方 ・ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・ 材質() ・ 厚さ()mm</p>	形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの材質	・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()	・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()		生地	ひだの種類	形式	開閉操作	・ ドレープ ・ レース ・ 図示()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ 暗幕(遮光)級	・ ()	・ ()	・ ()	<p>①排水管 (21.2.1) (表21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>VP</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> <p>②排水樹等 (21.2.1)</p> <p>排水樹、ふた 種類等 ・ 図示(図面番号: M-03) ・ 側塊の形状、寸法 ・ 図示(図面番号:) グレーチングの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインパッチ</th> <th>ネット固定</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>場所打ちコンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ () 設計基準強度 ・ 18N/mm² ・ () スランブ ・ 15cm ・ 18cm ・ () cm 鉄筋の種類等 ・ SD295 ・ () 凍結抑制層の材料 ・ ()</p> <p>③地業の材料 (21.2.1)</p> <p>④埋め戻し土 (21.2.1)</p> <p>5. 施工 (21.2.2)</p> <p>場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ スチール製(幅400mm、径22mm) ・ 鉄製(径22mm、防錆処理済み) ・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの(径19mm) ・ 図示(図面番号:) 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪</p> <p>6. 街きよ緑石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)</p> <p>コンクリート緑石、側溝 種類、形状、寸法 ・ 図示(図面番号:) 砂利地業 厚さ ・ 100mm ・ 図示(図面番号:)</p> <p>⑤舗装工事 (22.2.1) (22.2.2) (22.2.3) (22.2.4) (22.2.5)</p> <p>1. 路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)</p> <p>路床の材料(厚さは図示(図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量()kg/m³(目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量()m³ 片道の運搬距離()km 試験 ・ 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部</th> <th>路盤材料</th> </tr> <tr> <td>・ アスファルト舗装</td> <td>・ (150) ・ ()</td> <td>・ 再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ カラー舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性アスファルト舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td>・ インターロッキングブロック舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>⑥舗装工事 (22.2.1) (22.2.2) (22.2.3) (22.2.4) (22.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ コンクリート平板舗装</td> <td>・ 普通平板 ・ 透水平板</td> <td>・ 300角 ・ ()</td> <td>・ 60 ・ ()</td> <td>目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・ インターロッキングブロック舗装</td> <td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td> <td></td> <td>車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()</td> <td>表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 舗石舗装</td> <td>・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()</td> <td></td> <td>・ 80~100</td> <td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm</td> </tr> </table> <p>コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ・ 空練りモルタル ・ 図示(図面番号:) 平坦性 ・ 平板等の段差3mm以内 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>8. 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>舗装構成 ・ 図示(図面番号:)</p>	材種	管の種類	呼び径	備考	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP	100		材質	用途	適用荷重	メインパッチ	ネット固定						舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ (150) ・ ()	・ 再生クラッシュラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン	・ ()	・ () ・ ()	・ ()	舗装の種類	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()	・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm	<p>③アスファルト舗装 (22.4.2)~(22.4.6) (表22.4.1)~(表22.4.6)</p> <p>舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示(図面番号:) ・ A-3-10 ・ () 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示(図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示(図面番号: A-20) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>4. コンクリート舗装 (22.5.2)~(22.5.6) (表22.5.1)</p> <p>舗装の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示(図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示(図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書[表22.5.1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類() ・ 間隔() ・ 標準仕様書[表22.5.3] 目地の構造 ・ 標準仕様書[図22.5.1] ・ 図示(図面番号:) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示(図面番号:)</p> <p>5. カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3) (22.6.4) (表22.6.1)</p> <p>種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ() 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系(顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示(図面番号:) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1)</p> <p>舗装構成 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ コンクリート平板舗装</td> <td>・ 普通平板 ・ 透水平板</td> <td>・ 300角 ・ ()</td> <td>・ 60 ・ ()</td> <td>目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・ インターロッキングブロック舗装</td> <td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td> <td></td> <td>車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()</td> <td>表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 舗石舗装</td> <td>・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()</td> <td></td> <td>・ 80~100</td> <td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm</td> </tr> </table> <p>コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ・ 空練りモルタル ・ 図示(図面番号:) 平坦性 ・ 平板等の段差3mm以内 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>8. 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ () ・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ()</p>	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()	・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm	<p>23 植栽工事</p> <p>1. 植栽地の確認 (23.1.3)</p> <p>試験 ・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 電気伝導率(EC)の試験 ・ ()の試験</p> <p>2. 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <p>植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示(図面番号:) 厚さ ・ 図示(図面番号:) 排水設備 ・ 設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・ 現場発生土の良質土 ・ 客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ ()</p> <p>3. 植樹 (23.3.2) (23.3.3)</p> <p>樹木の種類 ・ 図示(図面番号:) 寸法 ・ 図示(図面番号:) 株立数 ・ 図示(図面番号:) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太(防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも</p> <p>4. 新植樹木の枯補償 (23.3.4)</p> <p>引渡しの日から ・ 1年 ・ ()</p> <p>5. 移植樹木の枯損処理 (23.3.6)</p> <p>引渡しの日から ・ 1年 ・ ()</p> <p>6. 芝張り、吹付けは種及び地被類 (23.4.2) (23.4.3) (23.4.7)</p> <p>種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書[23.4.2](3)(7)後段 ・ 図示(図面番号:) 量 ・ () ・ 図示(図面番号:) 地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示(図面番号:) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示(図面番号:) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示(図面番号:) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡し日から1年間 ・ ()</p> <p>7. 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4) (23.5.5)</p> <p>植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示(図面番号:) 排水層 ・ 軽量骨材(層の厚さ:) ・ 板状成形品 植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土 樹種、種類、寸法、株立数、刈込み ・ 図示(図面番号:) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルテング材等 ・ 図示(図面番号:) 風圧力に対応した工法(建設省告示第1458号) ・ 図示(図面番号:) 支柱 ・ 図示(図面番号:) かん水装置 ・ 図示(図面番号:) 新植樹木の枯補償期間 ・ 引渡し日から1年間 ・ 図示(図面番号:) 芝及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡し日から1年間 ・ 図示(図面番号:)</p>
形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの材質																																																																																																							
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()																																																																																																							
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()																																																																																																								
生地	ひだの種類	形式	開閉操作																																																																																																								
・ ドレープ ・ レース ・ 図示()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動																																																																																																								
・ 暗幕(遮光)級	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																								
材種	管の種類	呼び径	備考																																																																																																								
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP	100																																																																																																									
材質	用途	適用荷重	メインパッチ	ネット固定																																																																																																							
舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料																																																																																																									
・ アスファルト舗装	・ (150) ・ ()	・ 再生クラッシュラン																																																																																																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン																																																																																																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																																																																																																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン																																																																																																									
・ ()	・ () ・ ()	・ ()																																																																																																									
舗装の種類	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																							
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																																																																																																							
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()																																																																																																							
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm																																																																																																							
舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																							
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																																																																																																							
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()																																																																																																							
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ ()mm																																																																																																							

水道用資機材倉庫新築工事 概略工程表

工種	令和 8 年																	
	1 ヶ月			2 ヶ月			3 ヶ月			4 ヶ月			5 ヶ月			6 ヶ月		
	10	20	31	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31
仮設工事	準備工	仮囲い	遣方 墨だし							内部足場 外部足場	外部足場撤去					仮囲い撤去		
解体工事			アスファルト舗装・土間コン解体															
土工事			床付け すきとり・根切り							床付け 埋め戻し								
地業工事				基礎碎石地業			土間碎石地業											
鉄筋工事				加工	基礎組立		土間組立											
コンクリート工事				スコン	基礎コン打設		スコン土間コン打設											
型枠工事					型枠組立	脱型												
プレハブ工事										プレハブ組立	オプション棚組立					清掃	確認申請完了	検査
木工事										木製収納棚組立								
左官工事							基礎天パコテ塗り	土間天パコテ塗り										
外構工事										ブロック塀 根切り	脱型・埋戻し	天端処理	アスファルト舗装	ブロック積	発生土処理			
電気設備工事										配管・配線工事 申請業務	器具取付							
機械設備工事										排水工事								
備考																		



付近見取図 S=1/7500



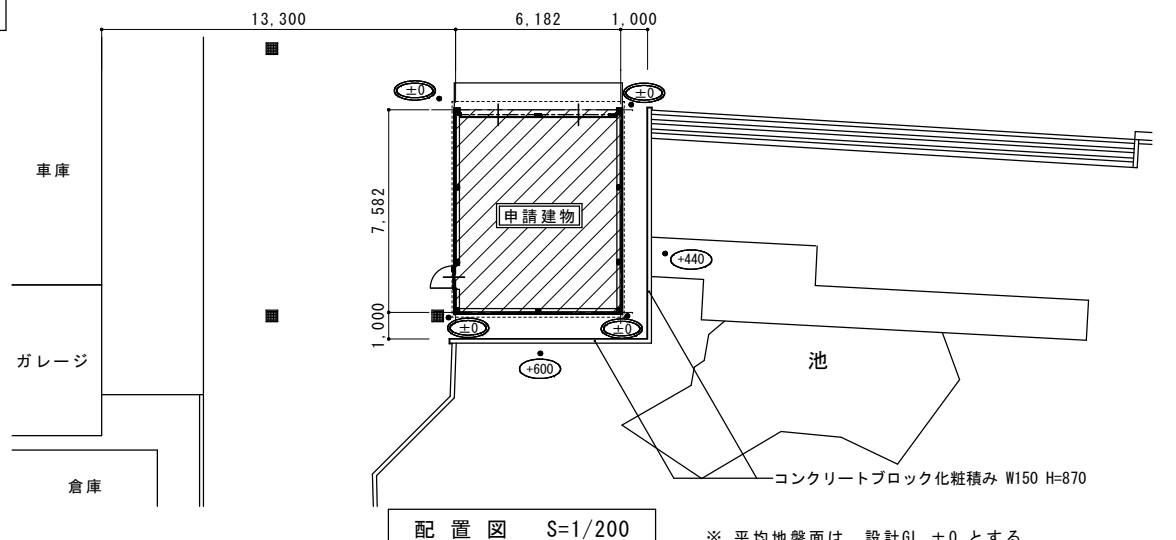
配置図 S=1/1000

※敷地内に1.2mを超えるCB塀はありません。
 ※都市計画法の開発許可に係る敷地の区画形質の変更はありません。

工事概要	
工事名称	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事
工事場所	三重県志摩市磯部町恵利原字板橋227-1、他9筆
都市計画	都市計画区域内 区域区分非設定
防火地域	指定なし
建物名称	水道用資機材倉庫
構造	軽量鉄骨造(プレハブ)平屋建
主要用途	自動車車庫

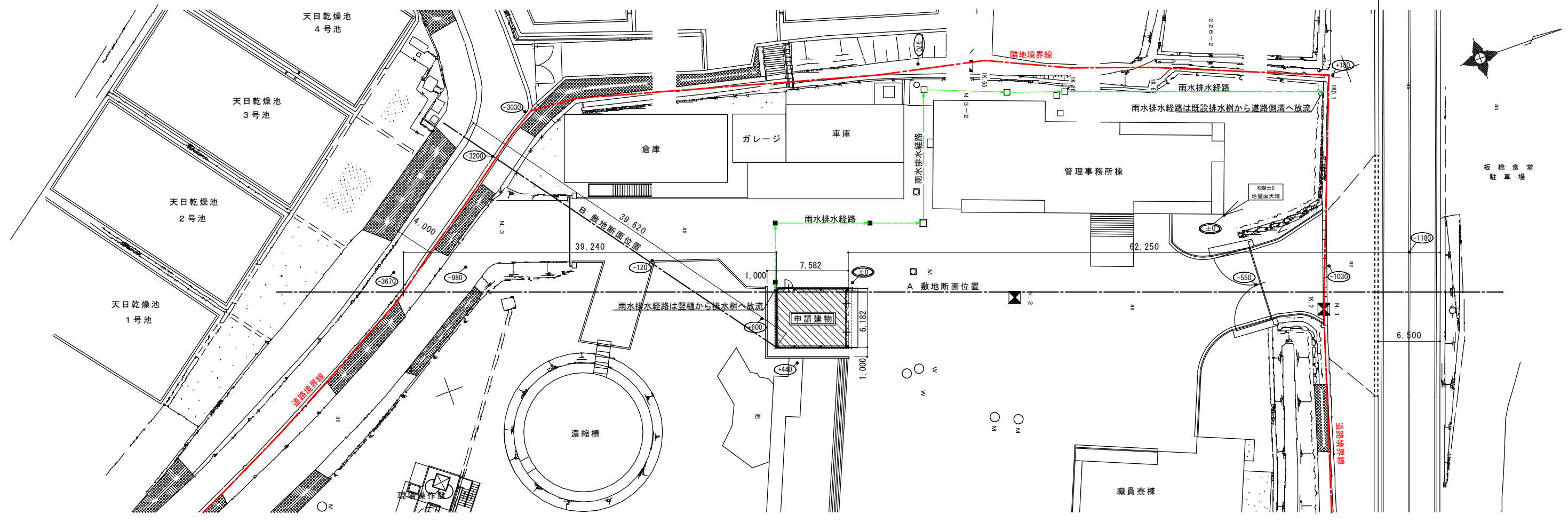
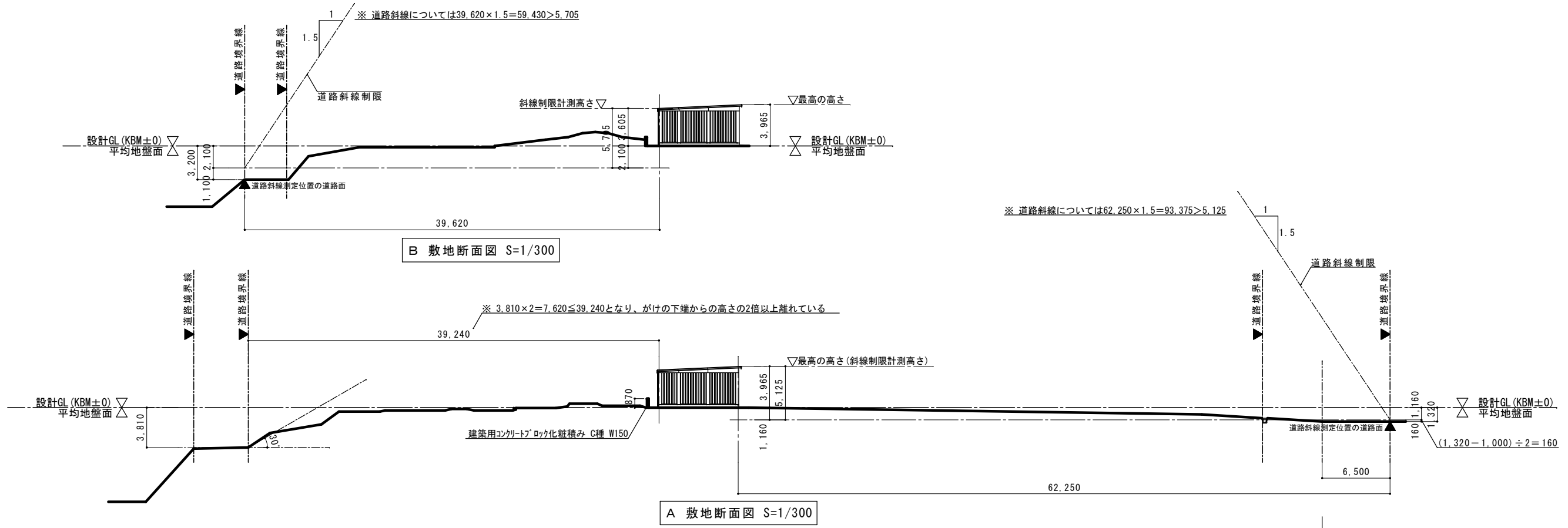
面積表

敷地面積	申請建物															合計	総合計		
	水道用資機材倉庫(倉庫兼車庫)	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬			⑭	⑮
			管理事務所棟	車庫	ガレージ(車庫)	倉庫	職員寮棟	屋外便所棟	水質室及び薬注室	パワーコディン室	管理本館	電気室	予備電気室	ポンプ室	ポンプ室	次重貯留室、次重移送ポンプ室、倉庫	受変電室		
構造	鉄骨造(軽量鉄骨造)		鉄筋コンクリート造	鉄骨造	7R2C1M合金造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造一部木造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造		
建築面積	46.87㎡	46.87㎡	252.75㎡	26.46㎡	64.49㎡	119.00㎡	211.16㎡	16.20㎡	81.38㎡	17.62㎡	226.38㎡	142.91㎡	56.00㎡	101.90㎡	98.82㎡	69.00㎡	24.90㎡	1,508.97㎡	1,555.84㎡
建ぺい率																		7.63%	
1階床面積	46.87㎡	46.87㎡	230.31㎡	26.46㎡	64.49㎡	119.00㎡	193.08㎡	16.20㎡	81.38㎡	17.62㎡	216.00㎡	142.39㎡	56.00㎡	101.90㎡	98.82㎡	69.00㎡	23.63㎡	1,456.28㎡	1,503.15㎡
2階床面積			114.41㎡			31.50㎡	113.40㎡		78.00㎡		216.00㎡	139.89㎡						693.20㎡	693.20㎡
延べ床面積	46.87㎡	46.87㎡	344.72㎡	26.46㎡	64.49㎡	150.50㎡	306.48㎡	16.20㎡	159.38㎡	17.62㎡	432.00㎡	282.28㎡	56.00㎡	101.90㎡	98.82㎡	69.00㎡	23.63㎡	2,149.48㎡	2,196.35㎡
容積率																		2,058.53㎡	10.09%

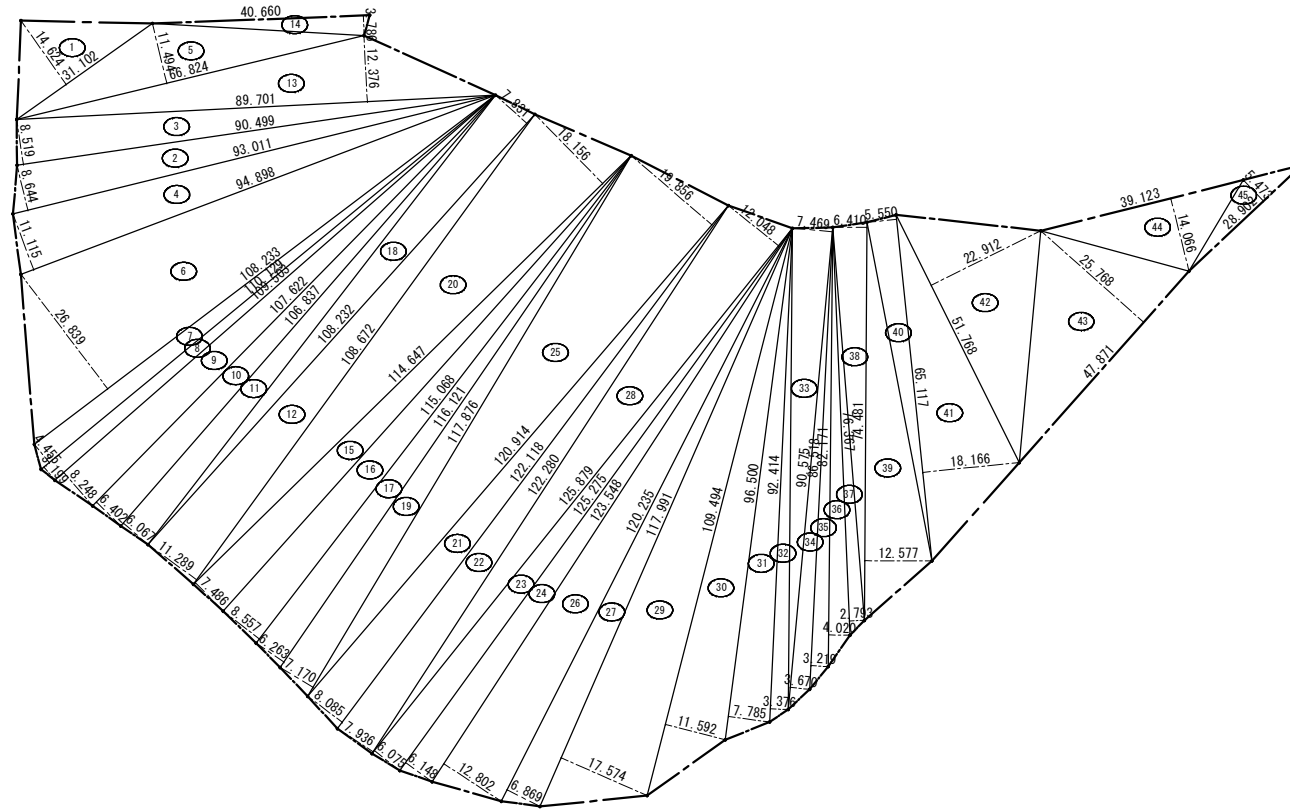


配置図 S=1/200

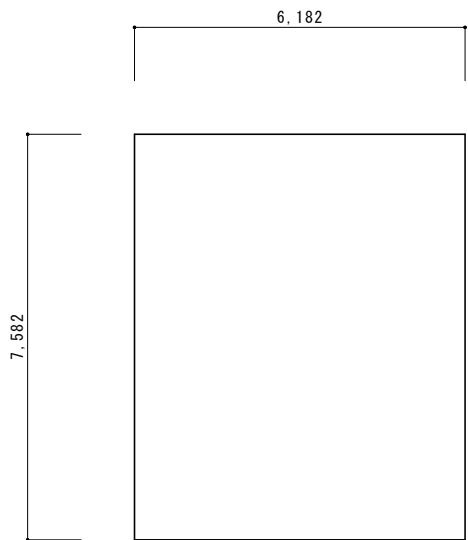
※平均地盤面は、設計GL ±0 とする。



整理番号	工事名	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号	一級建築士 大臣登録第182032号	図面No.
	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事	法規チェック配置図 敷地断面図	A2: S=1/300 A3: A2 × 70.7%	ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	中村 政文	A-10'



敷地求積図 S=1/1000

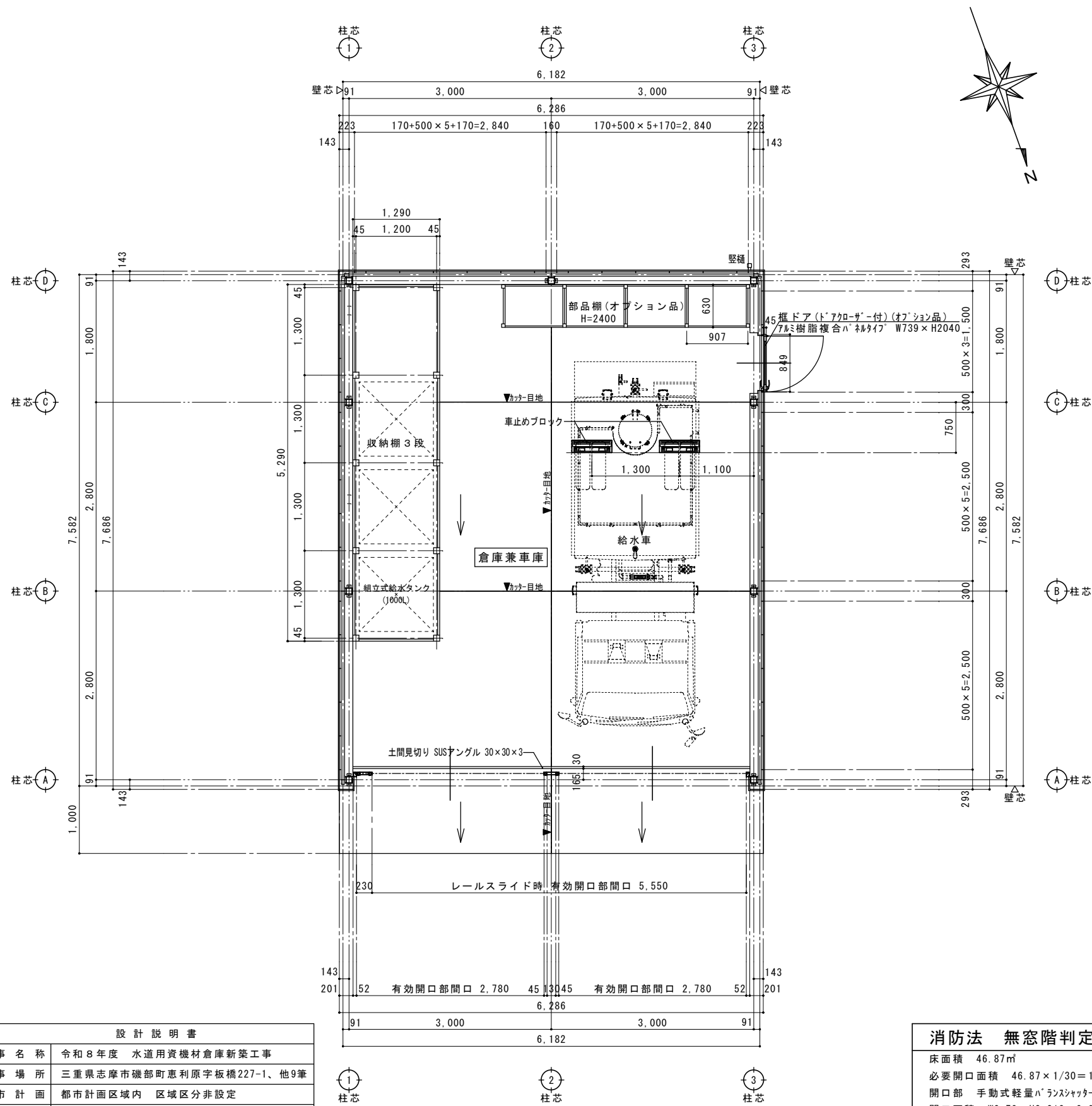


床面積・建築面積求積図 S=1/100

求積表

1 6.182 X 7.582 = 46.871924
 床面積・建築面積 46.87㎡

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	31.102	14.624	454.8356480	227.4178240
2	93.011	8.644	803.9870840	401.9935420
3	90.499	8.519	770.9609810	385.4804905
4	94.898	11.115	1054.7912700	527.3956350
5	66.824	11.494	768.0750560	384.0375280
6	108.233	26.839	2904.8654870	1452.4327435
7	110.129	4.455	490.6246950	245.3123475
8	110.129	3.199	352.3026710	176.1513355
9	109.503	8.248	903.1807440	451.5903720
10	107.622	6.402	688.9960440	344.4980220
11	106.837	6.067	648.1800790	324.0900395
12	108.672	11.289	1226.7982080	613.3991040
13	89.701	12.376	1110.1395760	555.0697880
14	40.660	3.786	153.9387600	76.9693800
15	114.647	7.486	858.2474420	429.1237210
16	115.068	8.557	984.6368760	492.3184380
17	116.121	6.263	727.2658230	363.6329115
18	108.232	7.831	847.5647920	423.7823960
19	117.876	7.170	845.1709200	422.5854600
20	114.647	18.156	2081.5309320	1040.7654660
21	122.118	8.085	987.3240300	493.6620150
22	122.280	7.936	970.4140800	485.2070400
23	125.879	6.075	764.7149250	382.3574625
24	125.275	6.148	770.1907000	385.0953500
25	120.914	19.856	2400.8683840	1200.4341920
26	123.548	12.802	1581.6614960	790.8307480
27	120.235	6.869	825.8942150	412.9471075
28	125.879	12.048	1516.5901920	758.2950960
29	117.991	17.574	2073.5738340	1036.7869170
30	109.494	11.592	1269.2544480	634.6272240
31	96.500	7.785	751.2525000	375.6262500
32	92.414	3.376	311.9896640	155.9948320
33	90.575	7.469	676.5046750	338.2523375
34	90.575	3.670	332.4102500	166.2051250
35	86.518	3.219	278.5014420	139.2507210
36	82.171	4.020	330.3274200	165.1637100
37	76.367	2.793	213.2930310	106.6465155
38	74.481	6.410	477.4232100	238.7116050
39	74.481	12.577	936.7475370	468.3737685
40	65.117	5.550	361.3993500	180.6996750
41	65.117	18.166	1182.9154220	591.4577110
42	51.768	22.912	1186.1084160	593.0542080
43	47.871	25.768	1233.5399280	616.7699640
44	39.123	14.066	550.3041180	275.1520590
45	28.902	5.473	158.1806460	79.0903230
合計				20408.7385005
敷地面積				20408.74㎡



イナバ倉庫・ガレージ SGN-376GPN-2 (参考品番)

品番	部 品 名	材料 (材質)	単位mm
1	水切板	SGCC F12	0.5
2	ベースプレート	SS400	6.0
3	柱後・中・前・中央※	STKR400 F12	2.3
4	土台取付金具	SGHC F12	1.6
5	土台	SGCC F12	1.2
6	桁後	SZAH400 Y10	2.3
7	桁前	SZAH400 Y10	2.3
8	プレートA	SZAH400 Y10	2.3
9	プレートB	SGH400 F12	3.2
10	コーナー金具 (2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
11	梁中 (2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
12	母屋	SZAH400 Y10	2.3
13	小梁	SZAH400 Y10	2.3
14	上胴縁	SZAH400 Y10	2.3
15	化粧柱後・中・前	SGCC F12	1.0
16	桁前幕板 (ハーフタイプのみ)	SZACC Y10	0.7
17	桁後幕板	SZACC Y10	0.7
18	梁左右幕板	SZACC Y10	0.7
19	屋根	CGLCCR AZ150	0.6
20	妻板左右	SZACC Y10	0.7
21	鼻隠シ前・後	SZACC Y10	0.7
22	壁パネル	SGCC F12	0.5
23	胴縁	SGHC F12	1.6
24	ブレース (JIS A 5540)	SS400/SNR400B	M10, 12
25	シャッター	CGC400 Z08	0.5
26	シャッターカバー	SZACC Y10	1.0
27	シャッターレール	SGCC Z08	1.0
	移動柱 (2連棟以上)	SGHC F08	1.6
28	雨樋	PVC	

SGCC, SGHC, SGH400 : JIS G 3302
 STKR400 : JIS G 3466
 SZAH400, SZACC : JIS G 3317
 CGLCCR : JIS G 3322
 CGC400 : JIS G 3312
 SS400 : JIS G 3101
 SNR400B : JIS G 3138

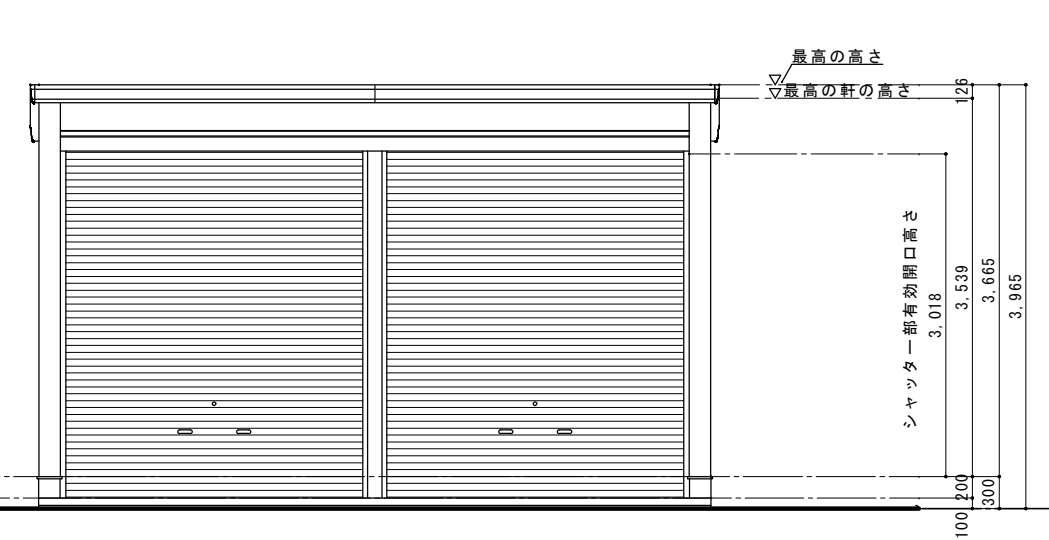
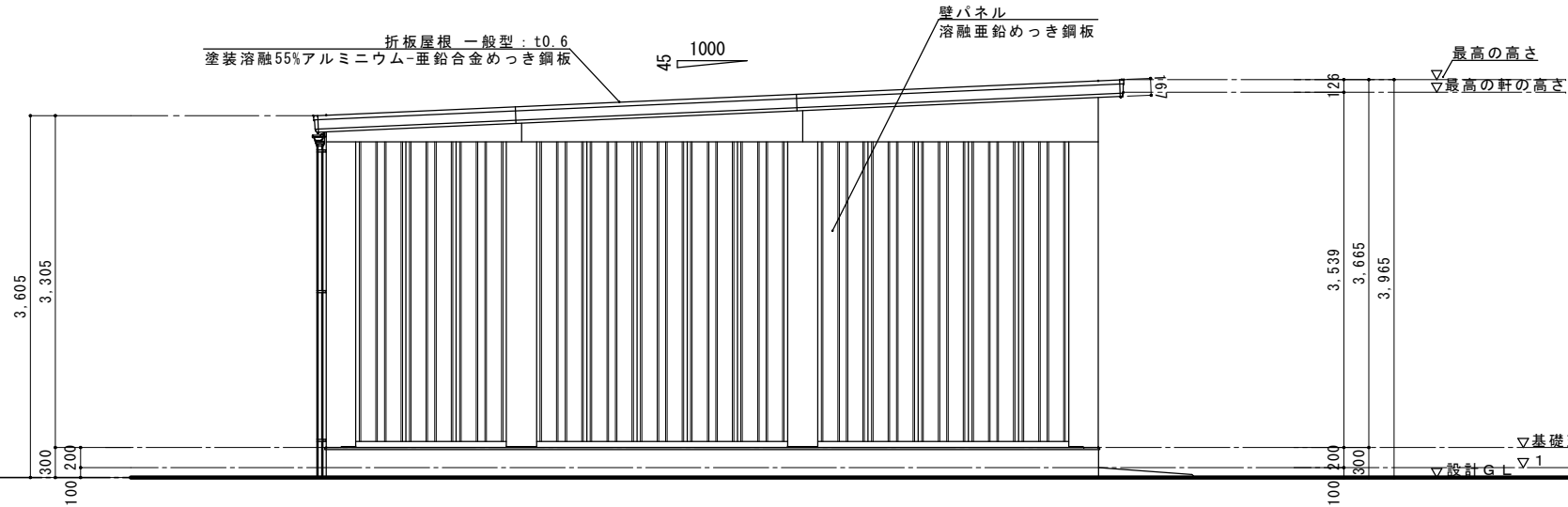
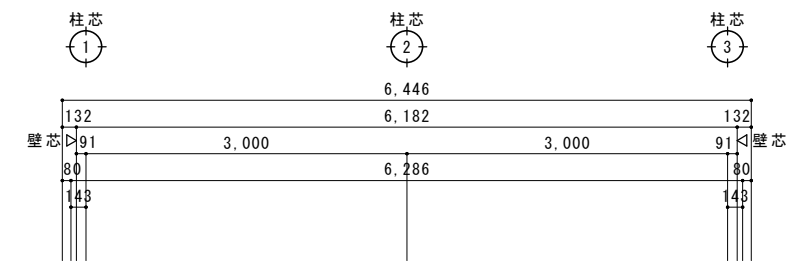
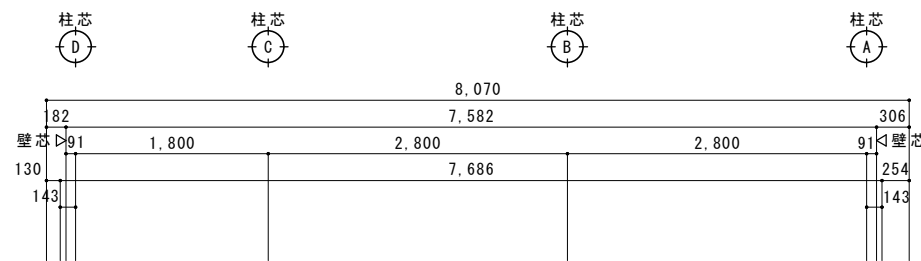
※柱中央は2.5連棟以上の場合のみ使用

設計説明書	
工事名称	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事
工事場所	三重県志摩市磯部町恵利原板橋227-1、他9筆
都市計画	都市計画区域内 区域区分非設定
防火地域	指定なし
建物名称	水道用資機材倉庫
構造	軽量鉄骨造 (プレハブ) 平屋建
主要用途	自動車車庫

平面詳細図 S=1/50

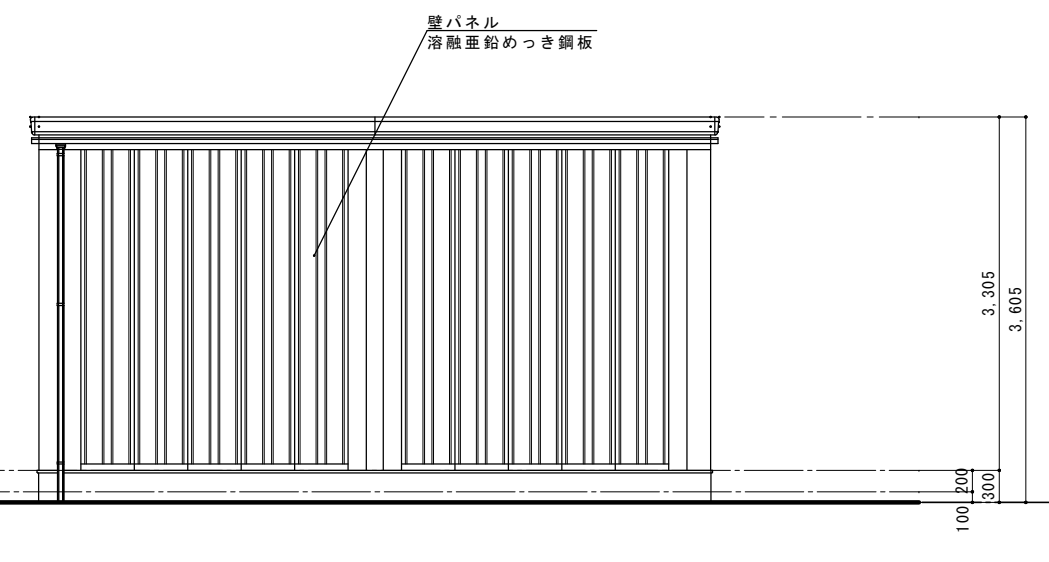
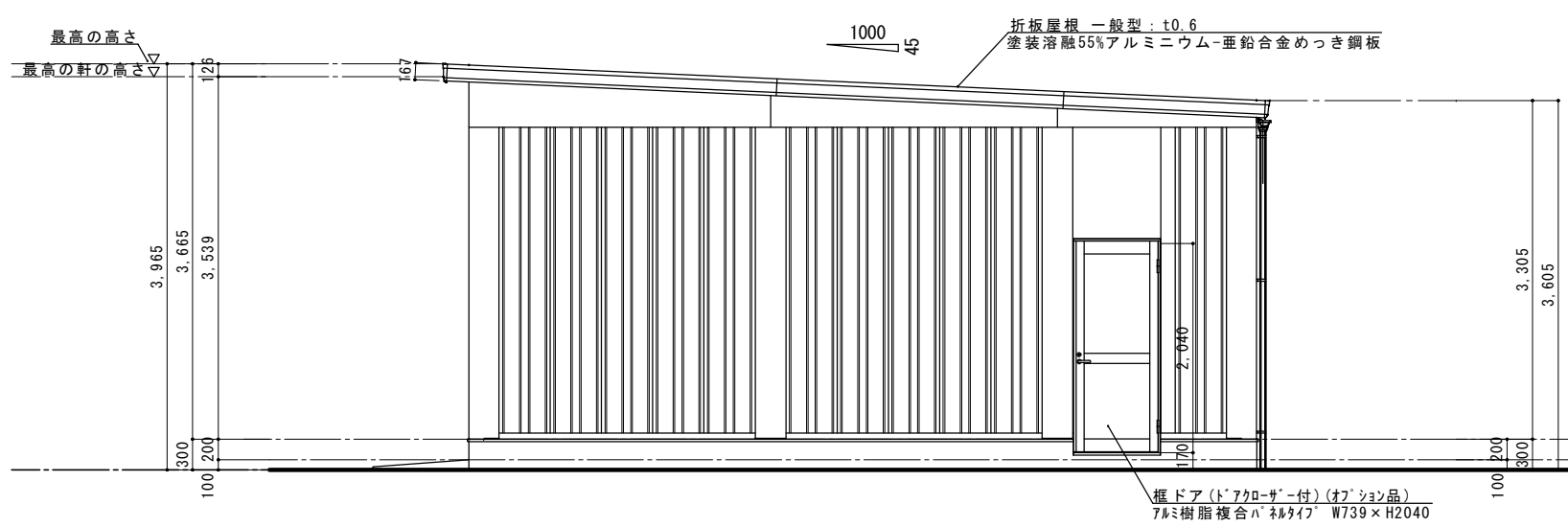
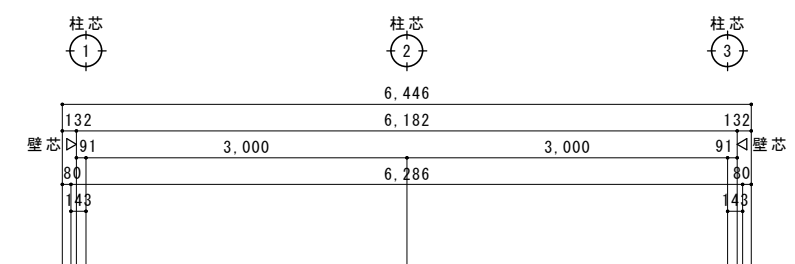
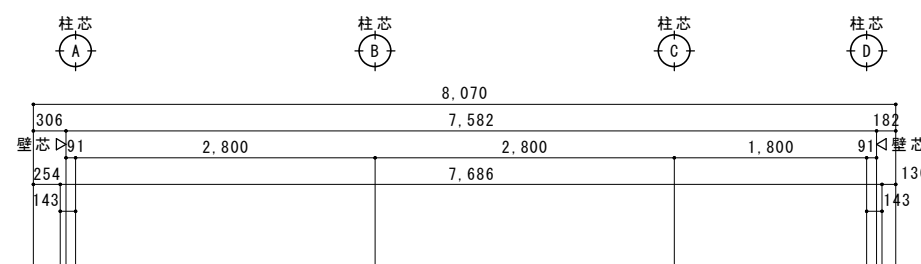
▼カッター目地入れ (幅3mm 深さ10mm) を示す

消防法 無窓階判定
床面積 46.87㎡
必要開口面積 46.87 × 1/30 = 1.56㎡
開口部 手動式軽量ハランスシャッター
開口面積 W2.78 × H3.218 = 8.946 × 2箇所 = 17.892㎡
必要開口面積 1.56㎡ < 開口面積 17.89㎡
但し、軽量ハランスシャッターの開放の有効性に疑義あり。
無窓階とする。
建物使用定員 3名



東立面図 S=1/50

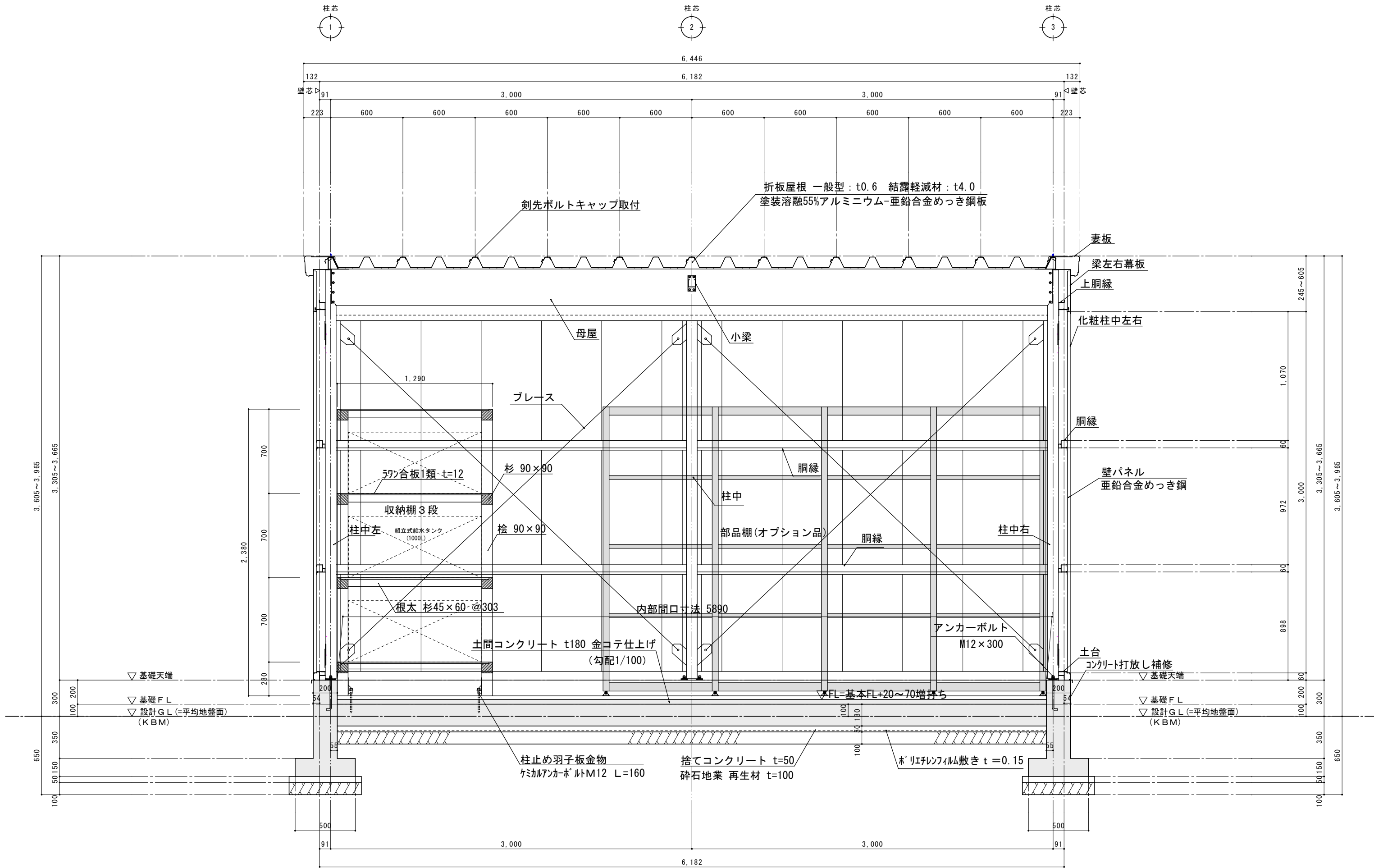
北立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50

南立面図 S=1/50

整理番号	工事名 令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事	図名 立面図	縮尺 A2: S=1/50 A3: S=1/71	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文	図面No. A-13
------	------------------------------	-----------	--------------------------------	---	-----------------------------	---------------



断面詳細図 S=1/20

整理番号	工事名 令和 8 年度 水道用資機材倉庫新築工事	図名 断面詳細図 No. 2	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文	図面No. A-15
			A2:S=1/20 A3:A2×70.7%			

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) コンクリート

- コンクリートは JIS 認定工場の製品とし、施工に関しては JASS5 (2023年版) による。
- セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をかけた3台の運搬車 からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

- 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。施工はJASS5 (2009年版) による。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接工事」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えときには、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
- 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、■ H型 (タガ型) □ W型 (溶接型) □ S型 (スパイラル型) とする。

2. 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表 1. 1 を標準とする。

表 1. 1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295A SD295B, SD345	SD390	
		D16以下	D19~D38	D19~D38
180°				
135°		3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)		4 d 以上		

(注) 2. 特殊形状の折曲げの規格値は構造図に準じて90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長を4 d 以上とする。

3. 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- (1) 柱の四隅にある主筋 (図 2. 1 の●) で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合
- (2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端 (図 2. 1 の○) にある場合 (基礎梁を除く)

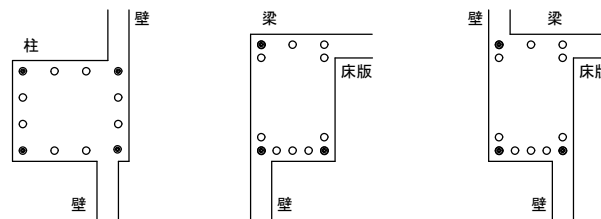


図 2. 1

- (3) 煙突の鉄筋 (壁の一部となる場合を含む)
- (4) 杭基礎のベース筋
- (5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3. 鉄筋の継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、表 3. 1 による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40 d と表 3. 1 の重ね継手長さのうち大きい値とする。

表 3. 1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	長さ	
		L_1 (フックなし)	L_{1h} (フックあり)
SD295A SD295B	18	45 d	35 d
	21	40 d	30 d
	24, 27	35 d	25 d
	30, 33, 36	35 d	25 d
SD345	18	50 d	35 d
	21	45 d	30 d
	24, 27	40 d	30 d
	30, 33, 36	35 d	25 d
SD390	21	50 d	35 d
	24, 27	45 d	35 d
	30, 33, 36	40 d	30 d

- (注) 1. L_1 、 L_{1h} : フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合の L_{1h} は、図 3. 1 に示すようにフック部分 l を含まない。

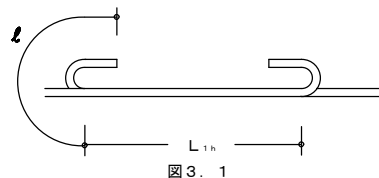


図 3. 1

- (4) 隣り合う継手の位置は、表 3. 2 による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、構造図による。

表 3. 2 隣り合う継手の位置

継手の種類	隣り合う継手の位置	
	フックありの場合	フックなしの場合
重ね継手		
	$a = 0.5 L_{1h}$	$a \geq 0.5 L_{1h}$
圧接継手		
	$a = 0.5 L_1$	$a \geq 0.5 L_1$
機械式継手		
	$a \geq 400\text{mm}$	$a \geq 400\text{mm}$ 以上、かつ、 $a \geq (b + 40)\text{mm}$ 以上

(b) 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、表 3. 3 による。柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは、40 d と表 3. 3 の定着長さのうち大きい値とする。

表 3. 3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L_2		L_3		L_{2h}		L_{3h}	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A SD295B	18	45 d	40 d	20 d	10 d かつ 150mm 以上	35 d	30 d	10 d	-
	21	40 d	35 d			30 d	25 d		
	24, 27	35 d	30 d			25 d	20 d		
	30, 33, 36	35 d	30 d			25 d	20 d		
SD345	18	50 d	40 d	20 d	10 d かつ 150mm 以上	35 d	30 d	10 d	-
	21	45 d	35 d			30 d	25 d		
	24, 27	40 d	35 d			30 d	25 d		
	30, 33, 36	35 d	30 d			25 d	20 d		
SD390	21	50 d	40 d	20 d	10 d かつ 150mm 以上	35 d	30 d	10 d	-
	24, 27	45 d	40 d			35 d	30 d		
	30, 33, 36	40 d	35 d			30 d	25 d		

- (注) 1. L_1 、 L_{1h} : 2. 以外のフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ
2. L_2 、 L_{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所へのフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ
3. L_3 : 小梁及びスラブの下端筋のフックなし直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4. L_{3h} : 小梁の下端筋のフックあり直線定着長さ
5. フックあり定着の場合は、図 3. 2 (イ) に示すようにフック部分 l を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートを使用する場合は、表 3. 3 の値に 5 d を加えたものとする。

4. 鉄筋のかぶり及び間隔

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表 4. 1 による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表 4. 1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	20
	柱、梁、耐力壁	30
	屋内	30
	屋外	40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	*40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	*60
煙突等高温を受ける部分		60

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は構造図による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ (仕上塗材、塗装等) のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、構造図による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- (d) 鉄筋相互のあきは図 4. 1 により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、構造図による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径 (呼び名の数値) の1.5倍

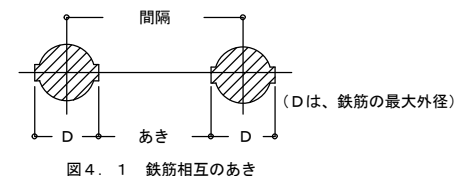


図 4. 1 鉄筋相互のあき

- (e) 鉄筋鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは (d) による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり、厚さは (c) による。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

5. 使用構造材料

※ 建築材料はJIS及びJASの規格品を使用する事

(1) コンクリート

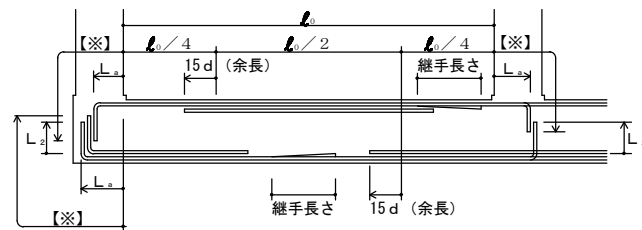
適用箇所	種類	設計基準強度 $f_c = N/mm^2$	スラブルcm	備考
捨コンクリート	● 普通	□ 13.5 ● 18	15	
外部土間コンクリート	● 普通	□ 18 ● 21	15	構造体強度補正值
内部土間コンクリート	● 普通	□ 18 ● 21	15	構造体強度補正值
基礎、基礎梁、擁壁	● 普通	□ 18 ● 21 □ 24	15	構造体強度補正值

(2) 鉄筋

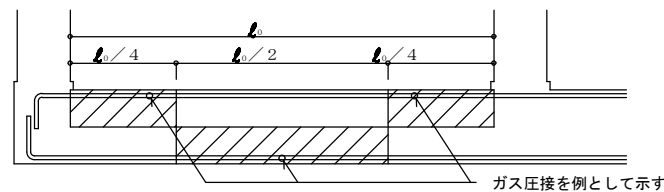
種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	● SD295A	D10~D16	● 重ね継手 D10~D16
	□ SD295B		
	□ SD345	D19以上	□ ガス圧接継手 D19以上
	□		□ 特殊継手
丸鋼	□ SR235		
溶接金網	□		()

6. 基礎梁の配筋

1. 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



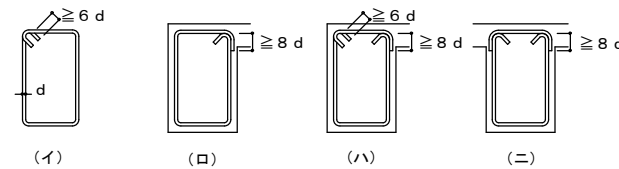
- (注) 1. 印は、継手及び余長位置を示す。
 2. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3. 3のフックなし定着長さのうち大きい値とする。



主筋の継手、定着及び余長 (その3)

2. 基礎梁のあばら筋

(a) あばら筋組立の形及びフックの位置



- (注) 1. (イ)形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)~(ニ)とすることができる。
 2. フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブルの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ)の場合は床板の付く側を90°折り曲げとする。

7. 型枠

● 材料 合板厚 12mmを標準とする。 ● 施工はJASS5(2003年版)による

● 型枠存置期間

種類 部位 セメントの種類 在置期間の気温	せき板				支柱			
	基礎、梁側、柱、壁		スラブル下、梁下		スラブル下		梁下	
コンクリート	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種
	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種
15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	50N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		設計基準強度の100%	

- 注) 1 片持梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
 注) 2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
 注) 5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブルを行う。
 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえしてはならない。
 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

スクリーウエイト貫入試験											
調査名	令和7年度 水道用資機材倉庫新築工事地質調査					調査番号	1				
調査場所	三重県志摩市磯部町恵利原地内					調査年月日	2025年09月08日				
孔口標高	KBM +0.12 m					最終貫入深さ	1.12 m				
孔内水位	無					天候	晴れ				
備考	GL-0.25mまで削孔した					試験者	中西 金森				
							試験方法	全自動式SWS			
層番号	平均	貫入深さ	貫入量	平均	層	地質	貫入量	平均	換算	許容	
Wsw	回転	D	L	回転	厚	種類・状態	Wsw	回転	係数	支持力	
(No)	(No)	(mm)	(cm)	(No)	(mm)		(No)	(No)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	
0.05	0.0	0.25	25	0	0	粘土粘土	0.1	0	0.1	0	
1.00	8.0	0.50	25	32	0.25	粘土粘土	3.4	34.8	46.8	49.2	
1.00	4.0	0.75	25	16	0.25	粘土粘土	3.0	30.0	39.6	39.6	
1.00	12.0	1.00	25	48	0.25	粘土粘土	5.2	58.8	58.8	58.8	
1.00	110.0	1.12	12	917	0.25	粘土粘土	63.4	> 120	> 120	> 120	

使用計算式 換算：換算式 換算N値の計算式は、箱式を採用しております。
 3Wsw+0.05Nsw (粘土) 2Wsw+0.067Nsw (砂質土)
 許容支持力計算式：許容支持力の計算式は国土交通省 告示1113号を採用しております。
 qa=30+0.6Nsw Nswが150以上の場合は150とみなしてあります。

管理番号：22834250908

▽設計GL
500 120

スクリーウエイト貫入試験											
調査名	令和7年度 水道用資機材倉庫新築工事地質調査					調査番号	2				
調査場所	三重県志摩市磯部町恵利原地内					調査年月日	2025年09月08日				
孔口標高	KBM +0.41 m					最終貫入深さ	2.02 m				
孔内水位	無					天候	晴れ				
備考	GL-0.25mまで削孔した					試験者	中西 金森				
							試験方法	全自動式SWS			
層番号	平均	貫入深さ	貫入量	平均	層	地質	貫入量	平均	換算	許容	
Wsw	回転	D	L	回転	厚	種類・状態	Wsw	回転	係数	支持力	
(No)	(No)	(mm)	(cm)	(No)	(mm)		(No)	(No)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	
1.00	2.0	0.25	25	8	0.25	粘土粘土	3.4	34.8	46.8	49.2	
1.00	105.0	0.75	25	420	0.25	粘土粘土	30.1	> 120	> 120	> 120	
1.00	52.0	1.00	25	208	0.25	粘土粘土	15.9	> 120	> 120	> 120	
1.00	16.0	1.25	25	64	0.25	粘土粘土	6.2	68.4	68.4	68.4	
1.00	60.0	1.50	25	240	0.25	粘土粘土	18.0	> 120	> 120	> 120	
1.00	127.0	1.75	25	508	0.25	粘土粘土	36.0	> 120	> 120	> 120	
1.00	44.0	2.00	25	176	0.25	粘土粘土	13.7	> 120	> 120	> 120	
1.00	77.0	2.02	2	3850	0.25	粘土粘土	259.9	> 120	> 120	> 120	

使用計算式 換算：換算式 換算N値の計算式は、箱式を採用しております。
 3Wsw+0.05Nsw (粘土) 2Wsw+0.067Nsw (砂質土)
 許容支持力計算式：許容支持力の計算式は国土交通省 告示1113号を採用しております。
 qa=30+0.6Nsw Nswが150以上の場合は150とみなしてあります。

管理番号：22834250908

▽設計GL
500 410

スクリーウエイト貫入試験											
調査名	令和7年度 水道用資機材倉庫新築工事地質調査					調査番号	3				
調査場所	三重県志摩市磯部町恵利原地内					調査年月日	2025年09月08日				
孔口標高	KBM +0.27 m					最終貫入深さ	1.01 m				
孔内水位	無					天候	晴れ				
備考	GL-0.25mまで削孔した					試験者	中西 金森				
							試験方法	全自動式SWS			
層番号	平均	貫入深さ	貫入量	平均	層	地質	貫入量	平均	換算	許容	
Wsw	回転	D	L	回転	厚	種類・状態	Wsw	回転	係数	支持力	
(No)	(No)	(mm)	(cm)	(No)	(mm)		(No)	(No)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	
0.05	0.0	0.25	25	0	0	粘土粘土	0.1	0	0.1	0	
1.00	7.0	0.50	25	28	0.25	粘土粘土	3.8	46.8	46.8	46.8	
1.00	19.0	0.75	25	76	0.25	粘土粘土	7.0	75.4	75.4	75.4	
1.00	158.0	1.00	25	632	0.25	粘土粘土	44.3	> 120	> 120	> 120	
1.00	30.0	1.01	1	3000	0.25	粘土粘土	203.0	> 120	> 120	> 120	

使用計算式 換算：換算式 換算N値の計算式は、箱式を採用しております。
 3Wsw+0.05Nsw (粘土) 2Wsw+0.067Nsw (砂質土)
 許容支持力計算式：許容支持力の計算式は国土交通省 告示1113号を採用しております。
 qa=30+0.6Nsw Nswが150以上の場合は150とみなしてあります。

管理番号：22834250908

▽設計GL
500 270

スクリーウエイト貫入試験											
調査名	令和7年度 水道用資機材倉庫新築工事地質調査					調査番号	4				
調査場所	三重県志摩市磯部町恵利原地内					調査年月日	2025年09月08日				
孔口標高	KBM +0.12 m					最終貫入深さ	2.01 m				
孔内水位	無					天候	晴れ				
備考	GL-0.25mまで削孔した					試験者	中西 金森				
							試験方法	全自動式SWS			
層番号	平均	貫入深さ	貫入量	平均	層	地質	貫入量	平均	換算	許容	
Wsw	回転	D	L	回転	厚	種類・状態	Wsw	回転	係数	支持力	
(No)	(No)	(mm)	(cm)	(No)	(mm)		(No)	(No)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	
0.05	0.0	0.25	25	0	0	粘土粘土	0.1	0	0.1	0	
1.00	1.0	0.50	25	4	0.25	粘土粘土	3.2	32.4	32.4	32.4	
1.00	4.0	0.75	25	16	0.25	粘土粘土	3.0	36.0	36.0	36.0	
1.00	56.0	1.00	25	224	0.25	粘土粘土	17.0	> 120	> 120	> 120	
1.00	63.0	1.25	25	252	0.25	粘土粘土	18.8	> 120	> 120	> 120	
1.00	47.0	1.50	25	188	0.25	粘土粘土	14.5	> 120	> 120	> 120	
1.00	44.0	1.75	25	176	0.25	粘土粘土	13.7	> 120	> 120	> 120	
1.00	78.0	2.00	25	312	0.25	粘土粘土	22.8	> 120	> 120	> 120	
1.00	75.0	2.01	1	7500	0.25	粘土粘土	504.5	> 120	> 120	> 120	

使用計算式 換算：換算式 換算N値の計算式は、箱式を採用しております。
 3Wsw+0.05Nsw (粘土) 2Wsw+0.067Nsw (砂質土)
 許容支持力計算式：許容支持力の計算式は国土交通省 告示1113号を採用しております。
 qa=30+0.6Nsw Nswが150以上の場合は150とみなしてあります。

管理番号：22834250908

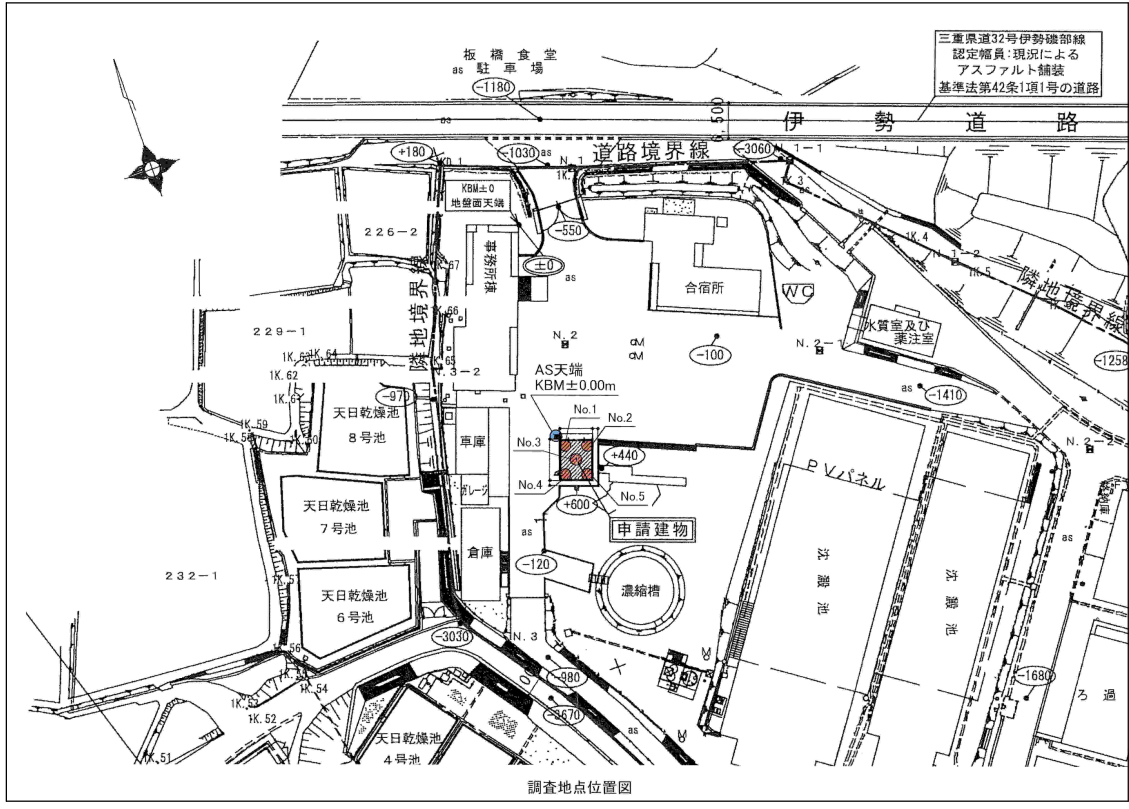
▽設計GL
500 120

スクリーウエイト貫入試験											
調査名	令和7年度 水道用資機材倉庫新築工事地質調査					調査番号	5				
調査場所	三重県志摩市磯部町恵利原地内					調査年月日	2025年09月08日				
孔口標高	KBM +0.36 m					最終貫入深さ	1.66 m				
孔内水位	無					天候	晴れ				
備考	GL-0.25mまで削孔した					試験者	中西 金森				
							試験方法	全自動式SWS			
層番号	平均	貫入深さ	貫入量	平均	層	地質	貫入量	平均	換算	許容	
Wsw	回転	D	L	回転	厚	種類・状態	Wsw	回転	係数	支持力	
(No)	(No)	(mm)	(cm)	(No)	(mm)		(No)	(No)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	
1.00	7.0	0.25	25	28	0.25	粘土粘土	4.4	46.8	46.8	46.8	
1.00	4.0	0.50	25	16	0.25	粘土粘土	2.2	22.4	22.4	22.4	
1.00	0.0	0.75	25	0	0.25	粘土粘土	0.0	0.0	0.0	0.0	
1.00	8.0	1.00	25	32	0.25	粘土粘土	4.1	49.2	49.2	49.2	
1.00	213.0	1.25	25	852	0.25	粘土粘土	59.0	> 120	> 120	> 120	
1.00	43.0	1.50	25	172	0.25	粘土粘土	13.5	> 120	> 120	> 120	
1.00	115.0	1.66	16	719	0.25	粘土粘土	50.1	> 120	> 120	> 120	

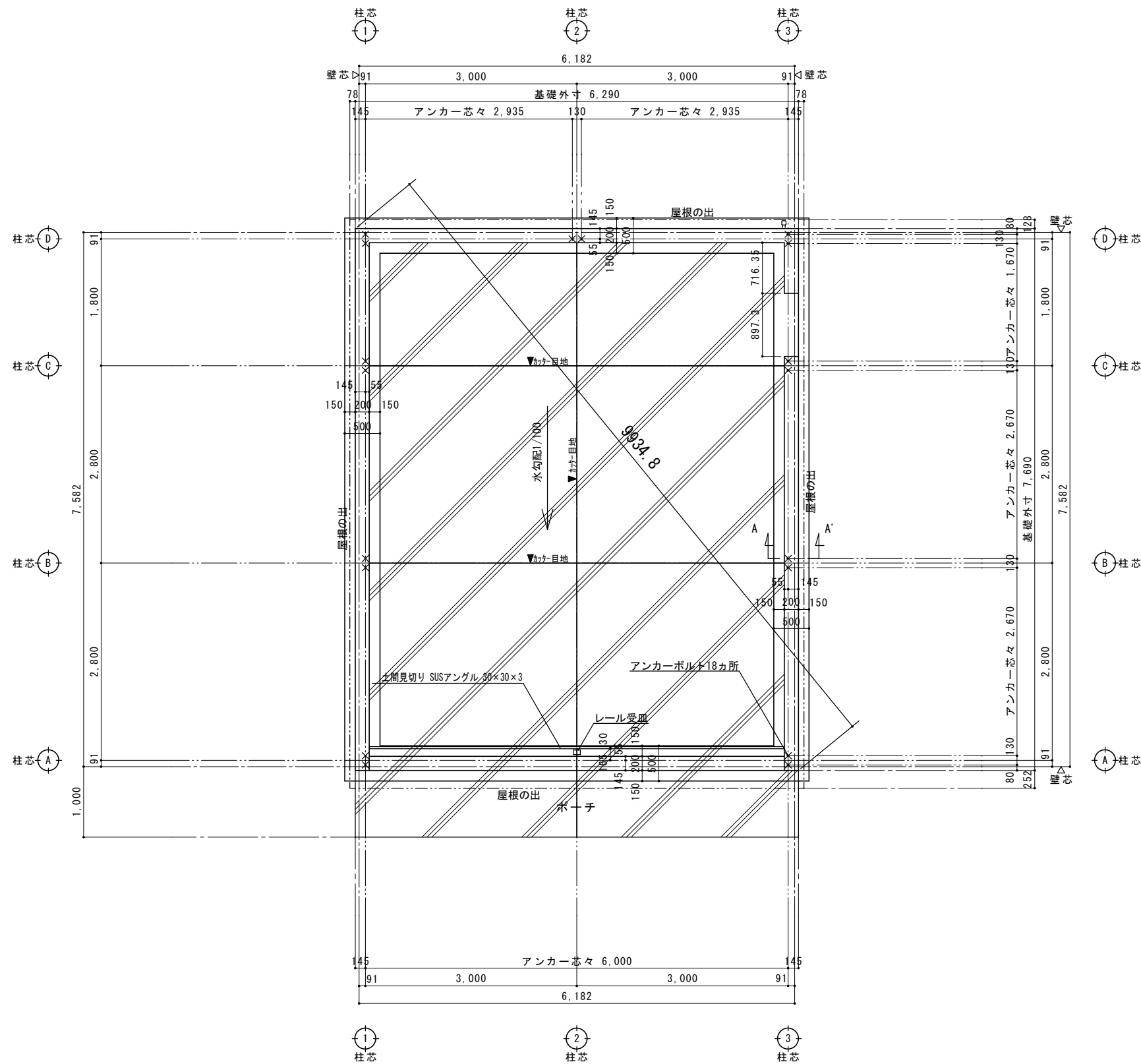
使用計算式 換算：換算式 換算N値の計算式は、箱式を採用しております。
 3Wsw+0.05Nsw (粘土) 2Wsw+0.067Nsw (砂質土)
 許容支持力計算式：許容支持力の計算式は国土交通省 告示1113号を採用しております。
 qa=30+0.6Nsw Nswが150以上の場合は150とみなしてあります。

管理番号：22834250908

▽設計GL
500 360



調査地点位置図



基礎伏図 S=1/50

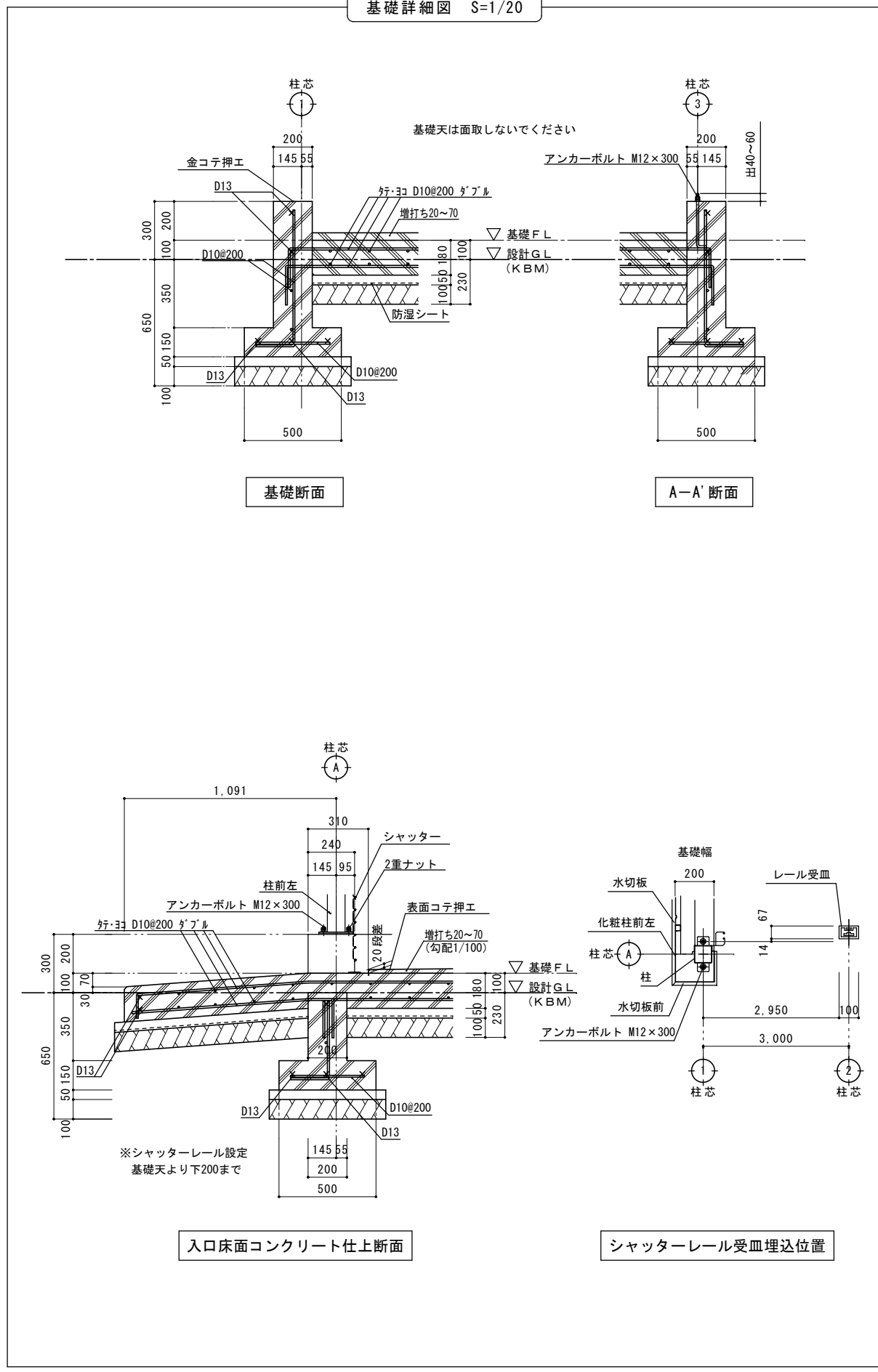
× アンカーボルト M12×300 の位置を示す
▼ カッター目地入れ(幅3mm 深さ10mm)を示す

※注 基礎施工前に、平板載荷試験(JGS1521)を2箇所行う事。
施工時には、地盤を十分に転圧する事。

使用材料	
基礎・土間コンクリート強度	FC21+S(構造体強度補正值)N/m ²
捨てコンクリート強度	FC18 N/m ²
鉄筋	SD295A
メーカー推奨地耐力	30~50KN/m ² 以上
※地質調査にて地耐力	50KN/m ² 以上を確認済

内部土間コンクリート	t=180
金ゴテ仕上げ	(FL=基本FL+20~70増打ち)
SD295A D10 @200	タテヨコ共 ダブル
ポーチ土間コンクリート	t=180
金ゴテハケ引き仕上げ	
SD295A D10 @200	タテヨコ共 ダブル

基礎詳細図 S=1/20



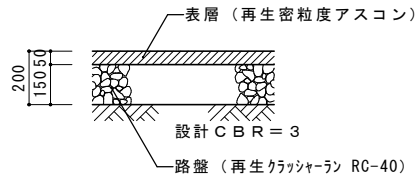
基礎断面

A-A'断面

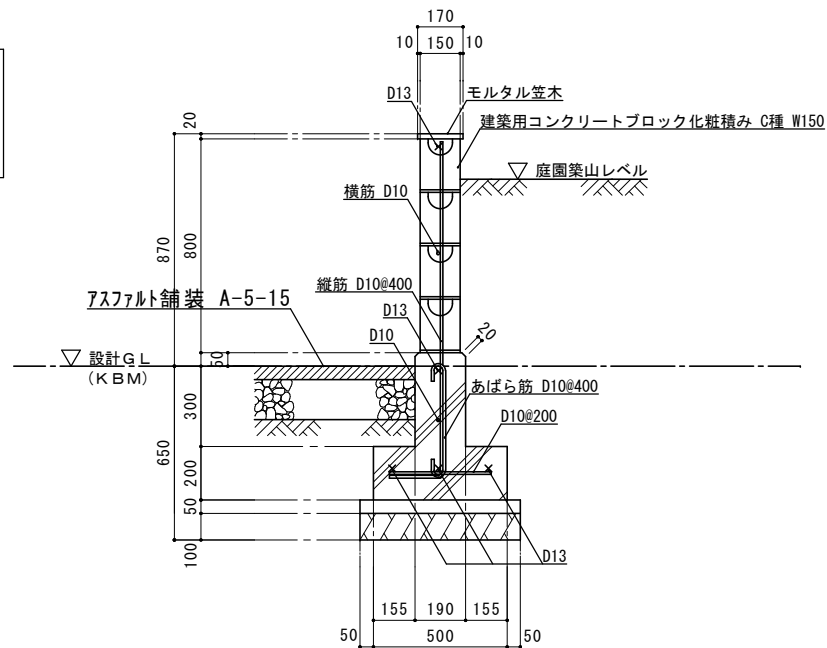
入口床面コンクリート仕上断面

シャッターレール受皿埋込位置

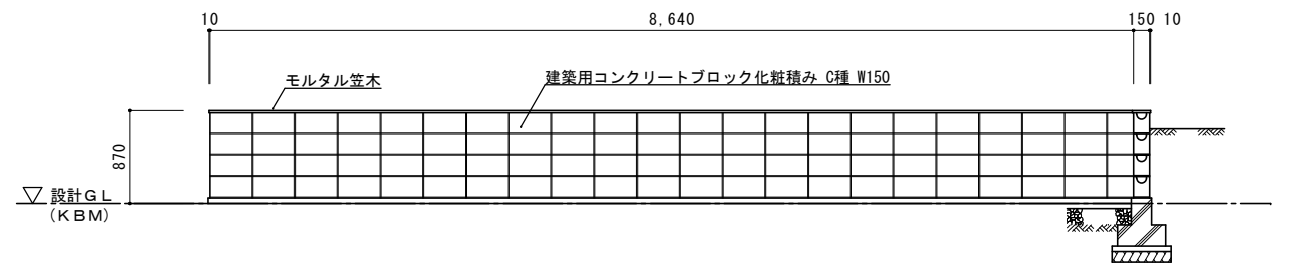
使用材料
 基礎・土間コンクリート強度 FC21+S(構造体強度補正值)N/m²
 捨てコンクリート強度 FC18 N/m²
 鉄筋 SD295A



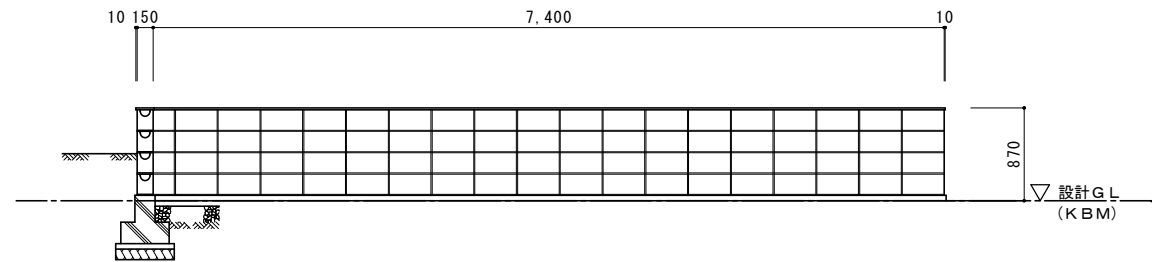
アスファルト舗装詳細図 S=1/20



断面詳細図 S=1/20

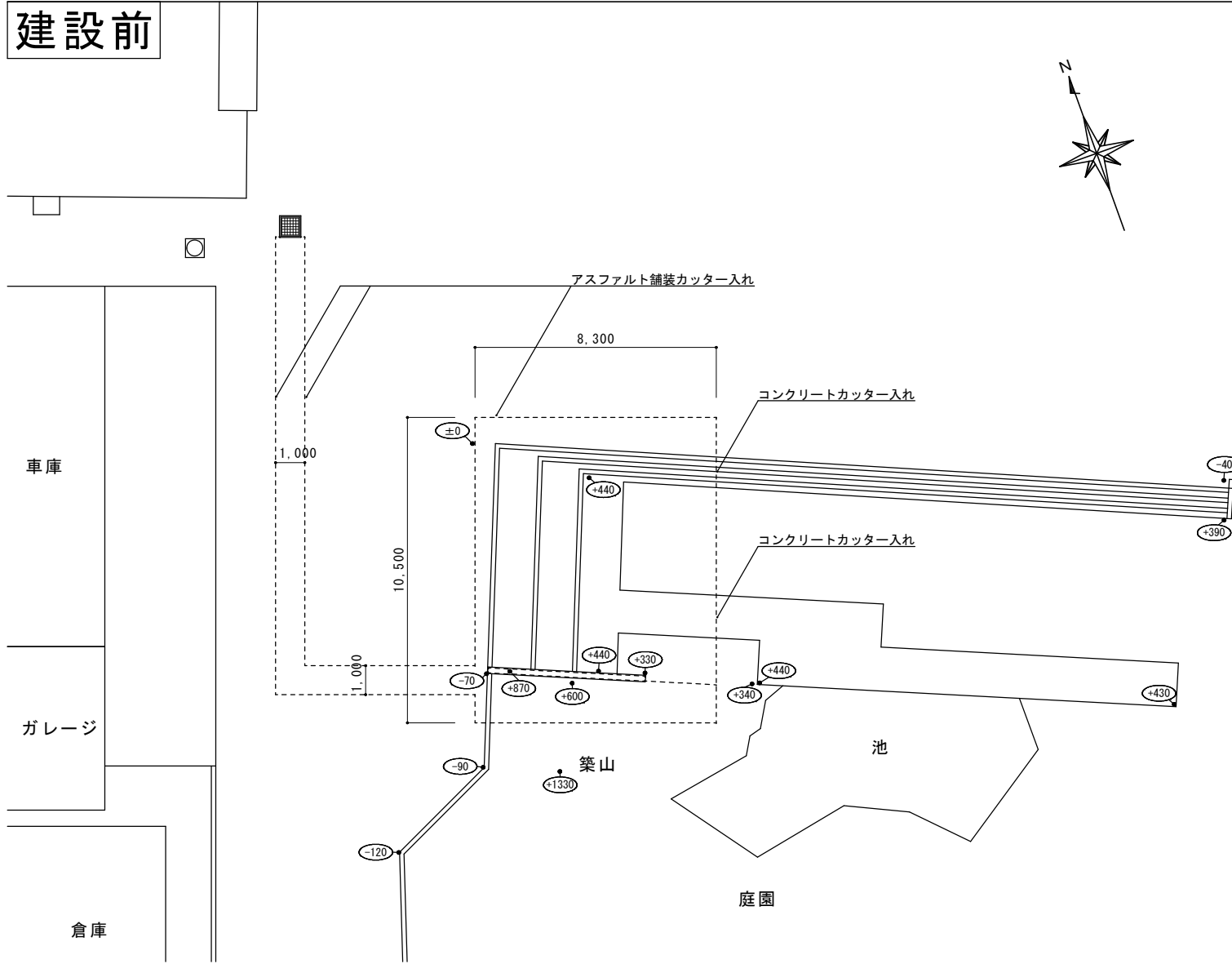


東立面図 S=1/50



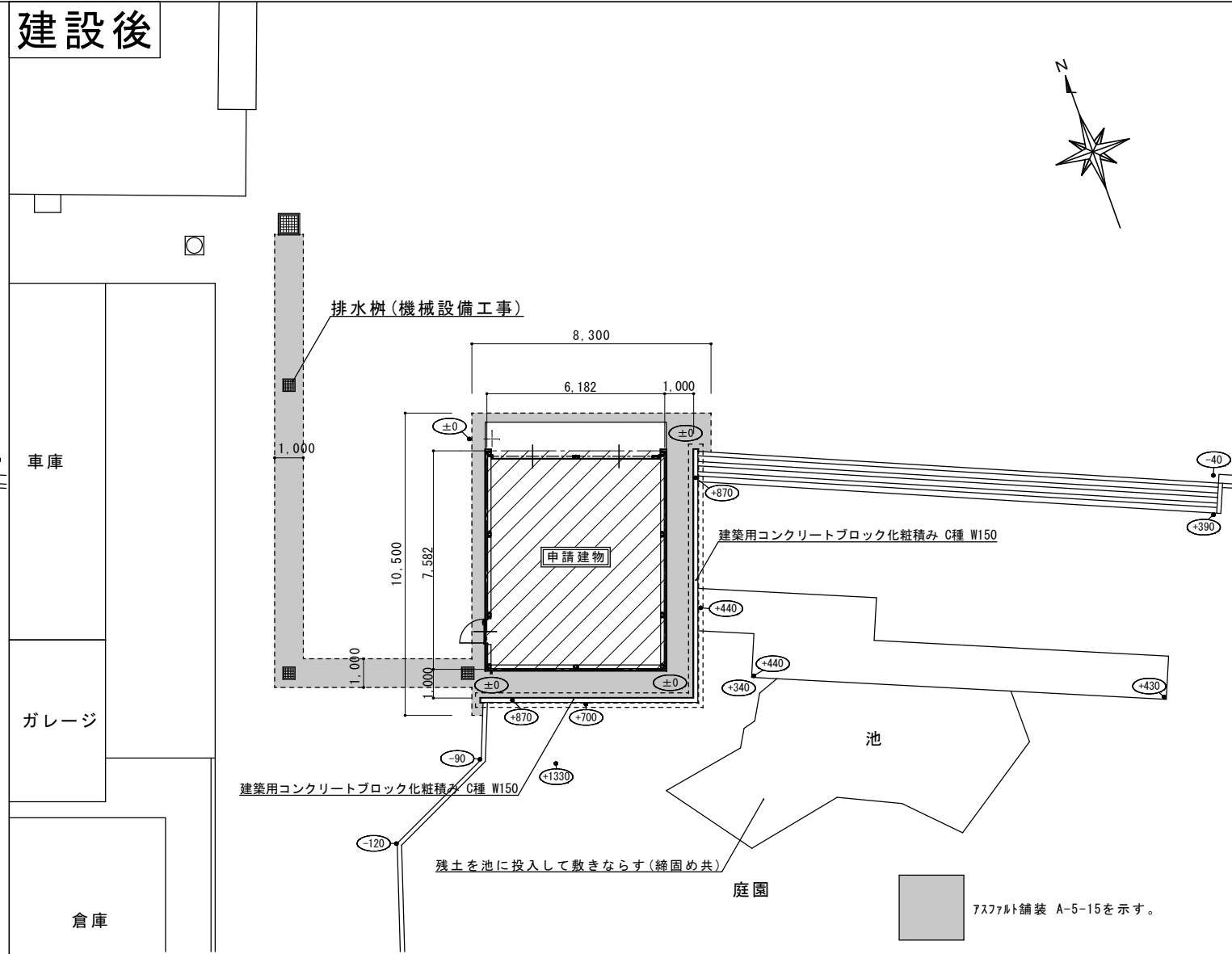
南立面図 S=1/50

建設前



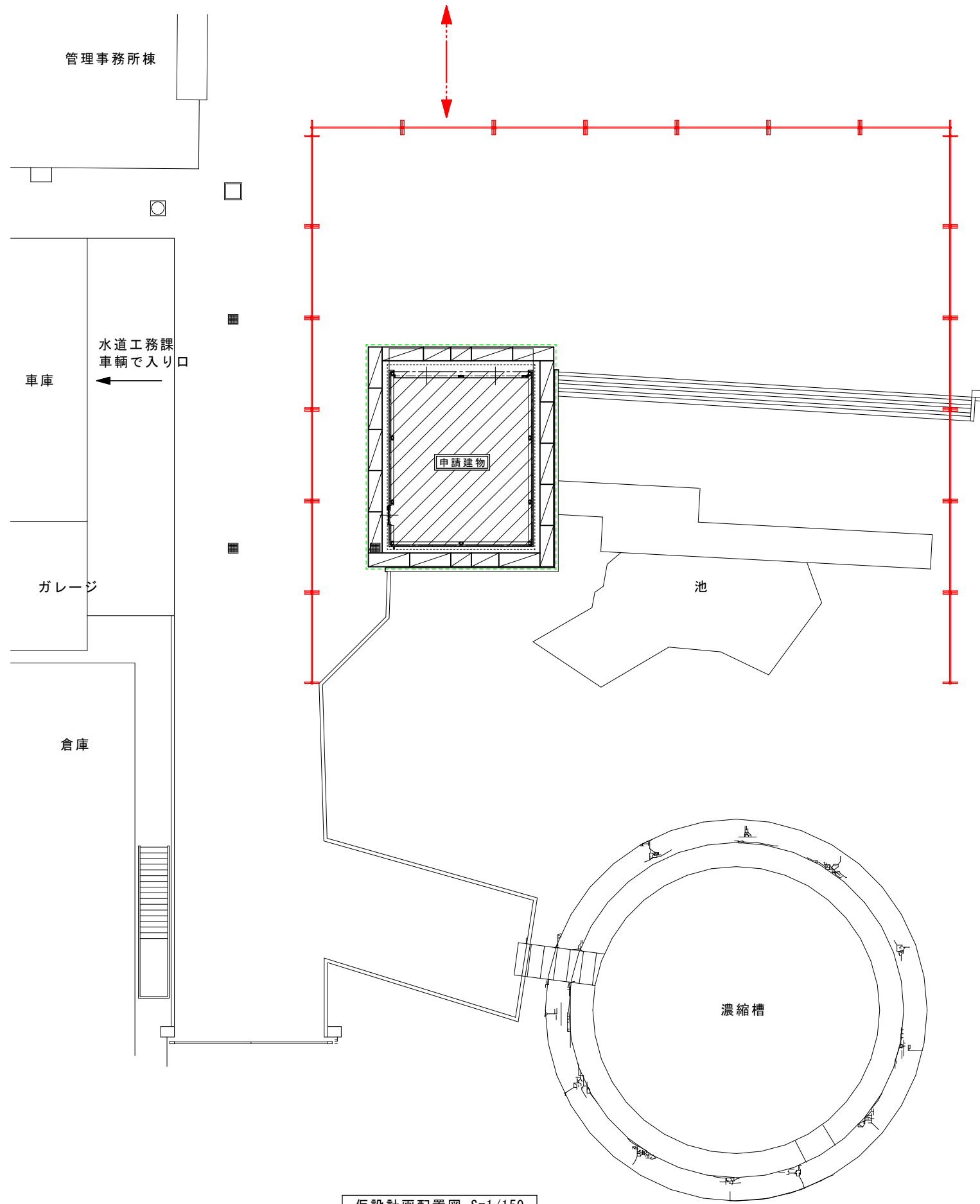
建設前 配置図 S=1/150

建設後



建設後 配置図 S=1/150

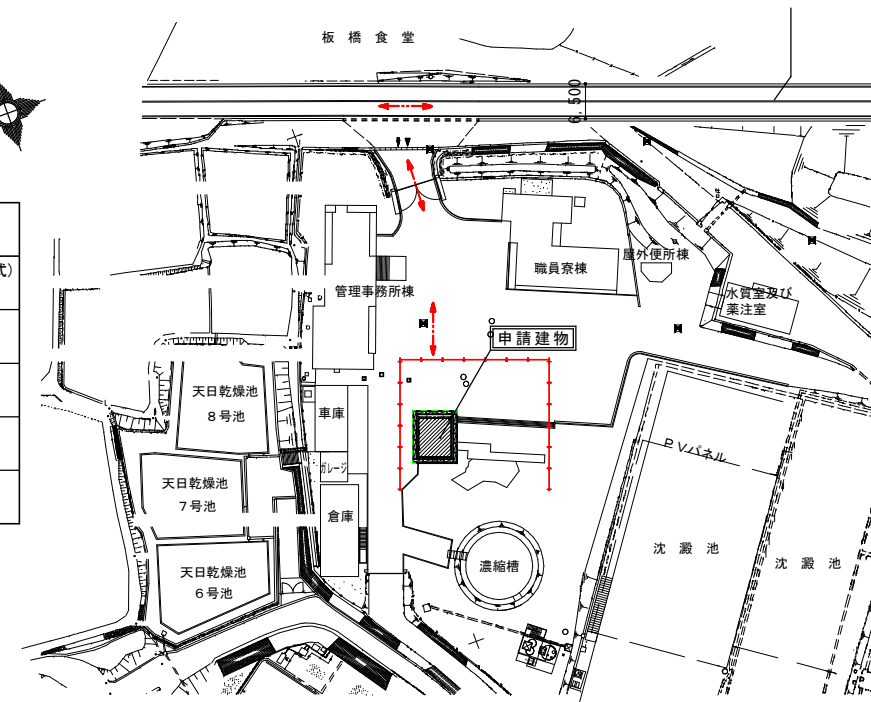
整理番号	工事名	図名	縮尺	設計者	図面No.
	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事	外構図	A2: S=1/20, 50 A2: S=1/150 A3: A2 × 70. 7%	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文 A-20



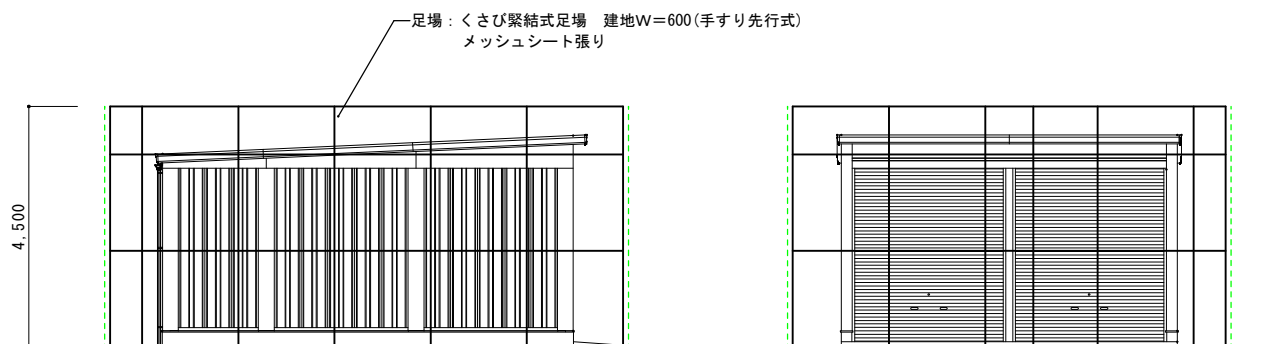
仮設計画配置図 S=1/150

凡 例	
	足場：くさび緊結式足場 建地W=600(手すり先行式)メッシュシート張り (直接仮設)
	仮囲：単管バリケード W=4.000 H=800
	工事車両搬出入経路
	工事車両進入口
	交通誘導員配置

※ 資材搬出入時に適時、交通誘導員を配置すること。
交通誘導員は工事車両を工事現場まで誘導すること。

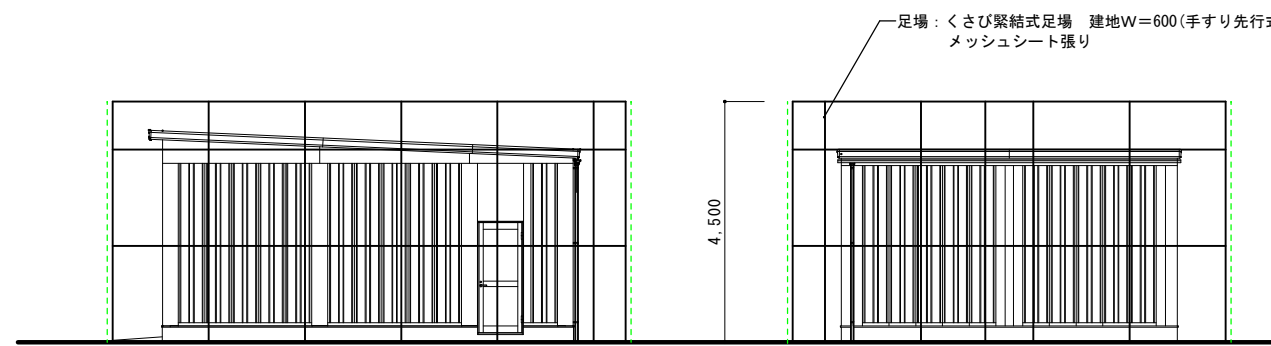


仮設計画配置図 S=1/1000



仮設計画 東立面図 S=1/100

仮設計画 北立面図 S=1/100



仮設計画 西立面図 S=1/100

仮設計画 南立面図 S=1/100

<p>電気設備工事特記仕様書</p> <p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事名称 <u>水道用資機材倉庫新築工事</u></p> <p>2. 工事場所 <u>三重県志摩市磯部町恵利原227-1、他9筆</u></p> <p>3. 建物概要 <u>水道用資機材倉庫 軽量鉄骨造 平屋建 延べ面積46.87㎡ 別表第一(15)項</u></p> <p>4. 工事種目 <u>用途区分は消防法施行令別表第一による表記</u> 下記において●印を付した工事を対象とする。 ●電力設備 ●変電設備 ●電力貯蔵設備 ●発電設備(ボ-ワ)発電機 ●通信・情報設備 ●中央監視制御設備 ●医療関係設備 ●構内配電線路 ●構内通信線路 ●その他</p> <p>II. 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。 ・三重県公共工事共通仕様書(令和6年7月制定版)(令和7年7月一部改定) ・三重県建設工事実務必携(令和7年4月1日版) ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」建築、電気、機械設備工事編(令和7年版) 「公共建築改修工事標準仕様書」(建築、電気、機械設備工事編(令和7年版)) 「公共建築設備工事標準図」(電気、機械設備工事編(令和7年版)) ・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) ・電気工事業の業務の適正化に関する法律 ・電気工事士法 ・労働安全衛生法 ・消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。) ・電力会社供給約款 ・その他関連法令、関連諸基準</p> <p>III. 一般共通事項</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。</p> <p>① 一般事項</p> <p>(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督職員と協議すること。 なお、設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講ずること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督職員の指示により手直し施工を行うこと。</p> <p>2. 技術検査 中間技術検査 実施回数(●)回 実施する段階(****)</p> <p>③ 火災保険等 三重県建設工事請負契約書第53条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加え、その加入証券等を提示しなければならない。 ① 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(支給材料を含む) ② 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 ③ 保険金額 原則として請負金額に相当する金額 ④ 被保険者 発注者、請負者及びその全体的下請負人</p> <p>④ 足場等 ・別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が設置したものは無償で使用できる。 ●本工事で設置する。 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。 ・ 単管足場 ● くさび緊結式足場 ● 枠組足場 ● 脚立、可撤式作業台 ● 移動式足場 ● 移動式昇降足場 ○ 高所作業車 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。</p> <p>⑤ 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。</p> <p>⑥ 電気工作物の種類 ●一般電気工作物 ● 自家用電気工作物</p> <p>⑦ 電気工事士 電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。</p> <p>⑧ 電気工事業の業務の適正化に関する法律 電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。</p> <p>9. 電気保安技術者 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。</p>	<p>なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。 ・受注者負担 ● 不要 ● その他()</p> <p>⑩ 品質計画 品質計画については、監督職員の承諾を受けること</p> <p>⑪ 測定機器の校正等 試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。 また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。</p> <p>⑫ 施工計画等 受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督職員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書(施工要領書) 各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図) 主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など</p> <p>⑬ 機材等 工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。 ① 使用機材届出書 ② 機器明細図 使用機材届出書に記載のもの他、監督職員の指示による。 ③ 各種計算書 設計図書による他、監督職員の指示による。 ④ 機材の品質・性能証明 設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料(「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」(一社)公共建築協会)による場合は評価書の写し)を監督職員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。 建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督職員との協議による。 (認定製品の品名:) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。 (認定製品の品名: 間伐材製工用バリケード・看板・標示板、)</p> <p>⑭ 工事写真 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和5年版))に従い、工事写真を撮影すること。 なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について(令和5年3月1日付け国営建技第14号)」による。</p> <p>⑮ 工事中等の保安監視 電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手前から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。</p> <p>⑯ 搬入計画 大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(厚、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督職員に提出する。</p> <p>⑰ 製品確認 製作者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督職員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督職員等が製品の確認をするものとする。</p> <p>⑱ 機材等の検査及び試験 検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督職員の指示による。</p> <p>⑲ 完成確認及び完成検査時等の電源確保 機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。</p> <p>⑳ 完成時の操作説明 総合監等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。</p> <p>(21) ~ (38) 建築包含時不要</p> <p>21. 施工条件 監督職員及び関係部局と協議調整し決定すること。 (1) 施工可能日 ・指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり 指定日(● 施設休業日 ● 打ち合わせ ● その他()) (2) 施工可能時間帯 ・指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり 指定時間(()時~()時 ● 打ち合わせ ● その他()) (3) 概成工期 ・適用する(工事期日より()日前) ● 適用しない (4) その他()</p> <p>22. 埋蔵文化財調査 埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ●試掘調査を実施する(発見された場合、発掘調査等の実施あり) ●発掘調査等の実施あり</p> <p>23. 部分引渡し等 部分引渡し等がある場合は協力すること。 ・部分引渡しあり ● 部分使用あり 該当部分() 時期()</p> <p>24. 事故の発生時 工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督職員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督職員が指示する期日までに、監督職員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督職員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p> <p>25. コプリス・プラスへの登録 請負金額100万円以上の工事について、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬入がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬入がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督職員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後は「再生資源利用実施書」(建設資材の搬入があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬入があった場合)をすみやかに作成し、監督職員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、J A C I C が運営する「コプリス・プラス」に登録のうえ、行うこと。</p> <p>26. 発生材の処理等 ・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準(建設設備工事は、新築、改修を問わず請負金額1億円)以上の工事である。 分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 分別解体等の方法 (1) 分別解体の方法 (2) 特別管理産業廃棄物 (3) 現場内において再利用を図るもの (4) 再資源化を図るもの (5) 水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの (6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。 また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督職員へ提出すること。 (7) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督職員に報告すること。</p> <p>27. 電子納品 (1) 工事写真 (2) 工事完成図書</p> <p>28. 官公署への手続き 工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を滞りなく行う。 なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。 ● 消防設備関係 ● 電気工作物関係 ● 受電関係 ● 通信関係 ● 建設工事関係 ● その他()</p> <p>29. 消防法関係の手続き (1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 (2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。</p> <p>30. 工用仮設物 構内への設置 ● できる(施設管理者と協議) ● できない</p> <p>31. 工用電力、水、その他 (1) 本工事に必要な工用電力、水等の費用は受注者の負担とする。 (2) 本工事で新規受電または既設受電に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。</p> <p>32. 不当介入を受けた場合の措置 暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p> <p>33. 主任技術者又は監理技術者 (1) 技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。 (2) 専任を要しない期間 1) 現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 2) 検査終了後の期間 工事完成後検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。</p>	<p>34. 工事の一時中止 工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン」(令和7年7月一部改定三重県土木整備部)による。 三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する基本計画書を発注者に提出し、協議すること。 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p> <p>35. 社会保険等未加入対策 (1) 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請業者としてはならない。 (2) 受注者は、施工体制台帳・再下請通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p> <p>36. 現場での安全確保(自主施工の原則) (1) 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 (2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督職員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。</p> <p>37. 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置 労働安全衛生法第30条第2項の規定が適用される場合、次の工事の受注者を指名する。 ・本工事 ● 別途工事(● 建築工事 ● 機械設備工事 ● その他工事)</p> <p>38. 猛暑への対策 ・本工事は工期に猛暑による作業不能日数を見込んでいる。 (1) 作業不能日数は、環境省が公表する観測地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第41号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したものを指す。 (2) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する観測地点等における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したものの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が(1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。 ・本工事は、夏休み等の夏季の一定期間に現場施工の一部が必要となるため、猛暑対策を充分講ずることにより、現場作業の安全に配慮し、工事を行うこと。</p>	<p>IV. 施工仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。</p> <p>① 既設設備等の調査 既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着手前に十分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設管路 1) 項目 ●埋設配管 ●構造物 ●その他() 2) 調査範囲 ●埋設ルート ●その他() (2) 貫通及びはつり 1) 項目 ●鉄筋 ●配管 ●その他() 2) 調査範囲 ●施工部分 ●その他() (3) 既設との取合い 1) 項目 ●接続箇所 ●増設箇所 ●その他() 2) 調査範囲 ●施工部分 ●その他()</p> <p>② 施工前の測定等 改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前にを行い、監督職員に報告すること。</p> <p>3. 耐震基準 耐震措置の計算及び施工方法は、次の基準を適用する。 (1)「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部) (2)「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版(一財)日本建築センター」</p> <p>④ 耐震施工 (1) 想定される地震に設備を対応させる。 (2) 耐震計算書を監督職員に提出する。 (3) 耐震計算書に使用する諸条件は、以下とする。 1) 耐震安全性の分類 構造体()類、建築非構造部材()類、建築設備()類 2) 機器等の地震力 機器名 設置階()、設計標準震度()、地域係数(1.0)</p> <p>⑤ はつり (1) 穴開け及び補修 ●なし ●あり(貫通場所及び口径は別図による) (2) 溝はつり及び補修 ●なし ●あり(はつり深さは別図による)</p> <p>⑥ あと施工アンカー 性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ●行わない</p> <p>7. 基礎の配線ビット 基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。</p> <p>⑧ 配管・配線の耐震処置 建物引込部の配管の耐震処置 ●行う ●行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ●行う ●行わない</p> <p>9. 最上階の埋込配管 最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。</p> <p>⑩ 露出配管 (1) 雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 附属品は、ねじ込み形を使用する。 (3) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金具又は保護カバーを使用する。 (4) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (5) 監督職員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。</p> <p>⑪ 合成樹脂管 (1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)</p>			
<p>整理番号</p>	<p>工事名</p> <p>令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事</p>	<p>図名</p> <p>電気設備工事特記仕様書 1</p>	<p>縮尺</p> <p>A3:A2 × 70.7%</p>	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号</p> <p>ナカムラ設計</p> <p>〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番</p>	<p>一級建築士 大臣登録第182032号</p> <p>中村 政文</p>	<p>図面No.</p> <p>E-01</p>

- ⑫ 予備配管等
 (1)埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は(PF22)を1本、5回路以上は(PF22)を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。
 (2)防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報盤等の間に移報のための空配管を行う。
- ⑬ 金属製電線管等の塗装
 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等は、設計図書に塗装指示のある箇所及び建築意匠上必要な箇所について塗装を施す。
- ⑭ 導入線
 通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。
- ⑮ 予備スリーブ
 梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。
- ⑯ 軽量間仕切のボックス
 軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。
- ⑰ プルボックス
 (1)屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。
 (2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。
- ⑱ ボルト・ナット類
 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの
 ●ステンレス ●溶融亜鉛メッキ仕上げ
- ⑲ 環境に配慮した電線類の採用
 電線、ケーブル及び通信線はEM(エコマテリアル)ケーブルを使用すること。
- ⑳ ケーブル及び配線
 (1)表示
 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。)を取り付ける。
 ① ケーブルがスラブを貫通する部分
 ② ケーブル分岐部分
 ③ 変電所内のケーブル引出し部分
 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分
 ⑤ 屋内の直線部分は、30mごと
 ⑥ プルボックス内
 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと
 ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分
 ⑨ マンホール及びハンドホールごと
 (2)ケーブル余長
 1)地中線路の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数
 ●2箇所 ●4箇所 ●()箇所
 2)架空線路の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数
 ●2箇所 ●4箇所 ●()箇所
 (3)耐候処置
 高圧引下げケーブルの屋外露出部には高圧絶縁テープを施す。
- ㉑ 配線器具の設置
 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。
 (2)電源の種類により色を区別する。
 (3)公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。
 (4)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。
 (5)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。
 (6)カバープレートは、原則として新金属製とする。
 なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。
 (7)フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。
- ㉒ 照明器具の設置
 (1)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。
 (2)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形AA級とする。
 (3)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。
 (4)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
- ㉓ 照明改修の際の測定
 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。
 測定箇所(*****) 測定回数 前後各(*)回
- ㉔ 分電盤、制御盤、キュービクル等
 (1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。
- ㉕ 受変電設備、発電設備の設置場所
 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。
 (2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。
 (3)屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。
 なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。
 (4)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。
 (5)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通させない。
 ●ポータブル発電機
- ㉖ 発電設備の燃料配管
 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。
 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。
27. 非常放送設備のスピーカ設置
 (1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。
 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。
 (3)増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。

28. 土工事
 (1)埋戻しの材料及び工法
 ・B種 (材料:根切り土の中の良質土 / 工法:機器による締固め)
 ・その他 ()
 ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。
 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。
 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。
 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。
 (5)建設発生土の処理
 ・構内敷ならし ・処分地指定 ()
 ・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 () km
29. ハンドホール、マンホール
 高さ900mmを超えるものには、タラップ付とする。
 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。
30. 地中配線路の表示杭
 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。
 ① 建物への引込口及び送出口付近
 ② マンホール・ハンドホール付近
 ③ 地中線路の曲折箇所
 ④ 道路横断箇所
 ⑤ 直線部分では30m程度に1個(30mに満たない部分はその間に1個)

V. 機器仕様
 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
 なお、詳細については図面による。

- 【電力設備】
- ① 電灯設備
 (1)既設等との取り合い ()
 (2)機器類 ()
- ② 一般照明器具
 ●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等
 ●分電盤、制御盤等 ●その他 ()
 1) 形式 ●公共型 ●一般型
 2) 灯具 ●LED灯 ●その他 ()
 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用
 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域
 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。
 1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ ●その他 ()
 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他 ()
 3) 制御方式 ●有線 ●無線通信
 1) 照明用ポール
 ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他 ()
 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。
 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 3) 灯具 ●LED灯 ●その他 ()
 4) 電源 ●商用電源(60Hz) ●200V ●100V ●その他 ()
 5) 制御 ●Eスイッチ ●タイマ ●その他(タンブラスイッチ)
 6) 接地 ●単独接地(●本工事 ●別途工事 ●既設利用) ●共有 ●その他 ()
 ●一般型 ●防水型
 ●ハイブリッド(●固定型 ●上下動型(アップ式を含む))
 ① 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
 ② 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。
 ③ 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
 ④ 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
 ⑤ 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
 ⑥ 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
- ③ コンセント等 ()
- ④ 分電盤、制御盤等 ()
- ⑤ 専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下)
- ⑥ 分電盤、制御盤等 ()
3. 雷保護設備
 (1)避雷針 ()
- 1) 受雷部 ●尖針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物
 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造体利用
 3) 接地極 ●接地極埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極
 4) 接地抵抗の測定
 ①測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法
 ②測定回数 ●3回 ●()回
 5) 接地極埋設を設置する。

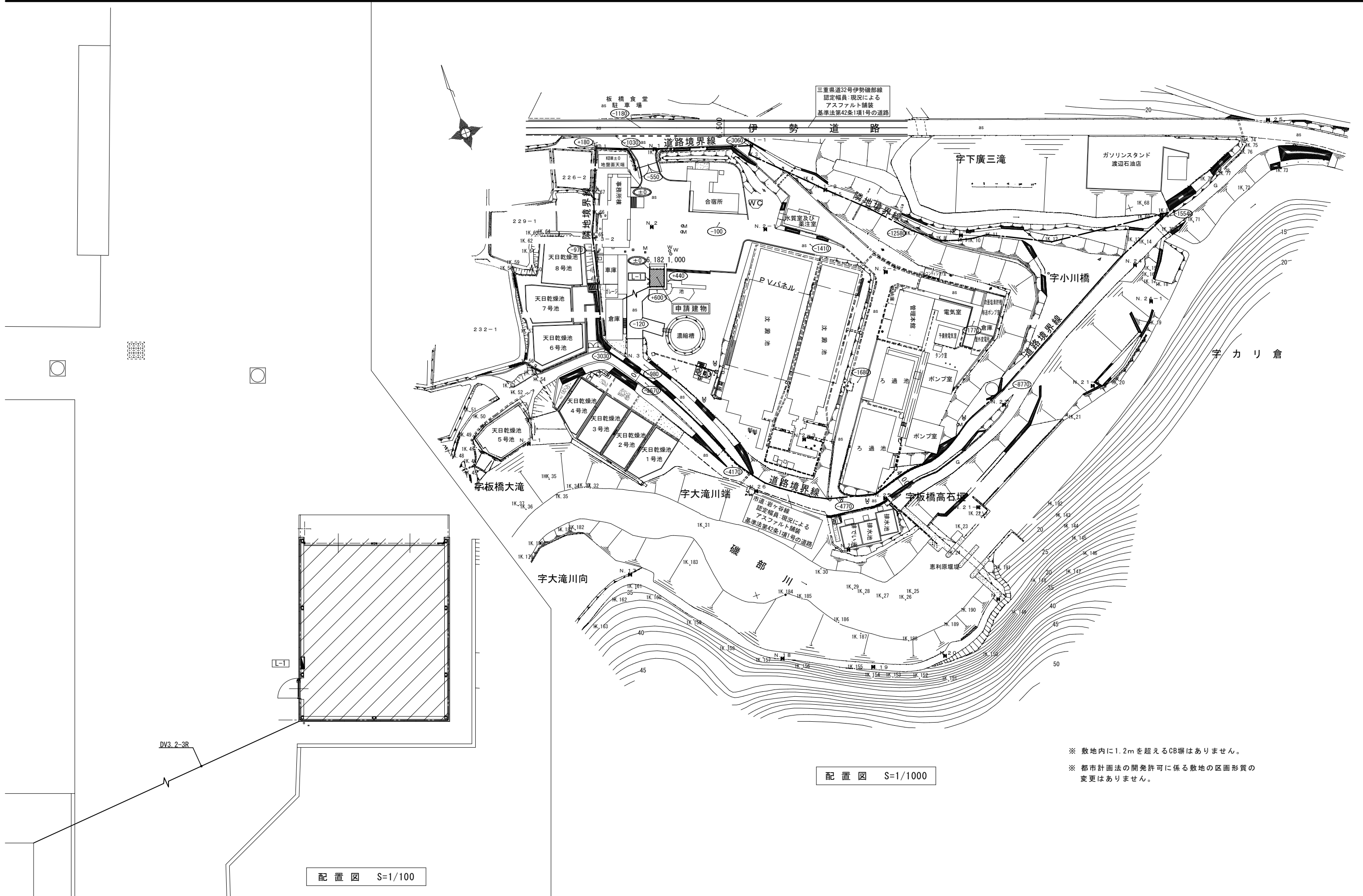
- (2)雷サージ保護 ()
- (3)電源回路保護 ()
- (4)通信回線保護 ()
- ④ 接地設備
 ① 接地工事 ()
- (2)接地抵抗測定 ()
- (3)接地極埋設標 ()
- 【受変電設備】
5. 受変電設備
 (1)既設との取り合い ()
 (2)機器類 ()
- (3)盤類 ()
- (4)交流遮断器 ()
- (5)断路器 ()
- (6)負荷開閉器 ()
- (7)変圧器 ()
- (8)進相コンデンサ ()
- (9)直列リアクトル(進相コンデンサ用) ()
- (10)キュービクル等 ()
- (11)基礎 ()
- (12)配線ピット及び蓋 ()
- (13)設置場所 ()
- 【電力貯蔵設備】
6. 直流電源設備
 (1)用途 ()
 (2)容量 ()
 (3)整流装置 ()
- (4)蓄電池 ()
7. 交流無停電電源設備
 (1)用途 ()
 (2)容量 ()
 (3)給電方式 ()
- (4)整流装置等 ()
- (5)蓄電池 ()
- (6)性能 ()
8. 電力準化用蓄電設備 ()
9. 分散電源エネルギーマネジメントシステム ()
- 1) 耐雷トランス ・設置(・単相用 ・動力用) ・設置しない
 2) SPD ・低圧用(・クラスI ・クラスII) ・通信用(・カテゴリC2 ・カテゴリD1)
 3) SPDの性能仕様は別図による。
 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。
 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kVA以上とする。
 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。
- 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ●D種
 2) 施工 ●各種単独 ・共有有り ()
 1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法
 2) 測定回数 ●3回 ●()回
 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。
- 高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。
 ・無し・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続
 ・その他 ()
 ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器
 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器
 ・その他 ()
 1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JISC4620)
 ・高圧スイッチギア(JISC62271-200)(・LSC1 ・LSC1-P1)
 ・開放形配電盤 ●その他 ()
 2) 中通路 ●有 ・無
 3) 特記事項 ()
 真直遮断器(VCB)
 ①操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作
 ②引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し
 1) 形式 ●3極単投 ・単極単投(避雷器用に限る)
 2) 操作方式 ●遠方手動操作 ●フック棒操作(避雷器用に限る)
 1) 形式 ●配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用
 2) 配電盤用
 ①操作方式 ●フック棒操作 ●遠方手動操作 ●電動操作
 ②限流ヒューズ ●有(ストライカ付き) ●無
 ③引外し装置 ●ストライカ引外し ●電圧引外し ●無
 ①本体及び制御箱の材質 ●ステンレス製 ●鋼製
 ②保護装置 過電流着勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
 ③避雷器 ●内蔵 ●無
 保護装置は、過電流着勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
 ●エスロンロープ ●ホリエチレンロープ ●ロープガイド
 1) 形式 ●油入 ●モールド
 2) 設置方式 ●屋外型 ●屋型
 3) ダイヤル温度計 ●有(・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ●無
 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする
 1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド ●ガス入
 2) その他
 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること
 ②放電装置を附属又は内蔵すること
 1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド
 2) 容量 ●6% ●13%
 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。
 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
 6) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
 7) 電流計は赤指針付(定格電流指針)とする。
- 1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ●アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ●その他 ()
 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ●()℃
 停電補償時間 ()
- ・仕様詳細は別図による。
- ・仕様詳細は別図による。

- 【発電設備】
10. 燃料式発電設備
 (1)用途 ()
- (2)設置場所 ()
- (3)機器 ()
- (4)発電装置 ()
- (5)燃料 ()
- (6)燃料槽 ()
- (7)給油ボックス ()
- (8)燃料移送ポンプ ()
- (9)基礎 ()
- ① その他 発電設備 ()
- 【通信・情報設備】
12. 構内情報通信網設備 ()
13. 構内交換設備
 (1)機器 ()
- (2)交換装置 ()
- (3)電話機 ()
- (4)端子盤類 ()
- (5)アウトレット ()
14. 情報表示設備
 (1)設備 ()
 (2)マルチ化装置 ()
 (3)出退表示装置 ()
 (4)時刻表示装置 ()
 (5)警報等表示装置 ()
- 1) 機器 ●表示盤 ●検出装置 ●その他 ()
 2) 表示盤 ①表示方式 ●表示窓式 ●その他 ()
 ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 3) 検出装置 ①検出方式 ●電極 ●無電圧接点 ●その他 ()
 ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。
15. 映像音響設備 ()
- 1) 用途 ●防災電源専用(防災認定品) ●防災電源兼用(防災認定品) ●一般用 ●常用 ●非常用
 2) 区分 ●屋内 ●屋外(・普通地域 ●塩害地域)
 (3)機器 ●発電装置 ●燃料槽 ●給油ボックス ●燃料移送ポンプ ●その他 ()
 (4)発電装置
 1) 種類 ●ディーゼル発電装置 ●ガスエンジン発電装置 ●ガスタービン発電装置 ●簡易形 ●オープン式 ●キュービクル式(・85dB(A)/1m ●75dB(A)/1m)
 2) 形式 ●キュービクル式(・10秒以内 ●40秒以内) ●()秒以内
 3) 始動時間(停電検出後) ●10秒以内 ●()秒以内
 4) 連続運転時間 ●2時間以上 ●10時間以上 ●24時間以上 ●7.2時間以上 ●その他 ()
 5) 発電機
 ①電気方式 ●三相3線式(・6.6kV ・200V ●()V) ●単相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V ・100V ●()V)
 ②定格周波数 60Hz
 ③定格出力 ()kVA
 6) 原動機
 ①定格出力 ●()kW以上 ●()ps以上
 ②冷却方式 ●ラジエータ方式 ●その他 ()
 1) 種類 ●軽油 ●灯油 ●A重油 ●その他 ()
 2) 引渡時燃料 ●満タン ●指定なし ●その他 ()
 1) 形式及び容量 ●パッケージ搭載タンク()リットル ●燃料小出槽()リットル ●主燃料槽()リットル ●屋外型(・ステンレス製 ●鋼製) ●屋内型(・ステンレス製 ●鋼製)
 2) 燃料小出槽
 ①設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設(・タンク室内埋設 ●直埋設) ●二重タンク ●一重タンク ●その他 ()
 ③設置工事 ●本工事 ●別途工事 ●その他 ()
 ④タンク室工事 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 1) 材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ●その他 ()
 2) 油量指示計 ●有 ●無
 1) 電動ポンプ ●歯車ポンプ ●油中ポンプ
 2) 手動ポンプ(ウイングポンプ) ●有 ●無
 3) 電動ポンプ水没防止カバー ●有 ●無
 ●本工事(・21N/mm2 ・18N/mm2) ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
- ・()の仕様詳細は別図による。
 ●ポータブル発電機用コンセント
- ・仕様詳細は別図による。
- ・交換装置 ●電話機 ●端子盤類 ●アウトレット ●その他 ()
 1) 種別 ●構内交換装置(・デジタルPBX ●IP-PBX ●VoIPサーバ) ●ボタン電話装置 ●その他 ()
 2) 局線応答方式 ●局線中継台 ●分散中継台 ●ダイヤルイン ●ダイレクトインダイヤル ●ダイレクトインライン ●その他 ()
 3) 保安用接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 4) 本配電盤(MDF) ●自立フルム(・片面形 ●両面形) ●交換機一体型 ●壁掛型 ●その他 ()
 5) 電源装置 ①形式 ●別置型 ●一体形 ●その他 ()
 ②停電補償時間 ●30分以上 ●()以上
 ●一般電話機 ●多機能電話機 ●IP電話機 ●デジタルロード以電話機(PHS方式) ●IPカード以電話機(無線LAN方式) ●その他 ()
 1) 端子盤 ●中継端子盤(IDF) ●室内端子盤
 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。
 ●ローテーションアウトレット(・固定型 ●上下動型(アップ式を含む)) ●壁コンセント ●その他 ()
 ●マルチ化装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●警報等表示装置
 仕様詳細は別図による。
 (3)出退表示装置 仕様詳細は別図による。
 (4)時刻表示装置 仕様詳細は別図による。
 (5)警報等表示装置
 1) 機器 ●表示盤 ●検出装置 ●その他 ()
 2) 表示盤 ①表示方式 ●表示窓式 ●その他 ()
 ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 3) 検出装置 ①検出方式 ●電極 ●無電圧接点 ●その他 ()
 ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。
- ・仕様詳細は別図による。

16. 拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機器 ・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他 () (2) 増幅器 ・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用 出力 () W
(3) 付属機器	<ul style="list-style-type: none"> 出カインピーダンス ・Lo形 ●Hi形 オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 録音再生装置 (・CD ・メモリアーディオ ・その他 ()) アナウンスレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ ・その他 ()) 有線マイクロホン 無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ()) スピーカ切替装置 ・その他の機器 () 卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他 () 非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) 専用 結線 ●1W ・3W () W インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()
17. 誘導支援設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 設備 ・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置 (2) 音声誘導装置 1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他 () 2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内 3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他 () 4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他 () 5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () 6) 送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () 7) 受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他 () (3) インターホン 1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他 () 2) 機能 ●音声通話 ・映像モニタ 3) 通話網 ●親子式 ・相対式 ・複合式 4) 通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 () 5) 機器 ・親機 ・子機 ・その他 () 6) 親機 ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 () 7) 子機 ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 () (4) トイレ等呼出装置 1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他 () 2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 () 3) 親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 () 4) 呼出スイッチ ●押ボタン式 ・引紐式 ・その他 () 5) 警報装置 ・光 ・音声 ●ブザー ・ベル ・その他 ()
18. テレビ共同受信設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 受信放送機器 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 () ・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他 () (3) アンテナ 1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他 () 2) マスト ・地上波用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・その他 () 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
19. 監視カメラ設備	・仕様詳細は別図による。
20. 駐車場管制設備	・仕様詳細は別図による。
21. 防犯・入退室管理設備	・仕様詳細は別図による。
22. 自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機器 ・受信機 ・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・光警報装置 ・その他 () (2) 受信機 1) 型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型 2) 回線数 () 回線 () アドレス 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 盤形式 ・複合盤組込 ・自立型 ・壁掛型 (3) 副受信機 (表示装置) 1) 盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 () アドレス 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 (4) 中継器 (5) 発信機 1) 型式 ・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。 3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 () (6) 感知器 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・熱感知器 ・空気管式 ・煙感知器 ・炎感知器 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 () (7) 光警報装置 1) 機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置 2) 警報装置 ・天井付 ・壁付 3) 同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式

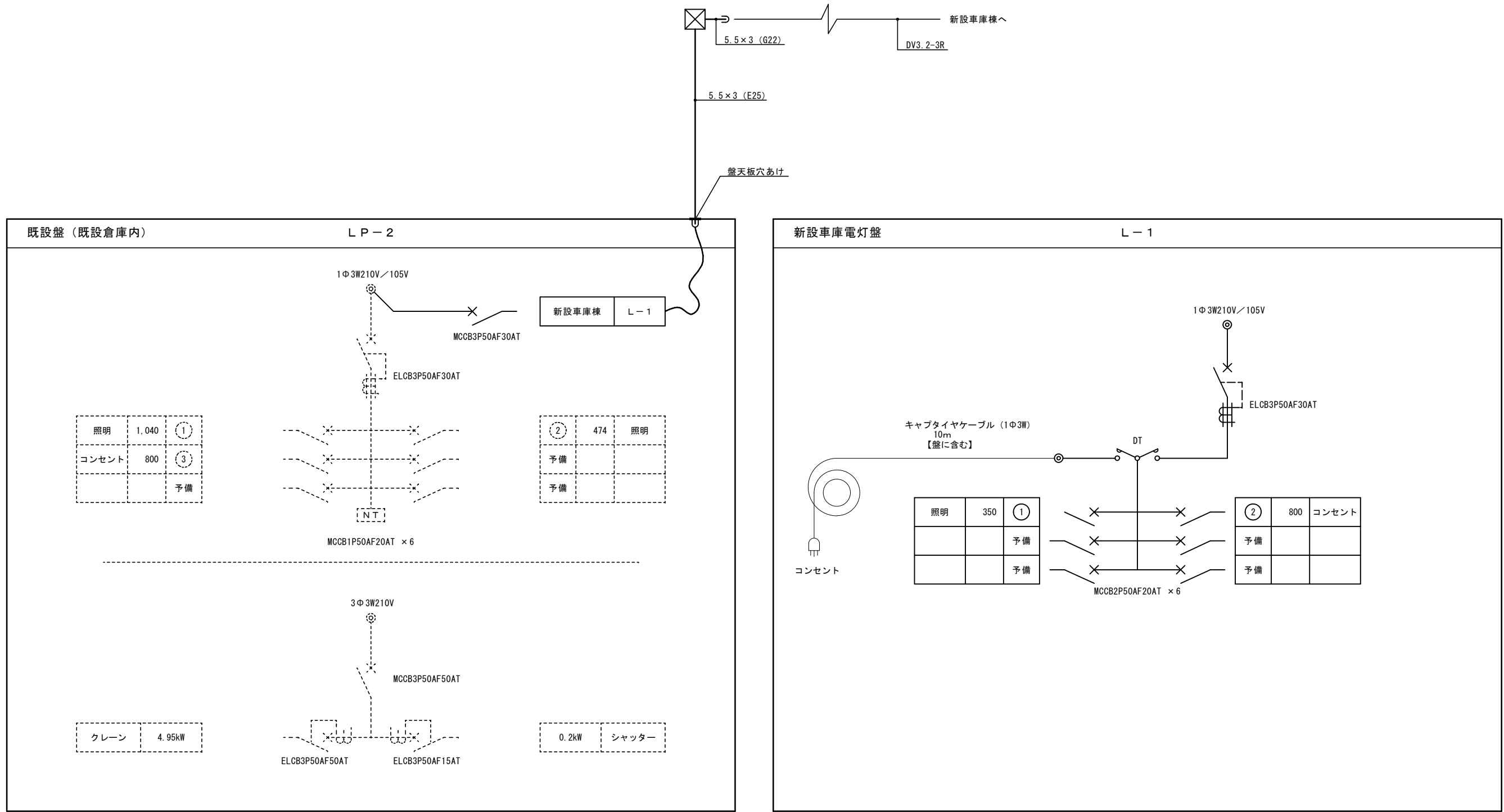
23. 自動閉鎖設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機器 ・連動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置 ・その他 () (2) 連動制御器 1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 (遠方復帰機構 () 回路) 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 (3) 感知器 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・煙感知器 (・2種 ・3種) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 () (4) 自動閉鎖装置 1) 方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 (5) 自動開錠装置 1) 方式 ・電気錠 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
24. 非常警報設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 設備 ・非常放送装置 ・非常ベル (2) 非常放送装置 1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他 () (3) 増幅器 ①出力 () W ②出カインピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他 () ④機能 ・マイク放送 ・連動放送 (・自火報設備 ・緊急地震速報設備) ・その他 () ⑤用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 4) スピーカ ①結線 ・1W ・3W () W ②インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 () ④用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 5) 非常用リモコンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 () 1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他 () 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()
25. ガス漏れ火災警報設備	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機器 ・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 (2) 受信機 1) 回線数 () 回線 2) 種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 () (3) 副受信機 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 () (4) 検知器 1) 動作 ・単独 (単独動作) ・連動 (受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V (受信機等から供給) ・その他 () 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式
【中央監視制御設備】	・仕様詳細は別紙による。
【医療関係設備】	・仕様詳細は別紙による。
【構内配電線路】	
① 配線方式	<ul style="list-style-type: none"> ・地中線式 (・直埋 ・管路) ●架空線式 (●直接 ・ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (●露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 () (2) 建柱 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード) ・有 ・無 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無 (3) 装柱機器 (高圧用) 1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。 (4) 装柱機器 (低圧用) 1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。 (5) ハンドホールマンホール 1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () (6) 鉄蓋 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP 2) 標示杭埋設 ・厚鋼線管 ・その他 () 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。 (7) 地中ケーブル保護材料 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP 2) 標示杭埋設 ・厚鋼線管 ・その他 () 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。

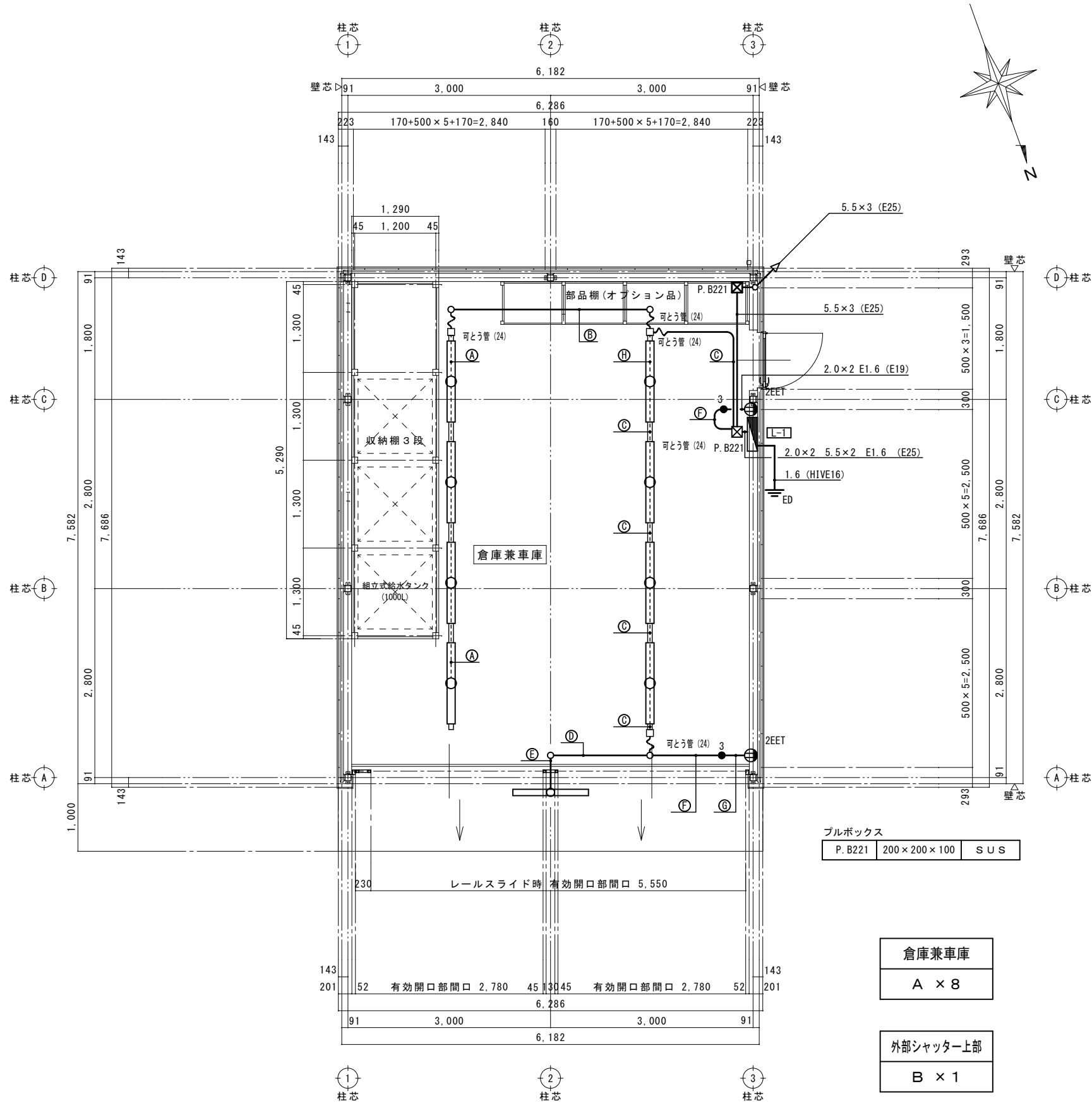
【構内通信線路】																																																																																																																													
27. 構内通信線路	<ul style="list-style-type: none"> (1) 用途 ・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他 () (2) 配線方式 ・地中線式 (・直埋 ●管路) ・架空線式 (・直接 ●ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (●露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 () (3) 建柱 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード) ・有 ・無 4) 装柱材料 ●有 ・無 5) 銘板 ●有 ・無 (4) ハンドホールマンホール 1) 形式 ●ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ●2箇所 ・4箇所 () 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200KN以上、衝撃係数 0.1 (走行速度制限箇所) ・無 (5) 鉄蓋 1) 種類 ●FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP 2) 標示杭埋設 ●コンクリート製 ●鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ●2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。 【その他】 28. 消火器 1) 設置 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事 2) 消火器 種類 () ・数量 () 本 3) 消火器収納箱 材質 () ・数量 () 面 																																																																																																																												
⑩ 使用資機材の製造者	<ul style="list-style-type: none"> (1) 以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿 (電気設備機材・機械設備機材) (一社) 公共建築協会 発行)」(以下「評価名簿」という)に記載されている製造者の製品を使用すること。 なお、納入地区に中部地区が含まれ、評価の有効期間内であるものとする。 ●LED照明器具 (一般屋内用に限る) ●照明制御装置 ●サーモ防護デバイス (SPD) ●可変速運転用インバータ装置 ●盤類 ●高圧機器 ●絶縁監視装置 ●蓄電池 ●交流無停電電源装置 ●太陽光発電装置 ●監視カメラ装置 ●中央監視制御装置 (2) 評価名簿に記載されていない製造者の製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同等の条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。 																																																																																																																												
⑪ 完成時の提出図書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>完成書類</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">完成図 (原図サイズ)</td> <td>竣工図 (製本)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>施工図 (製本)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成図 (A3版縮小二つ折り)</td> <td>竣工図 (製本)</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>施工図 (製本)</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>完成写真</td> <td></td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">保全に関する資料</td> <td>ファイル綴</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>制御システム図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>システム系統図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資機材一覧表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器完成図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取扱説明書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験結果報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工場試験成績書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種計量・検討書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予備品・付属品一覧表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器銘板の写し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検査済証</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保証書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンテナンス要領書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンテナンス参考業者一覧表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>官公庁手続き書類一覧表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>官公庁手続き書類の写し (表紙のみ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他監督員の指示するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">工事に関する書類</td> <td>ファイル綴</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>工事カルテ受領書の写し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工要領書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分下請負通知書及び下請負契約書の写し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工体制台帳及び施工体系図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事進捗状況報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種計画書及び報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型建設機械使用報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事打合簿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>段階確認書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事事故報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全管理関係書類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用機材届出書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事材料搬入報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器明細図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機材の品質及び性能証明書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測機器の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物処理集計表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場発生産品調査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再資源化等完了報告書 (特定建設資材廃棄物)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事写真 (サムネール及び代表写真)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他監督員の指示するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>官公庁手続き書類</td> <td>ファイル綴</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>官公庁手続き書類一覧表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>官公庁手続き書類 (本冊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子納品</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事目的物引渡書</td> <td></td> <td>3部</td> </tr> <tr> <td>引渡目録</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	完成書類	部数	完成図 (原図サイズ)	竣工図 (製本)	1部	施工図 (製本)	1部	完成図 (A3版縮小二つ折り)	竣工図 (製本)	2部	施工図 (製本)	2部	完成写真		1部	保全に関する資料	ファイル綴	1部	制御システム図		システム系統図		資機材一覧表		機器完成図		取扱説明書		試験結果報告書		工場試験成績書		各種計量・検討書		予備品・付属品一覧表		機器銘板の写し		検査済証		保証書		メンテナンス要領書		メンテナンス参考業者一覧表		官公庁手続き書類一覧表		官公庁手続き書類の写し (表紙のみ)		その他監督員の指示するもの		*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。		工事に関する書類	ファイル綴	1部	工事カルテ受領書の写し		施工計画書		施工要領書		部分下請負通知書及び下請負契約書の写し		施工体制台帳及び施工体系図		工事進捗状況報告書		各種計画書及び報告書		排出ガス対策型建設機械使用報告書		工事打合簿		段階確認書		工事事故報告書		安全管理関係書類		使用機材届出書		工事材料搬入報告書		機器明細図		機材の品質及び性能証明書		計測機器の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し		再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書		産業廃棄物処理集計表		現場発生産品調査		再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書		再資源化等完了報告書 (特定建設資材廃棄物)		工事写真 (サムネール及び代表写真)		その他監督員の指示するもの		*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。		官公庁手続き書類	ファイル綴	1部	官公庁手続き書類一覧表		官公庁手続き書類 (本冊)		電子納品			工事目的物引渡書		3部	引渡目録		
名 称	完成書類	部数																																																																																																																											
完成図 (原図サイズ)	竣工図 (製本)	1部																																																																																																																											
	施工図 (製本)	1部																																																																																																																											
完成図 (A3版縮小二つ折り)	竣工図 (製本)	2部																																																																																																																											
	施工図 (製本)	2部																																																																																																																											
完成写真		1部																																																																																																																											
保全に関する資料	ファイル綴	1部																																																																																																																											
	制御システム図																																																																																																																												
	システム系統図																																																																																																																												
	資機材一覧表																																																																																																																												
	機器完成図																																																																																																																												
	取扱説明書																																																																																																																												
	試験結果報告書																																																																																																																												
	工場試験成績書																																																																																																																												
	各種計量・検討書																																																																																																																												
	予備品・付属品一覧表																																																																																																																												
	機器銘板の写し																																																																																																																												
	検査済証																																																																																																																												
	保証書																																																																																																																												
	メンテナンス要領書																																																																																																																												
	メンテナンス参考業者一覧表																																																																																																																												
官公庁手続き書類一覧表																																																																																																																													
官公庁手続き書類の写し (表紙のみ)																																																																																																																													
その他監督員の指示するもの																																																																																																																													
*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。																																																																																																																													
工事に関する書類	ファイル綴	1部																																																																																																																											
	工事カルテ受領書の写し																																																																																																																												
	施工計画書																																																																																																																												
	施工要領書																																																																																																																												
	部分下請負通知書及び下請負契約書の写し																																																																																																																												
	施工体制台帳及び施工体系図																																																																																																																												
	工事進捗状況報告書																																																																																																																												
	各種計画書及び報告書																																																																																																																												
	排出ガス対策型建設機械使用報告書																																																																																																																												
	工事打合簿																																																																																																																												
	段階確認書																																																																																																																												
	工事事故報告書																																																																																																																												
	安全管理関係書類																																																																																																																												
	使用機材届出書																																																																																																																												
	工事材料搬入報告書																																																																																																																												
機器明細図																																																																																																																													
機材の品質及び性能証明書																																																																																																																													
計測機器の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し																																																																																																																													
再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書																																																																																																																													
産業廃棄物処理集計表																																																																																																																													
現場発生産品調査																																																																																																																													
再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書																																																																																																																													
再資源化等完了報告書 (特定建設資材廃棄物)																																																																																																																													
工事写真 (サムネール及び代表写真)																																																																																																																													
その他監督員の指示するもの																																																																																																																													
*各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。																																																																																																																													
官公庁手続き書類	ファイル綴	1部																																																																																																																											
官公庁手続き書類一覧表																																																																																																																													
官公庁手続き書類 (本冊)																																																																																																																													
電子納品																																																																																																																													
工事目的物引渡書		3部																																																																																																																											
引渡目録																																																																																																																													
注	<ul style="list-style-type: none"> ・完成図はCADにより作成すること。 ・完成図の作図範囲は設計図面と同程度とする。 ・改修工事等は既存の完成図を修正すること。 ・表紙 (可能な範囲で背表紙にも) に「年度、工事名、工期、竣工図 (又は施工図)、受注者名」を印字 (シール不可) すること。 ・保全に関する資料は、国土交通省「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き (本編)」及び「同 (防災編)」を参照すること。 ・上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。 ・その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。 ・資料は原則チューブファイルに綴じること。 ・原則として、完成写真はデジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷 (A4版用紙に1ページあたり3枚) のうえ、表紙と共に提出すること。撮影箇所は、主要機器類、その他必要な箇所とし、詳細は監督員と協議すること。 ・完成書類の著作権 (著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む) は発注者に移譲する。 ・作成しがたい場合は、監督員との協議による。 																																																																																																																												



※ 敷地内に1.2mを超えるCB塀はありません。
 ※ 都市計画法の開発許可に係る敷地の区画形質の変更はありません。

整理番号	工事名	図名	縮尺	設計者	図面No.
	令和8年度 水道用資機材倉庫新築工事	電気設備配置図	A2:S=1/1000 A2:S=1/100 A3:A2×70.7%	ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話(0599)43-0216番	E-04
				中村 政文	





- 注記
1. 照明器具 LDS2-LSS1-4-65
 2. 照明器具 LBF3MP/RP-4-20
 3. ●³: タンブラスイッチ 3W15A×1
 4. ⊖^{2EET}: コンセント 2P15A (E極) ×2
 5. 〰️: 二種金属製可とう電線管 ビニル被覆無
 6. ⊠: プルボックス SUS製
 7. ○: 丸形露出ボックス

符号	種類	摘要
P. B221	200×200×100	SUS製

符号	種類	摘要
A	1.6×2	2種金属線び MM2 40×45
	E1.6	
B	1.6×2	(E19)
	E1.6	
C	2.0×2	(E25)
	1.6×4	
D	1.6×2	(E19)
	E1.6	
E	1.6×2	(G16)
	E1.6	
F	2.0×2	(E25)
	1.6×3	
G	2.0×2	(E19)
	E1.6	
H	2.0×2	2種金属線び MM2 40×45
	1.6×3	
	E1.6	

プルボックス

P. B221	200×200×100	SUS
---------	-------------	-----

倉庫兼車庫

A × 8

外部シャッター上部

B × 1

平面詳細図 S=1/50

A	iDシリーズ直付型40形 iスタイル (参考品番)
<p>ひとセンサ付、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p style="text-align: center;">LDS2-LSS1-4-65</p>	
B	一体形ベースライト防湿型ウォールライト
<p style="text-align: center;">LBF3MP/RP-4-20</p>	

■ 屋外埋設排水	<ul style="list-style-type: none"> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (1種水路用遠心力鉄筋コンクリート管)
□ 消火管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管は、取出し位置の地面又はSL、FL面より100立ち上げた所までとする。
□ 冷水水管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) 水道用耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般：SGP-HVA)
□ 冷却水管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 (一般：SGP-VA、VB) フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般：SGP-FVA、FVB)
□ ドレン管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (白) JIS G 3452 (SGP-白) 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 鋼及び鋼合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。
□ 油管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452 溶接接合
□ 蒸気管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452 < (注) 液管 (選) 65A以上・溶接、50A以下・ねじ>
□ プライン管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼管 (黒) JIS G 3452

※ 弁類 排水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Kとし、それ以外は5Kとする。
塩化ビニリング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	— —	2m以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	— —	1m以下 2m以下

※ 横走り管形鋼板止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	—	50A~100A	125A~
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊り場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼板止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

- (2) ダクト工事
矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
□ アングルフランジ工法
□ 共振フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト □ スパイラルダクト
□ 硬質ポリ塩化ビニル管 (多湿箇所) JIS K 6741

- (3) 保温塗装工事
1) 材料

□ グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K
□ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 消火管 (露出部)	
□ 蒸気管 (往) □ 蒸気管 (還) □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 (屋外等)	
□ 給湯管 □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □	

- | | |
|---|---------------------------|
| □ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等) | 保温板 JIS A 9504 1号又は2号 |
| □ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 消火管 | 保温帯、フランクネット JIS A 9504 1号 |

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| □ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等) | 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号 |
| □ 給水管 □ 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷水管 (2~4℃) | |
| □ プライン管 □ | |
| □ 給水管 □ 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 消火管 □ プライン管 □ | |

- | | |
|--|----------------------------|
| □ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 (露出) | JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 |
| □ 給水管 □ 排水管 □ 通気管 □ ドレン管 □ ガス管 □ 消火管 □ 油管 □ 冷却水管 □ ダクト (亜鉛鉄板製) □ ダクト (鋼板製) □ | |

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| □ さび止めペイント塗り塗料 | JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 |
| □ 蒸気管 (往) □ ダクト (鋼板製) □ | |

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| □ アルミニウムペイント塗り塗料 | JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗り・錆止めペイント |
| □ 蒸気管 (還) □ | |

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール	20	25	30	40	50
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯・膨張・温水・消火管	~80A	100~150A	-	200A~	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

ポリスチレンフォーム	20	25	30	40	50	65
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	~25A	32~80A	100A~	-

機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	50mm	75mm
ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部 (ロックウール)			
ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類			
冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッド、排気筒隠蔽部 (ロックウール)			

3) 種別
給排水衛生設備管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8寸5/8以上
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス仕上
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&8寸5/8以上
屋外露出	保温筒	鉄線	SUS鋼板仕上	

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻替に読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の保温は消防打ち合わせにより決定すること。

空調設備管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	SUS鋼板仕上		

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
温水・膨張・還水貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラ一亜鉛鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ熱交換器	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラ一亜鉛鉄板 (屋内)

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラ一亜鉛鉄板
	機械室	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D・S内	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラ一亜鉛鉄板
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
消音チャンパー、エルボ	屋内露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	フランケット	鉄線	カラ一亜鉛鉄板		

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目径16線径0.55の金網又はRWASO2による防錆処理を施した平ラテで外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目径10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数	備考
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1 下塗り 1 中塗り 1 上塗り	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2 1 1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

- 4) 施工
ダクト保温施工手順
1. SA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. FA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ((例) 外壁面から1m程度)
チャネル内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

- (4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 地中家以外の埋込みスリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする。
4. 柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製板枠としてもよい。
紙製板枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に仮枠を必ず取除くものとする。

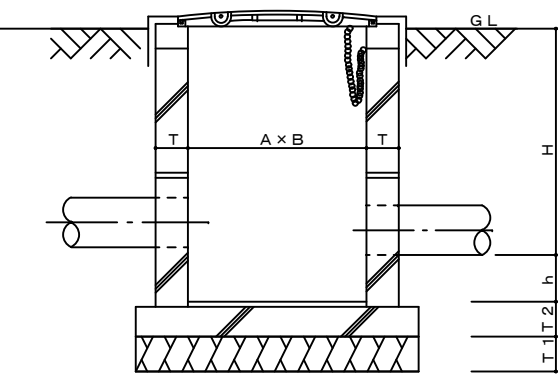
- (10) 共通事項
1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P・S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支持金物には、乾燥処理を行うこと。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し、施工すること。
7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、工事監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する方法にて防火処理を行うこと。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をとせる。
・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護すること。
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用する。
14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には剪断の取り付けを行うこと。
17) 送風機用ベルトガードには裏カバー及び点検口を設けること。

(11) 指定資材

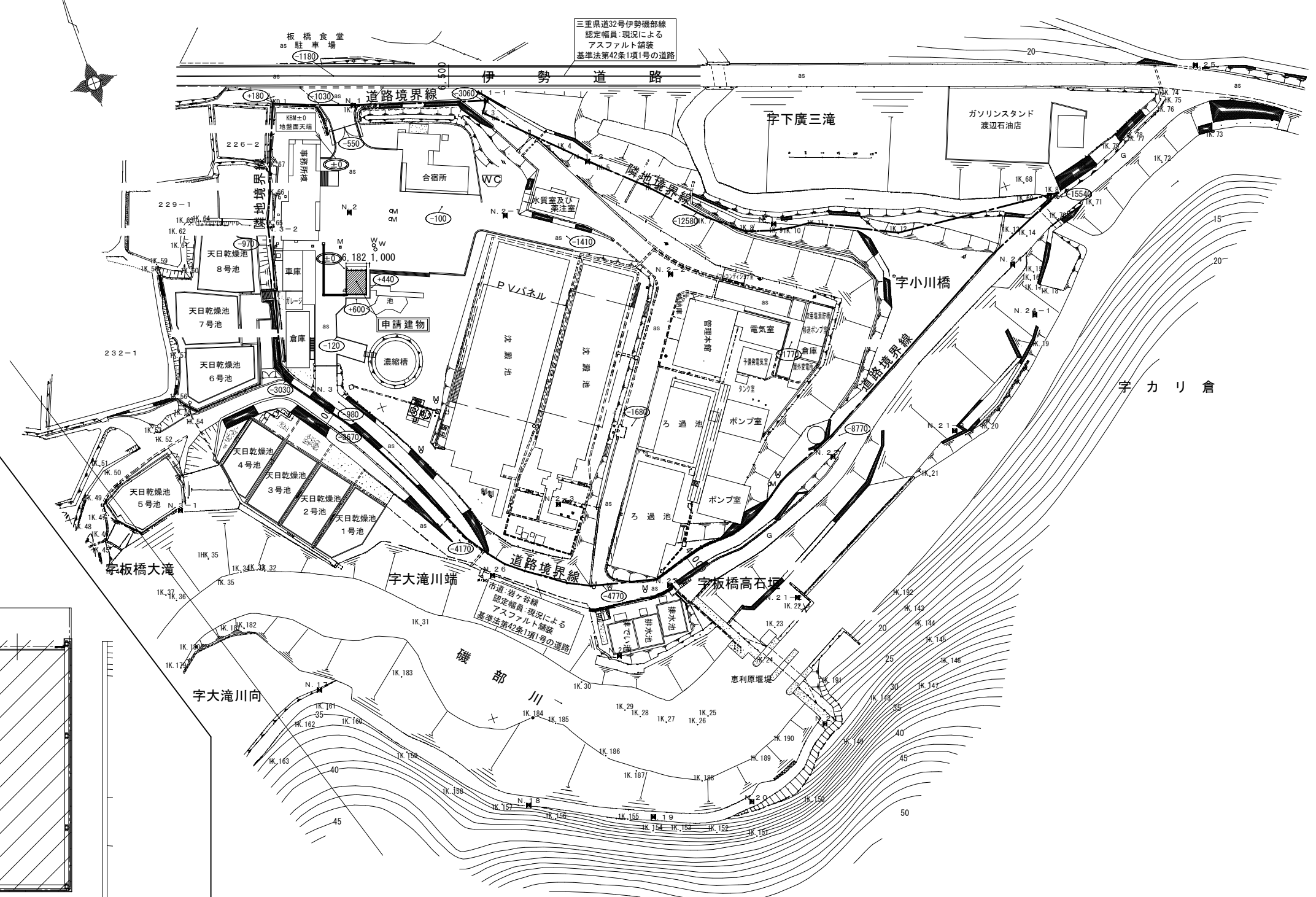
分類	資材名	規格等	
管	塩化ビニリング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品	
	配管用炭素鋼管	JISマーク表示品	
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品	
鋼管	冷媒用	JISマーク表示品 JCDA規格品	
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
継手	耐火二層管	国土交通大臣認定品	
	ポリエチレン管	JISマーク表示品 日本ポリエチレンハイブリッドシステム協会規格品 「水」マーク表示品 建築設備用ポリエチレンハイブリッドシステム研究会規格品	
	ライニング鋼管継手	管端防食 JPF規格品 「水」マーク表示品	
	フランジ	WSP規格品	
鋼管継手	外管含む	JISマーク表示品 JPF規格品 WSP規格品	
	ビル管継手	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	鋼管継手	JISマーク表示品 JCDA規格品	
ステンレス鋼管継手	保温継手	JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品	
	耐火二層管継手	国土交通大臣認定品	
	伸縮管継手 (ベローズ形、スリーブ形)	JISマーク表示品 (ベローズ型) SHASE-S表示品 (スリーブ型)	
弁	青銅弁・鉄鉄弁	JISマーク表示品	
	その他弁類	注記④による	
保温材	グラスウール保温材	JISマーク表示品	
	ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材		
ポンプ類	横形送風機 (送風機、ボイラー給水用、排水用)	設備機材等評価名簿による。	
	水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 立形送風機 (ボイラー給水用、排水用)		
電動機	電動機	注記④による	
	衛生陶器・水栓	JISマーク表示品	
衛生器具	衛生器具ユニット	設備機材等評価名簿による。	
	タンク	FRP製バルブタンク FRP製隔膜式膨張槽 (空調用・給湯用) FRP製鋼板製バルブ (溶接組立形) FRP製鋼板製バルブ (非組立形)	設備機材等評価名簿による。
例	斜屋	公団型 塩ビ板	注記④による
	排水金物	排水金物 斜屋製ふた マンホールふた 弁類ふた	注記④による 規格対象品又は準拠品 JCW規格品
量水器	量水器	注記④による	
	ガス器具	ガス配管器具 ガス給湯器	注記④による 都市ガス 液化石油ガス
ガス警報	ガス警報システム	注記④による	
	厨房機器	厨房システム	設備機材等評価名簿による。

透過装置		注記④による
滅菌機		注記④による
消火装置	消火栓類	注記④による
浄化槽	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム	設備機材等評価名簿による。
簡易水洗	合併浄化槽	RC造 FRP
	クリーントイレ	国土交通大臣型式認定品
フロア		注記④による
阻集器	グリス・ガソリントラップ	注記④による
特殊ガス	特殊ガス設備	注記④による
計測機器		注記④による
化学実験装置		注記④による
製缶類	製缶類・熱交換	注記④による
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鉄製)	設備機材等評価名簿による。
	無圧式温水発生機 (鋼製・鉄製)	
電気温水器		注記④による
ボイラー	鋼製簡易ボイラー及び簡易貫流ボイラー 鉄製ボイラー及び鉄製簡易ボイラー 鋼製小型ボイラー及び小型貫流ボイラー 鋼製ボイラー	設備機材等評価名簿による。
	冷凍機	チリングユニット及び 空気熱温ヒートポンプユニット 吸収冷凍水機 吸収冷凍水機ユニット 速心冷凍機
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及び カセット形ファンコイルユニット コンパクト形空気調和機 パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスタンク型空気調和機	設備機材等評価名簿による。
	冷却塔	冷却塔
防振装置	防振材・防振装置	注記④による
加湿器		注記④による
送風機類	遠心送風機 (多翼形送風機)	設備機材等評価名簿による。
	斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機	
換気扇	換気扇類	注記④による
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形)	設備機材等評価名簿による。
	全熱交換ユニット 空気清浄装置 電気集じん器 (自動巻取形、バ形)	設備機材等評価名簿による。
ダクト附属品	吹出口・吸込口 風量ユニット (定風量、変風量)	設備機材等評価名簿による。
ダクト	亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 スパイラルダクト	JIS規格品 JIS規格品 注記④による
フレキダクト		注記④による
自動制御	自動制御システム	設備機材等評価名簿による。

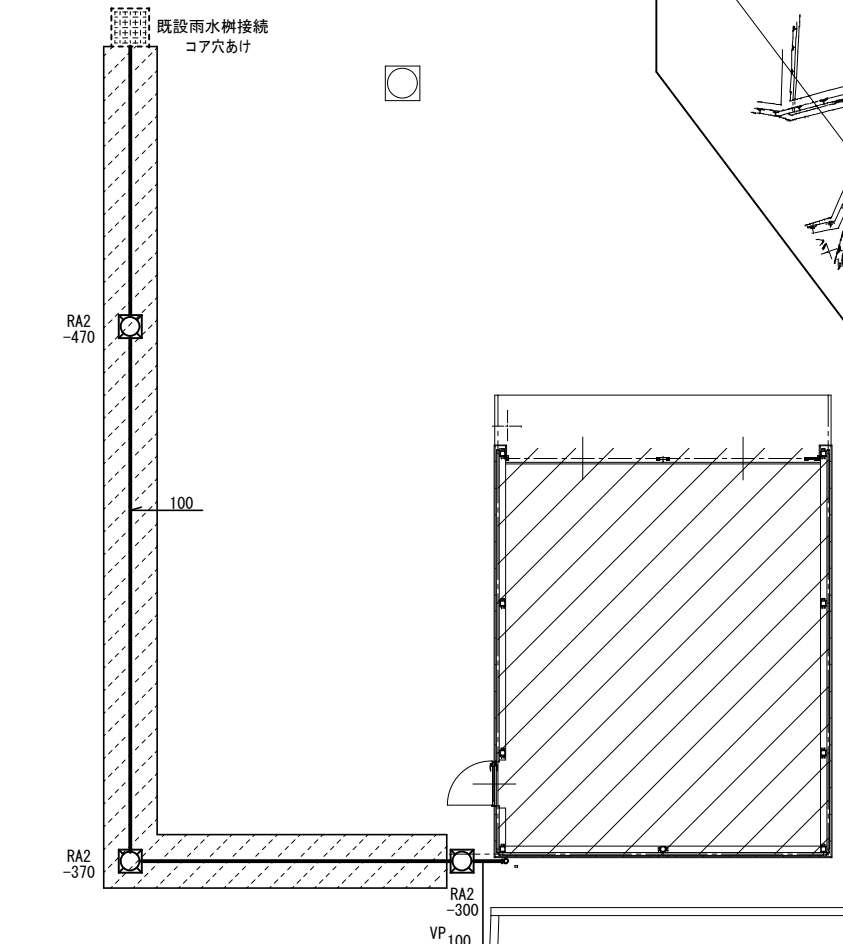
【注記】 ① JISマーク、水マーク (JWMA:日本水道協会規格)、WSP (日本水道協会規格)、SHASE-S (空気調和・衛生工学規格)、JPF (日本金属協会規格)、SAS (ステンレス協会規格)、JCDA (日本鋼センター規格)、JCW (日本鋼鉄ふた・排水器具工業規格) の番号については、「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)」 「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)」 による。
② JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外観、容器の外観、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。
③ 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿 (最新版)」をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。
④ 官公庁に納入実績があるメーカー又は同等品以上とする。



記号	A x B	T	T1	T2	h	H	蓋
RA2	450 x 450	100	100	100	150以上	600迄	MHA



配置図 S=1/1000



アスファルト舗装カット、撤去、復旧は建築工事

配置図 S=1/100

※ 敷地内に1.2mを超えるCB塀はありません。
 ※ 都市計画法の開発許可に係る敷地の区画形質の変更はありません。